

文部科学省認可通信教育

# 放送大学 大学院

[ 文化科学研究科 ]  
[ 修士課程 ]

## 授業科目案内

2023 年度 第1学期



# 目 次

● 大学院修士課程授業科目案内の利用にあたって .....	2
● 2023 年度新規開設科目一覧 .....	3
● オンライン授業について .....	4
● 2023 年度第 1 学期単位認定試験の実施方法について .....	6
● 大学院修士課程科目系統図 .....	9
● 2023 年度第 1 学期大学院修士課程授業科目講義概要目次 .....	17
● 2023 年度第 1 学期大学院修士課程授業科目講義概要 .....	19
● 2023 年度第 1 学期大学院修士課程単位認定試験時間割・ 実施方法（形式）一覧 ...	49
● 2023 年度第 1 学期大学院修士課程放送授業番組時間割 .....	51
● 2023 年度第 1 学期大学院修士課程授業科目五十音順索引 .....	56



## 大学院修士課程授業科目案内の利用にあたって

この冊子には2023年度第1学期に放送大学大学院修士課程で開設されている授業科目の概要などを記載しています(科目の詳細な情報については、本学ウェブサイトのシラバスを参照してください)。

1. 科目の登録は、この『大学院修士課程授業科目案内』と『修士選科生・修士科目生学生募集要項』(出願者以外は『科目登録申請要項』)の両方を必ずご覧になり、注意事項および記入方法を確認のうえ、行ってください。
2. 「講義概要」は、各プログラムの科目順〔生活健康科学、人間発達科学、臨床心理学、社会経営科学、人文学、情報学、自然環境科学〕に構成されています。
3. 「講義概要」のそれぞれのページに記載されている事項は、巻頭の「講義概要の見方」を参照してください。

### <放送授業は次の方法、チャンネルで行っています。>

#### ○テレビ放送

BS 放送 231 チャンネルで放送しています。

※放送大学の番組を放送しているケーブルテレビでも視聴できます。

#### ○ラジオ放送

BS 放送 531 チャンネルで放送しています。

テレビでお聴きいただく音声放送で、画面には番組名が静止画で表示されます。

※放送大学の番組を放送しているケーブルテレビでも聴取できます。



#### ○インターネットラジオ radiko (ラジコ)

ラジオ科目については、パソコンやスマートフォン等で利用できる radiko (ラジコ) サービスでも聴取できます。

その方法は、<https://radiko.jp> を確認してください。

#### ○インターネット配信

開講期間中、原則全ての放送授業の番組をインターネット配信しますので、パソコンやスマートフォン等で視聴できます(一部インターネット配信限定で視聴する科目があります)。科目名や視聴に必要な環境については放送大学ウェブサイトの「トピックス」を参照してください。

※映像・音声をパソコン等に保存することはできません。

※接続の際の通信費やプロバイダ料金などは利用者ご負担となりますので、ご注意ください。

#### ○ひかり TV

テレビ科目は、映像配信サービスの「ひかり TV」でも視聴できます(ラジオ科目の聴取はできません)。

詳しくは <https://www.hikaritv.net/entry?cid=ouj> をご覧ください。



#### ○学習センター等における視聴

学習センター等で視聴する場合のメディアは、テレビ科目の場合は DVD、ラジオ科目の場合は CD となります。

※2018年度より、学習センターに新規開設科目の DVD・CD の配架はありません。

2018年度以降に開設された科目を視聴する際には、各学習センターに設置されているインターネット視聴用のパソコンをご利用いただき、インターネット配信で視聴してください。

#### ○字幕

放送授業番組の一部において、BS 放送、ケーブルテレビおよびインターネット配信の一部で字幕番組を行っています。

### <オンライン授業は次の方法で行っています (p.4 もご確認ください)。>

受講にはインターネット接続されたパソコンとブラウザ、PDF ファイルが閲覧できるソフトウェアが必要です。科目登録前に、必ずオンライン授業体験版 (<https://online-open.ouj.ac.jp/>) で、ご自分のパソコンスキル、パソコン環境、オンライン授業システムの操作方法を確認してください。



4. 「2023年度第1学期大学院修士課程単位認定試験時間割・実施方法(形式)一覧」には、単位認定試験日・時限がまとめて記載されています。

単位認定試験日および時限が同じである科目は、1科目しか登録できません。同時に2科目以上登録することはできません。

5. 一部の科目を除き、インターネット上で通信指導問題の提出・解説を閲覧できる「Web 通信指導」が利用可能です。対象科目、受講方法等について、詳しくはシステム WAKABA をご覧ください。
6. システム WAKABA から、公表期間中の単位認定試験の問題・解答・解説等が閲覧できます。詳しくは、システム WAKABA をご覧ください。
7. 資格取得を目的とする場合には、必ず事前に学習センター等で配布している別冊の『教員免許状及び各種資格について』等の冊子または本学ウェブサイトをご覧ください、内容を確認した上で登録してください。なお、冊子の内容は毎年度更新しますので、必ず最新年度の冊子を確認してください。

## 2023年度新規開設科目一覧

プログラム	科目名称	単位数	メディア	主任講師（※は専門担当講師）		履修制限	
				氏名	職名	有無	対象科目
臨床心理学	臨床心理学特論（'23）	4	R	橋 本 朋 広	放送大学教授	無	
				大 山 泰 宏	放送大学教授		
	臨床心理学研究法特論（'23）	2	R	石 原 宏	島根大学准教授	無	
				川 部 哲 也	大阪公立大学准教授		
社会経営科学	都市社会構造論（'23）	2	OL	北川 由紀彦	放送大学教授	有	「都市社会構造論（'18）」
情報学	音楽・情報・脳（'23）	2	R	仁 科 エ ミ	放送大学教授	有	「音楽・情報・脳（'17）」
				河 合 徳 枝	国際科学振興財団 上級研究員		
	情報とコミュニケーション（'23）	2	OL	青木 久美子	放送大学教授	有	「情報とコミュニケーション（'19）」
				高橋 秀明※	放送大学教授		
	教育情報システム設計（'23） ー学習教育データと デジタルエコシステムー	1	OL	山 田 恒 夫	放送大学教授	無	
				常 盤 祐 司※	法政大学情報メディア 教育研究センター客員所員		
				緒 方 広 明※	京都大学教授		
自然環境科学	生態学における情報リテラシー（'23）	2	OL	加 藤 和 弘	放送大学教授	無	



## オンライン授業について

全ての学習をインターネットで行います。科目ごとに決められた期間に課題を提出することで成績評価を行います。放送授業のように通信指導や単位認定試験はありません。オンライン授業の学習方法・操作方法は、「オンライン授業体験版 (<https://online-open.ouj.ac.jp/>)」を確認してください。

### [履修上の注意]

1. オンライン授業には1単位科目(8コマ)と2単位科目(15コマ)があります。1コマあたり、講義が45分程度、課題(選択式問題・レポート・ディスカッションなど)の解答が45分程度を合わせた90分程度の授業です(科目の特性により異なります)。
2. オンライン授業の全ての教材はインターネットで配信します(印刷教材はありません)。一部の科目については指定教材があります。シラバスを確認してください。
3. オンライン授業科目の単位修得後、放送大学に学籍があり、かつ当該科目の開設期間中は、復習用に講義映像や資料などの一部を閲覧することができます。配信は学期開始1ヶ月後ごろ開始します。
4. 単位を修得できなかった場合、再度科目登録が必要になります。オンライン授業は通信指導、単位認定試験を行わないため再試験はありません。
5. 受講にはインターネット接続されたパソコンとブラウザ、PDFファイルが閲覧できるソフトウェアが必要です。学習できる環境をご自身で整えたうえ、科目登録をお願いします。学習センターなどのパソコンは、原則利用できません。

### [オンライン授業の主な課題について]

- ・選 択 式 問 題：設問解答を行った後、すぐに解説を閲覧し、理解を深めることができます。
- ・レ ポ ー ト：レポート提出はインターネットで行います。郵送での提出は受け付けていません。
- ・ディスカッション：ディスカッションは、実名で電子掲示板へ投稿します。Webカメラなど、映像でのやりとりはありません。テーマや方法は科目により異なります。ディスカッションのページを公開している期間(短くても10日間程度)に発言を投稿していただきます。

※学期開始後にオンライン授業システムに記載の注意事項(提出期限など)を確認のうえ、受講してください。

※ソフトウェアのインストールが必要な科目もあります。科目登録前に必ずオンライン授業体験版を確認してください。

### [成績評価・課題提出について]

オンライン授業の成績評価は、①～⑤の6区分で行い、C以上が合格です。成績評価方法・課題の締め切りは科目により異なります。成績評価方法についてはシラバスを確認してください。各科目の課題実施期間の確認方法は次ページを参照してください。

### [オンライン授業の担当講師について]

オンライン授業では、科目全体を統括する責任者である「主任講師」の他に、専門性の高い一部の回の責任者である「専門担当講師」が加わって担当する科目もあります。

### [学習履歴データの提供について]

このたび放送大学では、オンライン授業の改善・発展を目的として、国立情報学研究所と共同研究を進める協定を締結しました。

この共同研究を進めるにあたり、オンライン授業を実施する過程で蓄積される学習履歴データを、国立情報学研究所に提供する場合があります。その際は、個人を特定できない形で提供するなど、学生の皆さんの個人情報保護に十分に留意することをお知らせします。

オンライン授業を受講する際には、国立情報学研究所に対して、学習履歴データの提供が行われる場合があることをご認識ください。

【配信期間・課題実施期限】

配信期間は2023年4月5日（水）10時から2023年8月31日（木）17時を予定しています。  
配信終了後は、講師からのお知らせ・各課題の採点結果等の確認はできません。  
またオンライン授業体験版 (<https://online-open.ouj.ac.jp/>) から各科目の課題実施期限の目安が確認できます。

オンライン授業科目 課題実施期限確認方法																																							
1. オンライン授業体験版 (https://online-open.ouj.ac.jp/)を開く。	<div><div>オンライン授業（体験版）</div><div>体験版の利用を開始するには、下のボタンをクリックしてください。</div><div><div>Start</div><div>クリック</div></div><div>ブラウザのクッキー設定を有効にしてください。🔗</div><div>管理者ログインはこちらから</div></div>																																						
2. オンライン授業体験版トップ画面にある「※各科目の課題内容とスケジュールの目安」を押す。	<div><div>オンライン授業（体験版）</div><div>体験版</div><div>科目一覧</div><div>🔗 オンライン授業体験科目</div><div><div>オンライン授業体験科目</div><div>🔗 はこちらをクリックしてオンライン授業を体験してください。</div><div>※各科目の課題内容とスケジュールの目安</div><div>クリック</div></div></div>																																						
3. 各科目の課題実施期間の目安が確認いただけます。 ※課題内容、締切日程については変更が生じる場合があります。学期が始まったら、必ずオンライン授業システムにアクセスし、課題締切日を確認してください。	<div><div>【大学院】オンライン授業 課題実施期間(目安)</div><div>科目概要の詳細は、シラバス、授業科目案内で必ずご確認ください。なお、課題の内容、スケジュールは変更が生じる場合があります。学期が始まったら、必ず、授業のページにアクセスし、課題、提出期間をチェックして学習をはじめましょう。</div><table><tr><th>プログラム</th><th>科目名</th><th>単位数</th><th>課題</th><th>1学期</th><th>2学期</th></tr><tr><td rowspan="3">生活健康科学</td><td rowspan="3">医療安全学特論（'16）</td><td rowspan="3">1単位（8コマ）</td><td>第1～8回 小テスト</td><td rowspan="3">開講～7月下旬</td><td rowspan="3">開講～1月下旬</td></tr><tr><td>第8回 最終テスト</td></tr><tr><td>第8回 レポート</td></tr><tr><td rowspan="3">生活健康科学</td><td rowspan="3">臨床推論（'16）</td><td rowspan="3">1単位（8コマ）</td><td>第1～8回 ミニレポート</td><td rowspan="3">開講～7月下旬</td><td rowspan="3">開講～1月下旬</td></tr><tr><td>第2～7回 小テスト</td></tr><tr><td>第8回 最終テスト</td></tr><tr><td rowspan="3">生活健康科学</td><td rowspan="3">フィジカルアセスメント特論（'16）</td><td rowspan="3">1単位（8コマ）</td><td>第1～7回 小テスト</td><td rowspan="3">開講～7月下旬</td><td rowspan="3">開講～1月下旬</td></tr><tr><td>第4・8回ミニレポート</td></tr><tr><td>第8回 最終テスト</td></tr><tr><td rowspan="3">生活健康科学</td><td rowspan="3">臨床病態生理学特論（'17）</td><td rowspan="3">1単位（8コマ）</td><td>第5・8回 演習（ディスカッション/レポート）</td><td rowspan="3">5月上旬～7月上旬</td><td rowspan="3">11月上旬～1月上旬</td></tr><tr><td>第1～8回 小テスト</td></tr><tr><td>第8回 最終テスト</td></tr></table></div>	プログラム	科目名	単位数	課題	1学期	2学期	生活健康科学	医療安全学特論（'16）	1単位（8コマ）	第1～8回 小テスト	開講～7月下旬	開講～1月下旬	第8回 最終テスト	第8回 レポート	生活健康科学	臨床推論（'16）	1単位（8コマ）	第1～8回 ミニレポート	開講～7月下旬	開講～1月下旬	第2～7回 小テスト	第8回 最終テスト	生活健康科学	フィジカルアセスメント特論（'16）	1単位（8コマ）	第1～7回 小テスト	開講～7月下旬	開講～1月下旬	第4・8回ミニレポート	第8回 最終テスト	生活健康科学	臨床病態生理学特論（'17）	1単位（8コマ）	第5・8回 演習（ディスカッション/レポート）	5月上旬～7月上旬	11月上旬～1月上旬	第1～8回 小テスト	第8回 最終テスト
プログラム	科目名	単位数	課題	1学期	2学期																																		
生活健康科学	医療安全学特論（'16）	1単位（8コマ）	第1～8回 小テスト	開講～7月下旬	開講～1月下旬																																		
			第8回 最終テスト																																				
			第8回 レポート																																				
生活健康科学	臨床推論（'16）	1単位（8コマ）	第1～8回 ミニレポート	開講～7月下旬	開講～1月下旬																																		
			第2～7回 小テスト																																				
			第8回 最終テスト																																				
生活健康科学	フィジカルアセスメント特論（'16）	1単位（8コマ）	第1～7回 小テスト	開講～7月下旬	開講～1月下旬																																		
			第4・8回ミニレポート																																				
			第8回 最終テスト																																				
生活健康科学	臨床病態生理学特論（'17）	1単位（8コマ）	第5・8回 演習（ディスカッション/レポート）	5月上旬～7月上旬	11月上旬～1月上旬																																		
			第1～8回 小テスト																																				
			第8回 最終テスト																																				

## 2023 年度第 1 学期単位認定試験の実施方法について

放送大学では、新型コロナウイルスの感染拡大を契機に単位認定試験の実施方法の改善に取り組んでおり、2023 年度第 1 学期単位認定試験については、前年度に引き続き、原則 Web 試験にて実施します。

### 1. 科目登録にあたっての注意点

#### ◆試験期間中は 24 時間いつでも受験できますが、科目登録時の制限があります。

試験期間中であれば 24 時間いつでも自宅等から受験できますが、登録システムの設計上、「授業科目案内」に記載の試験日および時限が同一の科目は同時に 2 つ以上履修登録できません。（ただし、再試験科目と新規登録科目の試験日・時限が重なる場合は、例外的に同時履修が可能です。）

#### ◆「出題形式」をご確認の上、体験版で操作方法や受験環境を確認しておいてください。

「授業科目講義概要」（p.19～p.48）や「単位認定試験時間割・実施方法（形式）一覧」（p.49～p.50）で各科目の出題形式をご確認いただき、受験予定科目の出題形式に関する操作方法や、ご自身の受験環境での動作について、「Web 単位認定試験体験版」（p.7 参照）を用いて必ず確認してください。

#### ◆Web 受験が困難な方は、申請の上、学習センターで受験してください。

ご自宅等にインターネット環境がない、またはパソコンの操作が困難等の事情により、自宅等での Web 受験が困難な方は、「5. 学習センター受験について」（p.7）をご確認の上、期日までに学習センター受験を申請してください。

### 2. 実施方法概要（Web 試験）

- ・インターネットを通じ「Web 単位認定試験システム」にアクセスして受験します。
- ・試験期間中は自宅等から 24 時間いつでも受験できます。
- ・1 科目 50 分の制限時間があります。（一時停止不可、1 回のみ受験可能）
- ・出題形式には「択一式」「記述式」「（択一式と記述式の）併用式」があり、各科目の出題形式は「授業科目講義概要」（p.19～p.48）及び「単位認定試験時間割・実施方法（形式）一覧」（p.49～p.50）に掲載しています。

#### 択一式問題

選択肢をクリックすることで解答します。



#### 記述式問題

解答記入欄に文字入力することで解答します。



※詳細な操作方法やシステムの動作は「Web 単位認定試験体験版」（p.7 参照）でご確認ください。

### 3. 試験日程

Web 試験（試験期間）：2023 年 7 月 15 日（土）9:00～7 月 25 日（火）17:00

郵送試験（提出期間）：2023 年 7 月 15 日（土）～7 月 25 日（火）《必着》



## 4. 自宅等での受験が困難な方の学習センター受験について【要申請】

ご自宅等にインターネット環境がない、またはパソコンの操作が困難等の事情により、自宅等での Web 受験が困難な方は、下記様式・期間・宛先により申請の上、学習センター等で受験してください。

申請様式 学習センター受験申請書（印刷教材等に同封）

※印刷教材の発送がない方の場合「学生生活の葉」等に同封します

申請期間 2023 年 4 月 1 日（土）～ 5 月 24 日（水）〈必着〉

申請宛先 〒261-8586 千葉市美浜区若葉 2-11 放送大学学務部学生課単位認定試験係

### <学習センターで受験する場合の注意事項>

◆学習センター等で受験する場合、本冊子に記載の試験日・時限に受験する必要があります。※

※各学習センター等の受入可能人数を超える数の申請があった場合、個別に学習センター受験日時の調整をお願いすることがございます。

◆学習センター等で受験する場合でも、原則として「問題の閲覧」及び「択一式の解答」は、学習センター等のパソコンを用いてご自身で行っていただきます。（記述式の解答のみ、解答用紙で行います。）

◆6月上旬～7月上旬にかけて学習センターで行う操作体験会に、原則としてご参加ください。（各学習センターの体験会実施日時等、詳細については、「学習センター受験申請書」を提出いただいた方に対し、随時ご案内を送付します。）

## 5. Web 単位認定試験体験版について

Web 単位認定試験の提出までの操作を体験していただける、「Web 単位認定試験体験版」を公開しています。解答提出までの操作方法や、ご自身の受験環境での動作について、「Web 単位認定試験体験版」で必ずあらかじめご確認ください（学習センターで受験する方は各学習センターでの操作体験会にご参加ください）。

なお、解答提出までの操作方法については、Web 単位認定試験システム TOP 画面左側の「操作ガイド」をご確認ください。

### <アクセス方法>

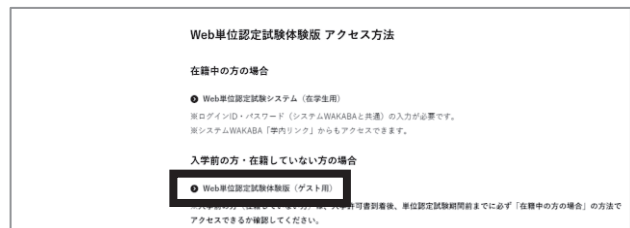
**在籍中の方の場合** (<https://shiken.ouj.ac.jp>)

システム WAKABA の TOP 画面右側、「学内リンク」から、「Web 単位認定試験」をクリックして Web 単位認定試験システムにアクセスしてください。



**入学前の方（在籍していない方）の場合** (<https://shiken-open.ouj.ac.jp>)

放送大学ウェブサイト TOP 画面から「2023 年度第 1 学期単位認定試験について」を開き、ページ中程、「Web 単位認定試験体験版（ゲスト用）」をクリックして学外用の体験版にアクセスしてください。



※入学前の方（在籍していない方）は、入学許可書到着後、単位認定試験期間前までに必ず「在籍中の方の場合」の方法でアクセスできるか確認してください。

## 6. 心身等に障がいのある方で、パソコン操作が困難な方への配慮について

心身等に障がいのある方で、自宅等での Web 受験が困難な方につきましては、障がいの特性に応じた配慮を行うことにしております。（本学では、修学上の特別措置と言います。）

修学上の特別措置は、希望される方ご自身と本学（所属学習センター）とが相談・協議のうえ、決定されるものになります。詳細は大学ウェブサイト (<https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/accessibility/support/>) をご参照いただくか、所属学習センターまでご相談ください。

すでに修学上の特別措置を受けている方でも、新しい方式による単位認定試験において不安に感じることや配慮して欲しいことなどがございましたら、早めに所属学習センターまでご相談ください。





# 大学院修士課程科目系統図

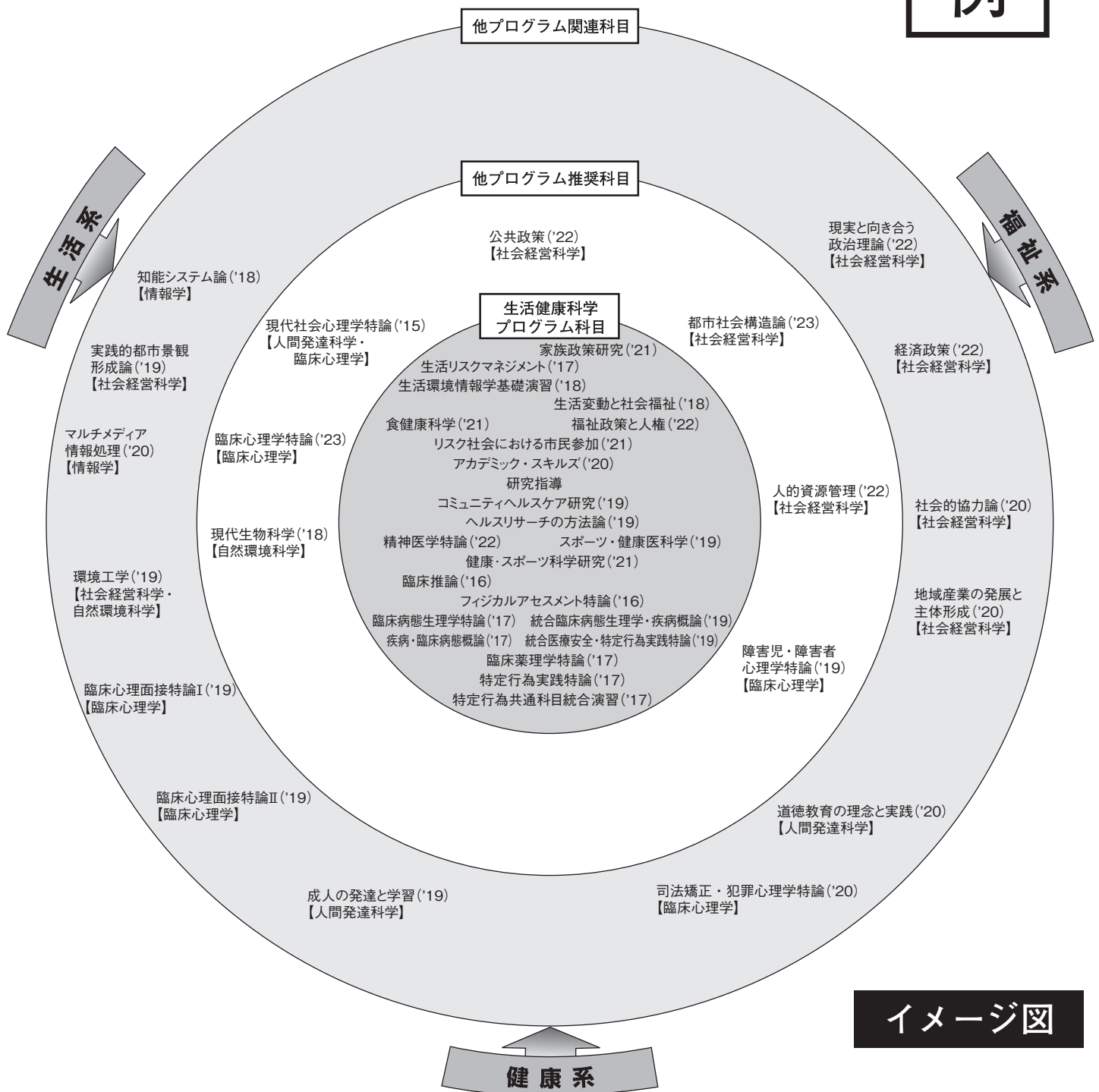
## 大学院修士課程科目系統図について

このプログラムごとの系統図は履修科目を選ぶ上で参考にしていただくために作成されたものです。

科目を選択する際は、なるべく自分の研究テーマに関連する科目を優先して選択することをお勧めします。研究テーマによっては、この系統図にとらわれず、広く履修してください。

# 生活健康科学プログラム

例



イメージ図

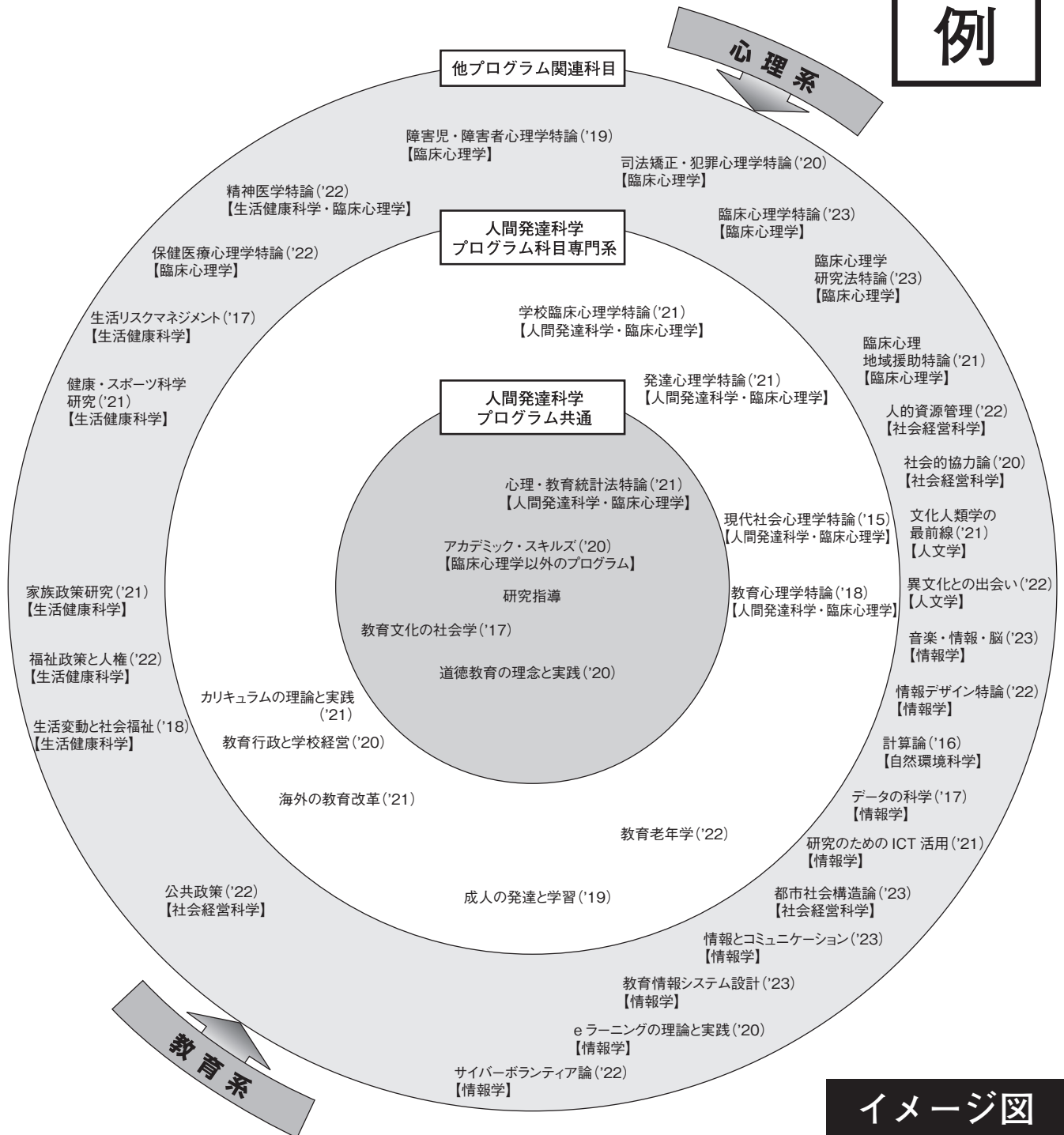
生活健康科学プログラム所属の修士全生は「生活健康科学プログラム」で開設されている科目はできるだけ履修してください。

「他プログラム推奨科目」は、他のプログラム科目でぜひ履修してほしいもの、「他プログラム関連科目」は他プログラム科目で履修することが望ましいものです。

ただし、各自の研究テーマによって、上記円環図以外他プログラムの科目が必要と思われる場合には、その科目を履修してください。

# 人間発達科学プログラム

例



イメージ図

人間発達科学プログラムの科目のうち、「人間発達科学プログラム共通」は教育系と心理系の両方に共通する科目、「人間発達科学プログラム専門系」は、それぞれの系の専門的科目です。

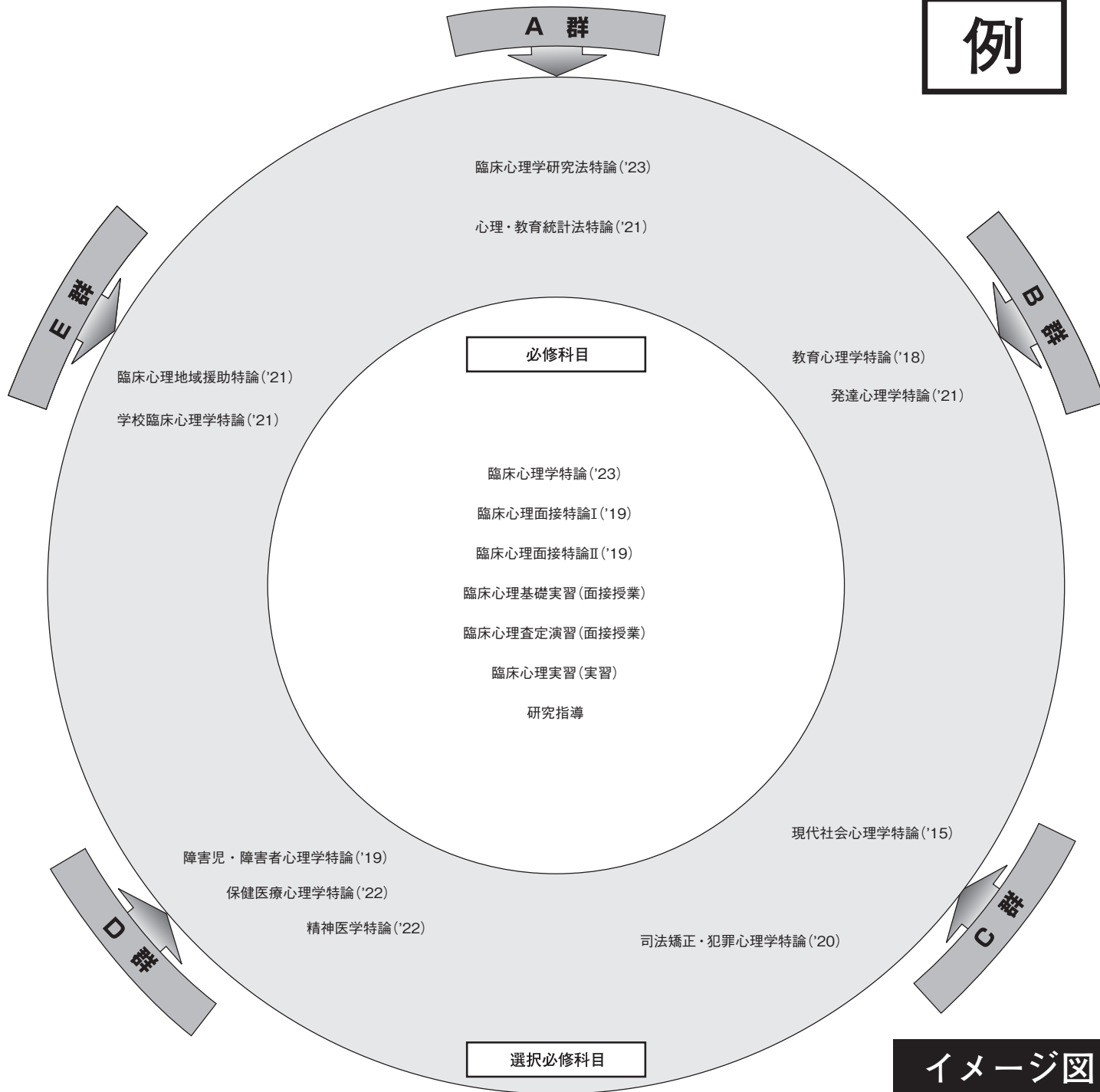
人間発達科学プログラム所属の修士全科生は「人間発達科学プログラム共通」のうち「研究指導」を含む2科目以上履修することが望ましいです。

「他プログラム関連科目」は、他のプログラム科目で人間発達科学プログラムに関連する科目です。ただし、各自の研究テーマによって、他の科目が必要と思われる場合には、その科目を履修してください。



# 臨床心理学プログラム

例



イメージ図

臨床心理学プログラムには、必修科目と選択必修科目があります。

選択必修科目は、A～E群の中からそれぞれ1科目(2単位)以上、計10単位以上修得する必要があります。※

本学大学院は、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会による第2種大学院指定校となっており、上記の必修科目・選択必修科目の履修が大学院修了条件となっています。

※ 既に閉講された科目の必修科目および選択必修科目の区分等は次のとおりです。

## 必修科目

臨床心理学特論('02)、臨床心理学特論('05)、臨床心理学特論('11)、臨床心理学特論('17)、臨床心理面接特論('02)、臨床心理面接特論('07)、臨床心理面接特論('13)

## 選択必修科目

A群：心理学研究法特論('02)、臨床心理学研究法特論('06)、心理・教育統計法特論('09)、臨床心理学研究法特論('12)、心理・教育統計法特論('15)、臨床心理学研究法特論('18)

B群：発達心理学('02)、発達心理学特論('07)、発達心理学特論('11)、認知行動科学('02)、認知行動科学('06)、教育心理学特論('12)、発達心理学特論('15)

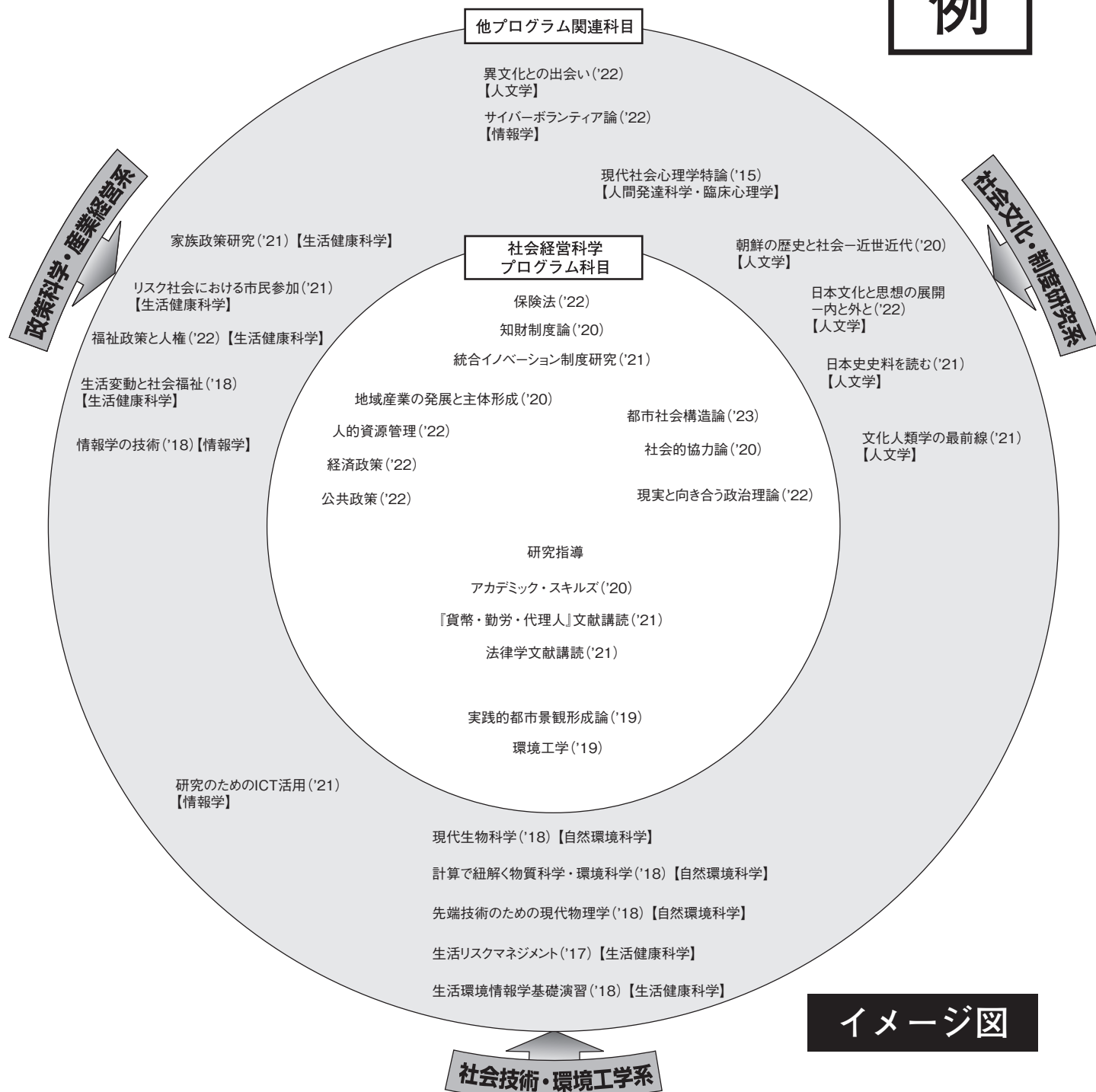
C群：社会心理学特論('02)、社会心理学特論('05)、社会心理学特論('09)、現代社会心理学特論('11)、家族心理学特論('02)、家族心理学特論('06)、家族心理学特論('10)、家族心理学特論('14)、心理臨床における法と倫理('17)

D群：精神医学('02)、精神医学('06)、障害児・障害者心理学特論('08)、精神医学特論('10)、障害児・障害者心理学特論('13)、精神医学特論('16)

E群：学校臨床心理学('02)、学校臨床心理学('05)、学校臨床心理学特論('09)、コミュニティ・アプローチ特論('03)、臨床心理地域援助特論('07)、臨床心理地域援助特論('11)、学校臨床心理学・地域援助特論('15)、投影査定心理学特論('15)

# 社会経営科学プログラム

例



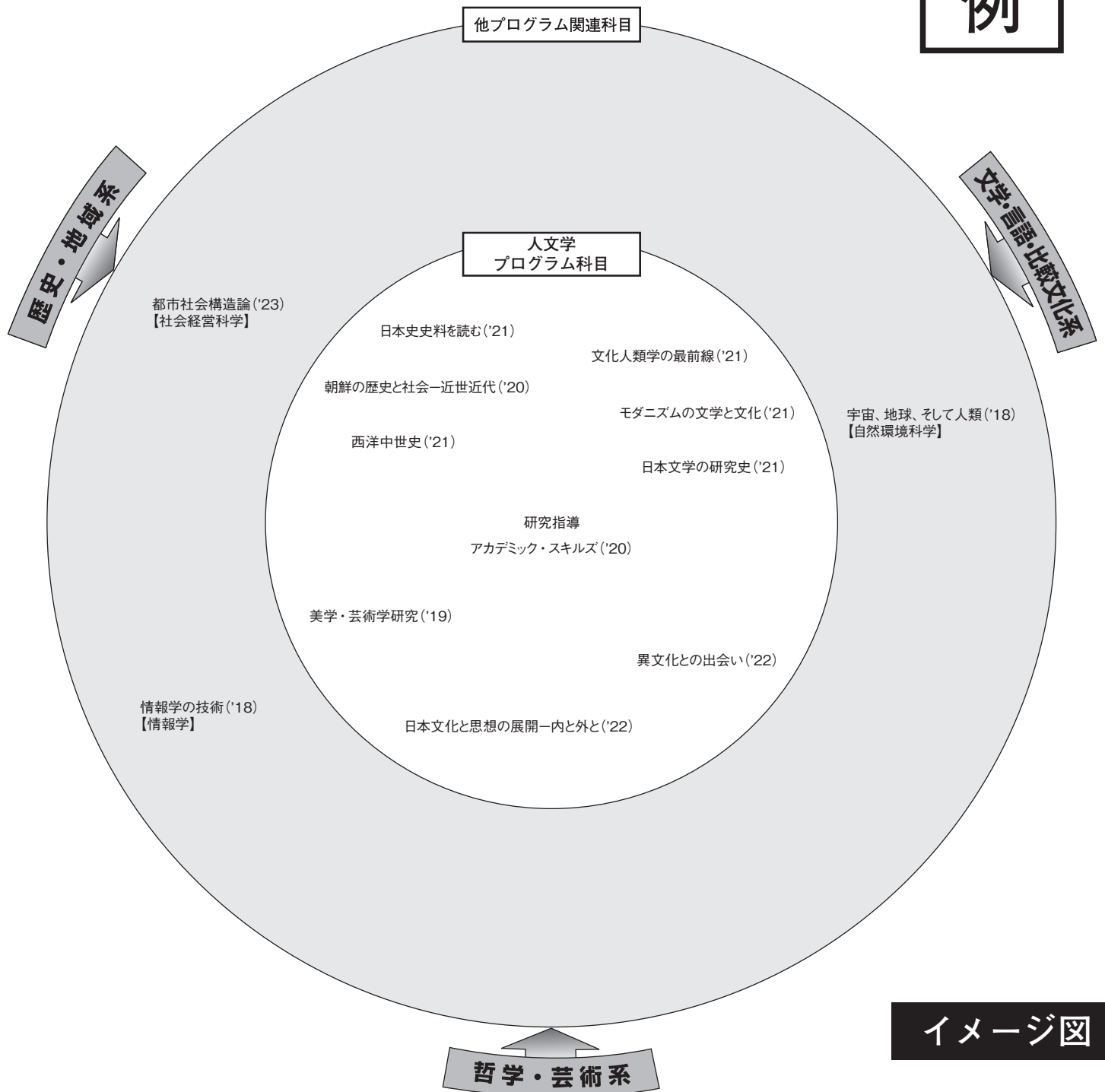
イメージ図

社会経営科学プログラムの提供科目は、それぞれ独立した内容を有し1科目で完結していますが、3つの系において緩やかに関連する科目群をなしています。

他プログラム関連科目とは、この3つの系・科目群という観点から関連の深い他プログラムの提供科目を例示したものです。各自の研究テーマによっては、この3系統や科目例示にとらわれず、広く履修してください。

# 人文学プログラム

例

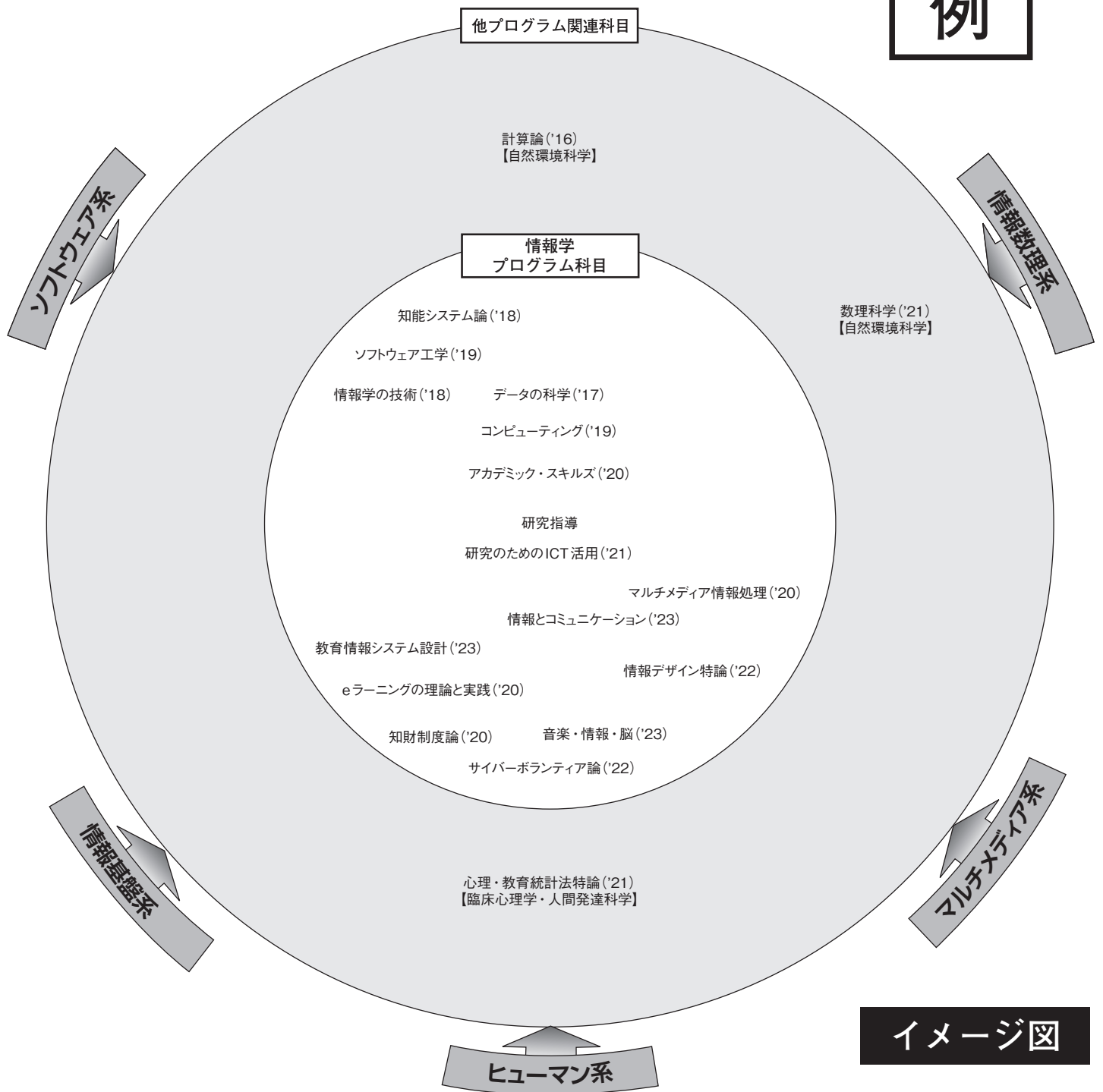


イメージ図

人文学プログラムでは、哲学、美学芸術論、歴史学、文学、言語学、文化人類学などの人文学諸分野を研究対象としており、開講科目は「哲学・芸術系」「歴史・地域系」「文学・言語・比較文化系」として配置されています。指導教員と相談しながら、各自必要と思われる場合は他のプログラムで開講されている科目も履修して、自らの研究に役立ててください。

# 情報学プログラム

例

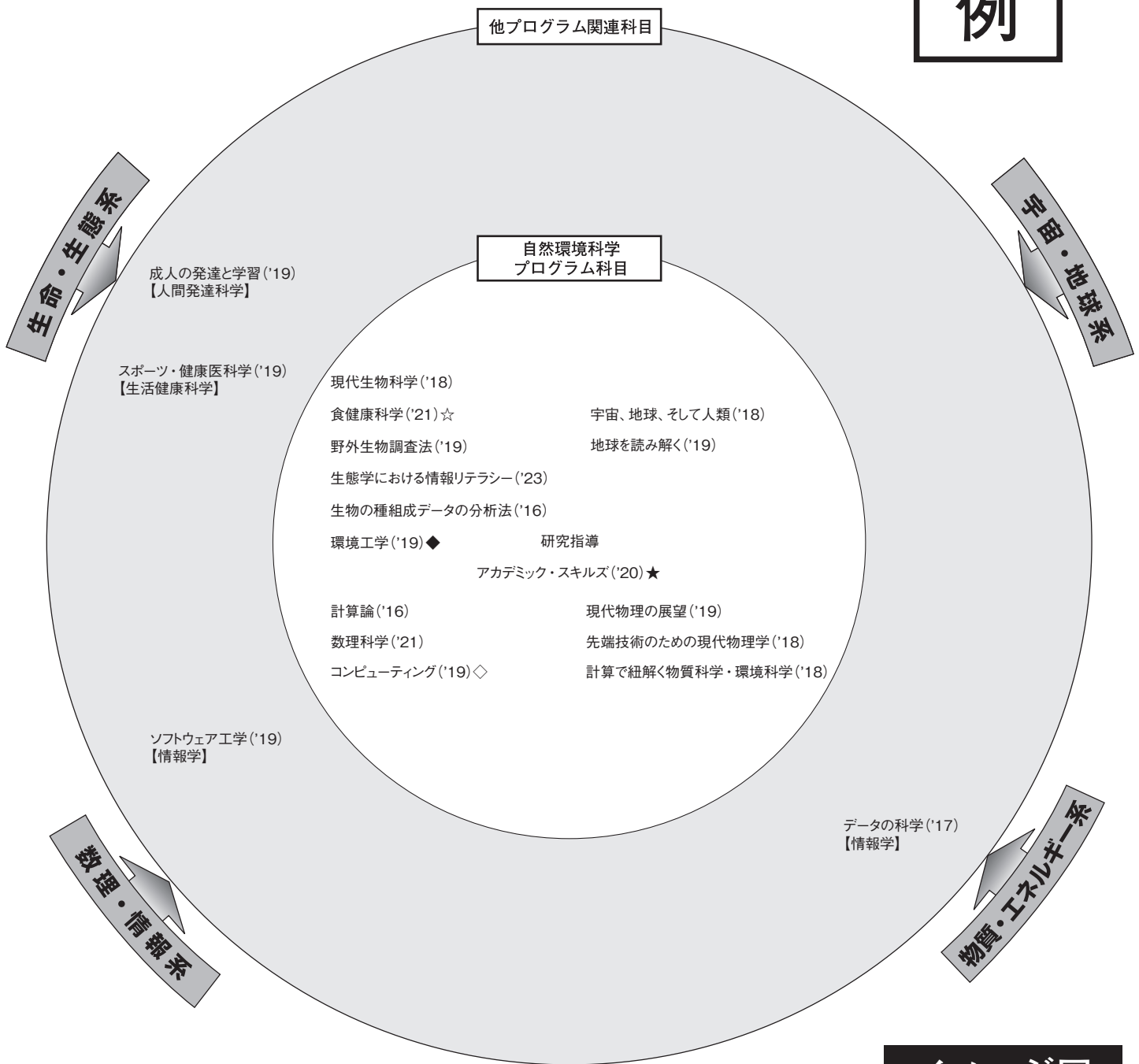


イメージ図

他プログラムの科目は、必要に応じて選択し、自らの研究に役立ててください。

# 自然環境科学プログラム

例



イメージ図

☆生活健康科学プログラムと自然環境科学プログラムに共通する科目

◆社会経営科学プログラムと自然環境科学プログラムに共通する科目

◇情報学プログラムと自然環境科学プログラムに共通する科目

★他プログラム（臨床心理学プログラムを除く）と自然環境科学プログラムに共通する科目



# 2023年度第1学期大学院修士課程授業科目講義概要目次

## 生活健康科学プログラム

家族政策研究('21) .....	20
リスク社会における市民参加('21) .....	20
食健康科学('21) .....	20
コミュニティヘルスケア研究('19) .....	20
生活リスクマネジメント('17) .....	20
精神医学特論('22) .....	21
ヘルスリサーチの方法論('19) .....	21
スポーツ・健康医科学('19) .....	21
健康・スポーツ科学研究('21) .....	21
福祉政策と人権('22) .....	21
生活変動と社会福祉('18) .....	22
—福祉研究の道標—	
臨床推論('16) .....	22
フィジカルアセスメント特論('16) .....	22
臨床病態生理学特論('17) .....	23
疾病・臨床病態概論('17) .....	23
臨床薬理学特論('17) .....	24
特定行為実践特論('17) .....	24
特定行為共通科目統合演習('17) .....	25
統合臨床病態生理学・疾病概論('19) .....	25
統合医療安全・特定行為実践特論('19) .....	26
生活環境情報学基礎演習('18) .....	26
アカデミック・スキルズ('20) .....	26

## 人間発達科学プログラム

教育文化の社会学('17) .....	27
海外の教育改革('21) .....	27
教育行政と学校経営('20) .....	27
カリキュラムの理論と実践('21) .....	27
道德教育の理念と実践('20) .....	27
成人の発達と学習('19) .....	27
教育老年学('22) .....	28
現代社会心理学特論('15) .....	28
教育心理学特論('18) .....	28
学校臨床心理学特論('21) .....	28
発達心理学特論('21) .....	28
心理・教育統計法特論('21) .....	29
アカデミック・スキルズ('20) .....	29

## 臨床心理学プログラム

臨床心理学特論('23) .....	30
臨床心理面接特論Ⅰ('19) .....	30
—心理支援に関する理論と実践—	
臨床心理面接特論Ⅱ('19) .....	30
—心理療法の世界—	
臨床心理基礎実習※ .....	30
臨床心理査定演習※ .....	31
臨床心理実習※ .....	31
臨床心理学研究法特論('23) .....	31
心理・教育統計法特論('21) .....	31
発達心理学特論('21) .....	32
教育心理学特論('18) .....	32
現代社会心理学特論('15) .....	32
司法矯正・犯罪心理学特論('20) .....	32
—司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開—	
精神医学特論('22) .....	32
保健医療心理学特論('22) .....	33
—保健医療分野に関する理論と支援の展開—	
障害児・障害者心理学特論('19) .....	33
—福祉分野に関する理論と支援の展開—	
学校臨床心理学特論('21) .....	33
臨床心理地域援助特論('21) .....	33

※印の科目は臨床心理(学)プログラム所属の修士  
全科生以外の方は、履修できません。

## 社会経営科学プログラム

経済政策 ('22) .....	34
知財制度論 ('20) .....	34
公共政策 ('22) .....	34
都市社会構造論 ('23) .....	34
環境工学 ('19) .....	34
社会的協力論 ('20) .....	35
—いかに近代的協力の限界を超えるか—	
実践的都市景観形成論 ('19) .....	35
地域産業の発展と主体形成 ('20) .....	35
統合イノベーション制度研究 ('21) .....	35
『貨幣・勤労・代理人』文献講読 ('21) .....	35
—近代経済社会の文明的・反文明的特性を読む—	
法律学文献講読 ('21) .....	36
現実と向き合う政治理論 ('22) .....	36
人的資源管理 ('22) .....	36
保険法 ('22) .....	36
アカデミック・スキルズ ('20) .....	37

## 人文学プログラム

日本文化と思想の展開—内と外と ('22) .....	38
美学・芸術学研究 ('19) .....	38
日本史史料を読む ('21) .....	38
朝鮮の歴史と社会—近世近代 ('20) .....	38
西洋中世史 ('21) .....	38
日本文学の研究史 ('21) .....	39
モダニズムの文学と文化 ('21) .....	39
異文化との出会い ('22) .....	39
文化人類学の最前線 ('21) .....	39
アカデミック・スキルズ ('20) .....	39

## 情報学プログラム

知能システム論 ('18) .....	40
音楽・情報・脳 ('23) .....	40
ソフトウェア工学 ('19) .....	40
研究のためのICT活用 ('21) .....	40
情報学の技術 ('18) .....	40
eラーニングの理論と実践 ('20) .....	41
コンピューティング ('19) .....	41
—原理とその展開—	
データの科学 ('17) .....	41
サイバーボランティア論 ('22) .....	42
—ボランティア活動におけるICT活用—	

情報とコミュニケーション ('23) .....	42
知財制度論 ('20) .....	42
マルチメディア情報処理 ('20) .....	42
情報デザイン特論 ('22) .....	43
教育情報システム設計 ('23) .....	43
—学習教育データとデジタルエコシステム—	
アカデミック・スキルズ ('20) .....	43

## 自然環境科学プログラム

現代生物科学 ('18) .....	44
生物の種組成データの分析法 ('16) .....	44
野外生物調査法 ('19) .....	44
生態学における情報リテラシー ('23) .....	44
現代物理の展望 ('19) .....	45
先端技術のための現代物理学 ('18) .....	45
計算で紐解く物質科学・環境科学 ('18) .....	45
宇宙、地球、そして人類 ('18) .....	45
地球を読み解く ('19) .....	45
数理科学 ('21) .....	46
—離散数理モデル—	
計算論 ('16) .....	46
コンピューティング ('19) .....	46
—原理とその展開—	
食健康科学 ('21) .....	46
環境工学 ('19) .....	46
アカデミック・スキルズ ('20) .....	47
研究指導(修士全生のみ) .....	48
生活健康科学プログラム	
人間発達科学プログラム	
臨床心理学プログラム	
社会経営科学プログラム	
人文学プログラム	
情報学プログラム	
自然環境科学プログラム	

# 2023年度第1学期 大学院修士課程授業科目講義概要

- (注) 網掛けの科目はオンライン授業科目です。課題実施スケジュールの確認方法はp.4を確認してください。
- (注) 各科目の主任講師およびその職名は2022年11月現在で記載しています。
- (注) 単位認定試験の平均点については2022年11月1日現在での過去2学期(2021年度第2学期、2022年度第1学期)分を掲載しています。
- (注) 〈字〉がついている科目には字幕が付与されています。

## 生活健康科学プログラム

科目コード 科目名 主 任 講 師 名	単 位	メ デ ィ ア 放 送 時 間	単 位 認 定 試 験 日・時 限 実施方法 (形式) 平 均 点	講 義 概 要
<b>8911010</b> <b>家族政策研究 ('21)</b>  <b>下 夷 美幸</b> (放送大学教授)  2021 年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (木)12:45～13:30	〔第1学期〕 2023年7月16日(日) 2時限(10:25～11:15) (注1) Web受験(記述式) ----- 【平均点】 2021年度2学期(90.1点) 2022年度1学期(82.9点)	家族はプライベートな領域であるが、人々が営む家族のあり様や家族が抱える問題は、国や自治体等が策定・実施するさまざまな政策と深く関わっている。また、家族をめぐる人々の行為や意識の変化が、政策主体に影響を与え、政策を動かすこともある。本科目では、家族社会学の立場から、家族政策に関する基礎的理論と日本的背景を押さえたうえで、現代の家族問題に関わる制度・政策を取り上げ、諸外国との比較も交えながら、家族政策の日本の特徴と今後の課題について考察する。 ※「生活変動と社会福祉('18)」および学部科目「家族問題と家族支援('20)」 「リスク社会の家族変動('20)」とあわせて学習すると理解が深まる。
<b>8911037</b> <b>リスク社会における 市民参加 ('21)</b>  <b>八 木 絵香</b> 〔放送大学客員教授〕 大阪大学教授  <b>三上 直之</b> 〔放送大学客員准教授〕 北海道大学准教授  2021 年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (月)19:30～20:15	〔第1学期〕 2023年7月16日(日) 1時限(9:15～10:05) (注1) Web受験(択一式) ----- 【平均点】 2021年度2学期(93.9点) 2022年度1学期(77.7点)	現代社会はリスク社会である。食の安全をめぐる問題や、先端情報技術によるプライバシー侵害の懸念、各種の事故や災害、さらには気候変動問題への対処に至るまで、さまざまな損害と災難を自分(たち)自身の意思決定の帰結、すなわち「リスク」として捉え、行動する社会に、私たちは生きている。そこで焦点となる問題の多くは、不確実性が高く、多様な利害と価値観が絡むことから、科学技術の専門家だけでは「正解」を導き出すことができない。この状況に対処すべく、ここ約四半世紀の間に、リスクをめぐる社会的意思決定への市民参加が求められ、それを具体化する数々の方法論が生み出されてきた。本科目ではこうした動向を科学技術への市民参加という切り口で捉え、その経緯と理論的背景について理解を深めつつ、豊富な具体例をもとに、リスク社会における市民参加のあり方を学習する。 ※大学院開設科目「生活リスクマネジメント('17)」や、学部開設科目「市民自治の知識と実践('21)」 「リスクコミュニケーションの探究('23)」もあわせて履修することが望ましい。
<b>6910106</b> <b>食健康科学 ('21)</b>  <b>佐 藤 隆一郎</b> 〔放送大学客員教授〕 東京大学大学院特任教授  <b>三 浦 豊</b> ※ 〔放送大学客員教授〕 東京農工大学大学院教授  <b>下 条 直樹</b> ※ 〔放送大学客員教授〕 千葉大学予防医学センター特任教授  ※は専門担当講師 2021 年度開設科目	1	オンライン〈字〉  テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。 ----- 通信指導は行わない。	通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。  成績評価は、小テスト(50%)、レポート(50%) (第8回のみ)の評価により行う。	<b>〔「自然環境科学プログラム」と共通〕</b>  学部科目「食と健康」と対をなす大学院講義。「食と健康」で学んだ、糖質、タンパク質、脂質、ビタミン、ミネラル、微量ミネラル、食と各種疾患などについて、それらをさらに掘り下げて、詳細に解説する。 ※高校卒業程度の化学の知識を有していることを前提とする。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
<b>8910774</b> <b>コミュニティヘルスケア 研究 ('19)</b>  <b>田 城 孝雄</b> (放送大学教授)  <b>星 旦二</b> 〔放送大学客員教授〕 東京都立大学名誉教授  「健康科学 ('15)」 の単位修得者は履修不可  2019 年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (日)22:30～23:15	〔第1学期〕 2023年7月16日(日) 8時限(17:55～18:45) (注1) Web受験(記述式) ----- 【平均点】 2021年度2学期(99.2点) 2022年度1学期(97.2点)	近年の社会の多様性により、個人の健康も重要ではあるが、地域全体として健康を保持増進する必要が生じている。したがって、地域における健康保持増進を検討する講座として「コミュニティヘルスケア研究」を開設することとした。 ここでは、地域の健康維持増進を支援する各フィールド活動を対象として、科学の視点を導入し、具体的な調査研究方法を学習し、より科学的なエビデンスを明確にする能力を身につける。 ※学部の専門科目「公衆衛生」の内容を理解しておく、この科目の内容がより理解しやすくなるものと思われる。
<b>8910715</b> <b>生活リスクマネジメント('17)</b>  <b>奈 良 由美子</b> (放送大学教授)  「生活リスクマネジメント('11)」 の単位修得者は履修不可  2017 年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (木)19:30～20:15	〔第1学期〕 2023年7月15日(土) 7時限(16:45～17:35) (注1) Web受験(択一式) ----- 【平均点】 2021年度2学期(98.1点) 2022年度1学期(89.5点)	生活の質を高めるうえで生活リスクを理解し低減することは不可欠である。このことは生活者自身はもちろん、地域、企業、行政といったリスク管理主体を含めた社会全体の課題といえる。本科目では、リスクの様相の局面、リスクの認識の局面、そしてリスクへの対処の局面から、生活リスクマネジメントの理論と実践についての講義を行う。 ※生活の総合性や現代的課題をまず理解するため「リスク社会における市民参加('21)」を履修していただきたい。

(注1) 2023年度第1学期単位認定試験は、自宅等でのWeb受験方式となり、試験期間中(全科目2023年7月15日(土)9:00～7月25日(火)17:00)はいつでも受験可能です。ただし、登録システムの設計上、本誌に記載の同一試験日・時限の科目を重複して登録することはできません。詳細はp.6～p.7をご確認ください。



# 生活健康科学プログラム

科目コード 科目名 担任講師名	単位	メディア 放送時間	単位認定 試験日・時限 実施方法(形式) 平均点	講義概要
8911045 精神医学特論('22)  石丸 昌彦 (放送大学教授)	2	ラジオ  〔第1学期〕 (金)0:00～0:45	〔第1学期〕 2023年7月16日(日) 3時限(11:35～12:25) (注1) Web受験(択一式)	〔「臨床心理学プログラム」と共通〕  精神医学は、精神疾患の診断や治療のあり方を検討する深く広い学問である。本科目では精神医学の基本的な考え方を紹介したうえで、今日見られる代表的な疾患を事例とともにとりあげ、診断と治療の基本的な流れを解説する。個人の病理と社会のあり方との関わりにも随時言及する。 ※本科目と関連の深いものとして学部科目「精神疾患とその治療」がある。本科目のいわば基礎編にあたるもので、あらかじめ履修することを条件とはしないが、同科目程度の内容を学習してから本科目に進むと効率的である。あわせて日頃から健康や医学の問題に関心を持ち、心身の健康について広く学ぶことが望ましい。
2022 年度開設科目			【平均点】 2022年度1学期(89.6点)	
8910758 ヘルスリサーチの 方法論('19)  井上 洋士 〔放送大学客員教授〕 〔元順天堂大学大学院特任教授〕  ※この科目は「ヘルスリサーチの方法論('13)」の改訂科目です。  「ヘルスリサーチの方法論('13)」 の単位修得者は履修不可	2	ラジオ  〔第1学期〕 (月)12:45～13:30	〔第1学期〕 2023年7月16日(日) 5時限(14:25～15:15) (注1) Web受験(択一式)	健康や保健医療に関する研究には、基盤となるアプローチがあるのと同時に、多様な研究方法が存在する。調査研究について大別すれば、量的研究や質的研究があり、またそれらを組み合わせた方法論的トライアンギュレーションも存在する。また、たとえば量的研究においても、介入的研究や質問紙による調査、ウェブ調査なども存在する。本科目では、研究遂行のためのガイドとなるべく、健康や保健医療の研究のアプローチの基礎について概略を紹介し、一部の方法については具体的に言及する。保健・医療・看護・健康に関連する学生をコアターゲットとして考えているものの、福祉、生活、心理、教育、社会など、幅広い領域の学生も受講できるよう、また内容的にも各自の研究に十分役立つよう、工夫してある。 ※他の生活健康科学プログラム関係の科目と並行して学ぶことが望ましい。 ※改訂回は第2, 9, 11, 12, 13回です。
2019 年度開設科目			【平均点】 2021年度2学期(84.0点) 2022年度1学期(85.2点)	
8910766 スポーツ・ 健康医科学('19)  河合 祥雄 〔放送大学客員教授〕 〔順天堂大学名誉教授〕  「スポーツ健康医科学('15)」 の単位修得者は履修不可	2	ラジオ  〔第1学期〕 (月)22:30～23:15	〔第1学期〕 2023年7月15日(土) 6時限(15:35～16:25) (注1) Web受験(択一式)	スポーツは人々の生活の質をさらに高めることを可能にする。日常生活にスポーツを取り入れることによって、豊かな生活、健康な人生を送ることができる。その実践のきっかけとなるための基礎的理論を理解し、安全を担保し、確実な医学的事実に基づく有益・有用な実践に結びつけるための手立てを提示する。 講義内容は自身の問題であるだけでなく、青少年、高齢者を指導する際に有益な情報・有用な情報及び指針を与える。 ※「スポーツ・健康医科学('15)」が2018年度末で閉講となるが、この分野の関心度も高く、改めて、我々人間にとつての身体活動の意義と、文化としてのスポーツを日常生活の中に取り入れることの重要性、その際の注意点について、健康医科学的な裏づけに基づいて概説したい。
2019 年度開設科目			【平均点】 2021年度2学期(93.5点) 2022年度1学期(86.3点)	
8911029 健康・スポーツ 科学研究('21) 関根 紀子 (放送大学教授)  ※この科目は「健康・スポーツ科学研究('17)」の改訂科目です。  「健康・スポーツ科学研究('17)」 の単位修得者に対する履修制限はありません。	2	ラジオ  〔第1学期〕 (火)19:30～20:15	〔第1学期〕 2023年7月16日(日) 6時限(15:35～16:25) (注1) Web受験(択一式)	我々が生活する現代社会は様々な情報が溢れ、運動・健康・スポーツに関する最新の研究結果や実践法が数多く紹介されている。これらの情報を正しく理解し生活に取り入れるとともに、自ら健康・スポーツ科学分野の研究に取り組む基礎を築くため、データの解説を通して健康・スポーツの科学的理解を深めることを目指す。はじめに、健康・スポーツに科学的にアプローチするための研究法や生理学的基礎について概説する。次に、生理学研究、疫学研究、身体活動・運動施策などについて、各分野におけるデータを示しながらオムニバス形式で解説する。 ※全15回を改訂しています。
2021 年度開設科目			【平均点】 2021年度2学期(93.1点) 2022年度1学期(80.1点)	※この科目の通信指導問題の解答および提出はWebのみとなります。 通信指導問題冊子は送付されませんのでご注意ください。
8911053 福祉政策と人権('22)  金川 めぐみ 〔放送大学客員教授〕 〔和歌山大学教授〕	2	ラジオ  〔第1学期〕 (火)22:30～23:15	〔第1学期〕 2023年7月15日(土) 5時限(14:25～15:15) (注1) Web受験(記述式)	この講義では、20世紀に形成された福祉政策の歴史的な発展が、人権理念を背景に、その範囲と内容を豊かにしてきたことを理解する。そのうえで、21世紀の福祉政策の特徴を明らかにするとともに、今後の制度のあり方を立案するための、人権論的な基礎と歴史的背景から見てくる政策課題を考察することとする。 ※社会福祉についての基礎知識を有し、教育・研究や実践にかかわっている方々への更なる前進の手がかりを提供しようとするものである。したがって、学部における社会福祉関係科目の履修を推奨する。また、生活健康科学プログラムにおかれている科目はもちろん、人間発達科学プログラムの科目、社会経営科学プログラムの科目も、密接に関連しているので、合わせて履修されたい。
2022 年度開設科目			【平均点】 2022年度1学期(93.2点)	

(注1) 2023年度第1学期単位認定試験は、自宅等でのWeb受験方式となり、試験期間中(全科目2023年7月15日(土)9:00～7月25日(火)17:00)はいつでも受験可能です。ただし、登録システムの設計上、本誌に記載の同一試験日・時限の科目を重複して登録することはできません。詳細はp.6～p.7をご確認ください。



# 生活健康科学プログラム

科 目 コ ー ド 主 任 講 師 名	単 位	メ デ ィ ア 放 送 時 間	単 位 認 定 試 験 日・時 限 実施方法(形式) 平 均 点	講 義 概 要
8910731 生活変動と社会福祉('18) ー福祉研究の道標ー  山田 知子 (放送大学教授)	2	ラジオ  〔第1学期〕 (水)19:30～20:15	〔第1学期〕 2023年7月15日(土) 4時限(13:15～14:05) (注1) Web受験(択一式)  【平均点】 2021年度2学期(90.0点) 2022年度1学期(69.3点)	本講義は社会福祉の研究を志す人のためのものである。現代社会は大きく変動していて、我々の生活は不安定になる可能性を常にはらんでいる。社会福祉の制度政策、実践は生活の安定のために欠くことのできないものになっている。研究者がどのようなスタンスで、なにを研究するか、問われている。社会福祉の研究は歴史、国際比較、実態調査、実践研究など多岐にわたる。また、分野も子どもや女性、障害のある人々、高齢期にある人々、低所得や社会的に疎外されている人々など、バリエーションに富む。すべてを網羅することはできないが、基本的な研究視点と方法を紹介しながら、社会福祉研究の今と明日を見つめたい。 ※本講義は大学院科目である。学部の「社会福祉ー新しい地平を拓く('22)」 「社会福祉実践とは何か」「高齢期を支える('23)」等、社会福祉関連科目は履修済みであることが望ましい。社会福祉の制度、政策、実践についてすでにある程度知っていることが前提である。本講義で取り上げるもののみならず、社会福祉に関するさまざまな論文については、内外のものを自ら収集し、読んでおくことをお勧めしたい。
6910025 臨床推論('16)  北村 聖 〔放送大学客員教授 地域医療研究所シニアアドバイザー〕  山脇 正永 〔放送大学客員教授 東京医科歯科大学教授〕	1	オンライン〈字〉  テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。	通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。  成績評価と単位認定は、小テスト(50%)および最終テスト(50%)の評価により行う。	看護師が特定行為を行う場合に必要とされる実践能力の基礎となる知識・技能の向上を図るために、臨床診断学、臨床検査学、症候学、臨床疫学について学ぶ。看護師の特定行為研修制度の対応科目のひとつであり、指定の以下の内容を含むものとする。 1. 臨床推論とは 2. 診療のプロセス 3. 臨床推論(症候学を含む)の理論 4. 医療面接の理論 5. 各種臨床検査の理論 6. 画像検査の理論 7. 臨床疫学の理論 8. まとめ EBM、生涯教育と行動の学習 ※看護師の特定行為研修科目として利用する場合は、看護師として3～5年以上の実務経験を有する必要がある。 ※この科目を履修するにあたっては「統合医療安全・特定行為実践特論」「フィジカルアセスメント特論」「統合臨床病態生理学・疾病概論」「臨床薬理学特論」などの科目とあわせて履修することが望ましい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6910033 フィジカルアセスメント 特論('16)  山内 豊明 (放送大学教授)	1	オンライン〈字〉  テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。	通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。  成績評価と単位認定は、小テスト(50%)および最終テスト(50%)の評価により行う。	看護師が適切に特定行為を遂行するために欠かすことのできない身体面に関する情報収集の方法論と所見の解釈についての理論と技能を習得することを目指す。看護師の特定行為研修制度の対応科目のひとつであり、指定の以下の内容を含むものとする。 1. 身体診察基本手技の理論 2. 部位別身体診察手技と所見の理論 全身状態とバイタルサイン／頭頸部／胸部／腹部／四肢・脊柱／泌尿・生殖器／乳房・リンパ節／神経系 3. 身体診察の年齢による変化 小児／高齢者 4. 状況に応じた身体診察 救急医療／在宅医療 ※看護師の特定行為研修科目として利用する場合は、看護師として3～5年以上の実務経験を有する必要がある。 ※この科目を履修するにあたっては「統合医療安全・特定行為実践特論」「臨床推論」などの科目とあわせて履修することが望ましい。 ※受講にあたっては別途指定教材(図書)での自己学習を必須とする。 『フィジカルアセスメント ガイドブックー目と手と耳でここまでわかる』(山内豊明／医学書院：第2版(2011/12/9)／¥2,640(税込)／単行本224頁／ISBN978-4-260-01384-0) ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
2018 年度開設科目				
2016 年度第 2 学期開設科目				
2016 年度第 2 学期開設科目				

(注 1) 2023 年度第 1 学期単位認定試験は、自宅等での Web 受験方式となり、試験期間中(全科目 2023 年 7 月 15 日(土) 9:00～7 月 25 日(火) 17:00)はいつでも受験可能です。ただし、登録システムの設計上、本誌に記載の同一試験日・時限の科目を重複して登録することはできません。詳細は p.6～p.7 をご確認ください。

# 生活健康科学プログラム

科目コード 主 任 講 師 名	単 位	メ デ ィ ア 放 送 時 間	単 位 認 定 試 験 日・時 限 実施方法 (形式) 平 均 点	講 義 概 要
<b>6910041</b> <b>臨床病態生理学特論 ('17)</b>  <b>小川 真</b> (元千葉県立保健医療大学教授) 2019 年 1 月ご逝去  <b>東本 恭幸</b> (放送大学客員教授)	1	オンライン (字)          テレビ・ラジオ等による 放送は行わない。 開講期間中にインター ネットを受講すること。	通信指導、単位認定試験 および再試験は行わない。  成績評価と単位認定は、 ディスカッション、レポートを 含む演習 (20%)、小テスト (40%)、および最終テスト (40%) の評価により行う。  ※ディスカッションは実名で 電子掲示板へ投稿しま す。	臨床解剖学および臨床生理学、さらには臨床病理学の原則を理解し、年 齢や状況に応じた病態の変化や治療の特性を包括的かつ迅速に判断でき るよう必要な知識と技術を学修する。看護師の特定行為研修制度 (省令改正前 の旧基準) の対応科目のひとつであり、指定の以下の内容を含むものとする。 1. 臨床解剖学および臨床生理学総論 2. 臨床解剖学および臨床生理学各論 3. 臨床病理学総論 4. 臨床病理学各論 ※本科目は、厚労省令一部改正 (2019.4.26) に伴う新基準とは異なり、「看護 師の特定行為研修【旧基準】共通科目」に対応するため、2023 年度以降 は、看護師の特定行為研修の受講予定がない者の履修を推奨する。 また、「看護師の特定行為研修 (新基準) 共通科目」の要件を満たす「統 合臨床病態生理学・疾病概論 ('19)」と学修内容が重複するため、履修 にあたっては十分に注意すること。 ※看護師の特定行為研修に関連する科目の履修を考えている場合は、本学 ウェブサイトの「看護師の特定行為研修」をご覧ください、確認の上で履 修登録してください。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は、本 学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
2017 年度第 2 学期開設科目		通信指導は行わない。		
<b>6910050</b> <b>疾病・臨床病態概論 ('17)</b>  <b>小川 薫</b> 〔放送大学客員教授〕 〔順天堂大学名誉教授〕	2	オンライン (字)          テレビ・ラジオ等による 放送は行わない。 開講期間中にインター ネットを受講すること。	通信指導、単位認定試験 および再試験は行わない。  成績評価と単位認定は、 ディスカッション、レポート、 小テストを含む演習 (16%)、 小テスト (44%)、および 最終テスト (40%) の評価に より行う。  ※ディスカッションは実名で 電子掲示板へ投稿しま す。	看護師の特定行為研修制度 (省令改正前の旧基準) の対応科目のひとつ であり、指定の以下の内容を含むものとする。 主要疾患 (5 疾病) の臨床診断・治療を学ぶ。 1. 5 疾病の病態と臨床診断・治療の概論 悪性腫瘍／脳血管障害／急性心筋梗塞／糖尿病／精神疾患 2. その他の主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論 循環器系／呼吸器系／消化器系／腎泌尿器系／内分泌・代謝系／ 免疫・膠原病系／血液／リンパ系／神経系／小児科／産婦人科／精 神系／運動器系／感覚器系／感染症／その他 年齢や状況に応じた臨床診断・治療 (小児、高齢者、救急医学等) を学ぶ。 1. 小児の臨床診断・治療の特性と演習 2. 高齢者の臨床診断・治療の特性と演習 3. 救急医療の臨床診断・治療の特性と演習 4. 在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習 ※本科目は、厚労省令一部改正 (2019.4.26) に伴う新基準とは異なり、「看護 師の特定行為研修【旧基準】共通科目」に対応するため、2023 年度以降 は、看護師の特定行為研修の受講予定がない者の履修を推奨する。 また、「看護師の特定行為研修 (新基準) 共通科目」の要件を満たす「統 合臨床病態生理学・疾病概論 ('19)」と学修内容が重複するため、履修 にあたっては十分に注意すること。 なお、本科目の履修にあたっては、「臨床病態生理学特論 ('17)」及び「フィ ジカルアセスメント特論 ('16)」を既に習得しているか同時に履修する必要 があり、さらに「臨床推論 ('16)」の同時履修を必要とする。 ※看護師の特定行為研修に関連する科目の履修を考えている場合は、本学 ウェブサイトの「看護師の特定行為研修」をご覧ください、確認の上で履 修登録してください。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は、本 学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
2017 年度第 2 学期開設科目		通信指導は行わない。		

# 生活健康科学プログラム

科目コード 科目名 主 任 講 師 名	単位	メディア 放送時間	単 位 認 定 試験日・時限 実施方法(形式) ----- 平 均 点	講 義 概 要
<b>6910068</b> <b>臨床薬理学特論 ('17)</b>  <b>柳田 俊彦</b> (放送大学客員教授) (宮崎大学教授)	1	オンライン〈字〉          テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。	通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。  成績評価と単位認定は、ディスカッション、レポートを含む演習(20%)、小テスト(40%)、および最終テスト(40%)の評価により行う。  ※ディスカッションは実名で電子掲示板へ投稿します。	薬理学・薬剤学の基礎知識を深め、主要な疾患別の治療薬ならびに予防薬の薬効、作用機構、副作用、リスクマネジメント等、臨床における薬物の理論と実際について学習する。また、小児、女性、高齢者等、年齢による特性、個体差のある薬理作用と主要薬物の安全管理を学ぶ。看護師の特定行為研修制度の対応科目のひとつであり、指定の以下の内容を含むものとする。 1. 薬物動態の理論と演習 2. 主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習 3. 主要薬物の相互作用の理論と演習 4. 主要薬物の安全管理と処方の理論と演習 ※年齢による特性(小児／高齢者)を含む ※本科目は、看護師の特定行為研修の共通科目に対応した科目となっている。看護師の特定行為研修科目として利用する場合は、看護師として3～5年以上の実務経験を有する必要がある。この科目を履修するにあたっては「統合医療安全・特定行為実践特論」「臨床推論」「フィジカルアセスメント特論」「統合臨床病態生理学・疾病概論」などの科目とあわせて履修することが望ましい。また、事前に学部開設科目の「疾病の回復を促進する薬(21)」を履修しておくことが望ましい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
2017 年度第 2 学期開設科目		通信指導は行わない。		
<b>6910076</b> <b>特定行為実践特論 ('17)</b>  <b>石井 邦子</b> (放送大学客員教授) (千葉県立保健医療大学副学長・教授)  <b>木澤 晃代</b> (放送大学客員准教授) (日本看護協会常任理事)	1	オンライン〈字〉          テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。	通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。  成績評価と単位認定は、ディスカッション、レポートを含む演習(20%)、小テスト(40%)、および最終テスト(40%)の評価により行う。  ※ディスカッションは実名で電子掲示板へ投稿します。	看護師が適切に特定行為を遂行するために、自らの看護実践を見直しつつ標準化する能力を身につけることを目指す。看護師の特定行為研修制度(省令改正前の旧基準)の対応科目のひとつであり、指定の以下の内容を含むものとする。 ・特定行為実践のための関連法規を学ぶ。 ・特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程を学ぶ。 1. 特定行為の実践過程の構造 2. アセスメント、仮説検証、意思決定の理論と演習 ・根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し見直すプロセスを学ぶ。 ・インフォームドコンセントの理論と実際(事例検討等の演習を含む)を学ぶ。 ・多職種協働実践(Inter Professional Work (IPW))(IPWを促進する方法の検討等の演習を含む)を学ぶ。 1. コンサルテーションの方法 2. チーム医療の理論と事例検討 3. 多職種協働実践の課題 ※特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割を含む。 ※本科目は、厚労省令一部改正(2019.4.26)に伴う新基準とは異なり、「看護師の特定行為研修【旧基準】共通科目」に対応するため、2023年度以降は、看護師の特定行為研修の受講予定がない者の履修を推奨する。 また、「看護師の特定行為研修(新基準)共通科目」の要件を満たす「 <u>統合医療安全・特定行為実践特論('19)</u> 」と学修内容が重複するため、履修にあたっては十分に注意すること。 ※看護師の特定行為研修に関連する科目の履修を考えている場合は、本学ウェブサイトの「看護師の特定行為研修」をご覧ください、確認の上で履修登録してください。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は、本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
2017 年度第 2 学期開設科目		通信指導は行わない。		



# 生活健康科学プログラム

科目コード 科主任講師名	単位	メディア 放送時間	単位認定 試験日・時限 実施方法(形式) 平均点	講義概要
<b>6910084</b> <b>特定行為共通科目</b> <b>統合演習 ('17)</b>  <b>山内 豊明</b> (放送大学教授)	1	オンライン(字)    テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。	通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。  成績評価と単位認定は、演習(ディスカッション、レポート、シミュレータによる演習)の評価により行う。  ※ディスカッションは実名で電子掲示板へ投稿します。	看護師の特定行為研修制度の対応科目である「統合医療安全・特定行為実践特論」「臨床推論」「フィジカルアセスメント特論」の演習をとおして、実践能力の基礎となる知識・技能の向上を図る。演習には、指定の以下の内容を含むものとする。 1. 医療安全に関する理論・原則、医療安全の推進に関わる制度・システム、医療施設における組織的な取り組みや実践例、患者との関わりについて、事例検討をとおして実践につなげる能力を身につける。 2. 臨床診断学、臨床検査学、症候学、臨床疫学について、以下の演習をとおして実践につなげる能力を身につける。 ・臨床推論(症候学を含む) 演習 ・医療面接演習 ・各種臨床検査演習 ・画像検査演習 ・臨床疫学演習 3. 看護師が適切に特定行為を遂行するために欠かすことのできない身体面に関する情報収集の方法論と所見の解釈についての理論に基づき、以下の演習をとおして技能の習得を目指す。 ・身体診察基本手技演習 ・部位別身体診察手技と所見演習 ※この科目を履修するにあたっては「統合医療安全・特定行為実践特論」「臨床推論」「フィジカルアセスメント特論」などの科目とあわせて履修することが望ましい。受講にあたっては、指定教材と指定サイトでの学習を必須とする。 [指定教材(図書)] 『フィジカルアセスメント ガイドブック—目と手と耳でここまでわかる』(山内豊明／医学書院；第2版(2011／12／9)／¥2,640(税込)／単行本224頁／ISBN978-4-260-01384-0) [指定教材(聴診器)] Web教材ではイヤホンを用いて呼吸音聴取の演習を行います。その後、生体に対して実際の聴診を演習する際には聴診器が必要となります。呼吸音聴取のためには、ある程度の品質を備えた聴診器が不可欠です。定価で15,000～20,000円程度のものが相応しいと考えます(販売価格は時期により変動します)。 [指定サイト] 授業内で提示します。 ※この科目を受講する際には、ご自身で指定教材をご用意ください。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。
2017年度第2学期開設科目		通信指導は行わない。		
<b>6910122</b> <b>統合臨床病態生理学・</b> <b>疾病概論 ('19)</b>  <b>東本 恭幸</b> (放送大学客員教授)  <b>小川 薫</b> (放送大学客員教授) (順天堂大学名誉教授)	2	オンライン(字)    テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。	通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。  成績評価と単位認定は、ディスカッション、レポートを含む演習(20%)、小テスト(40%)、および最終テスト(40%)の評価により行う。なお、最終テストを受験するには演習課題をすべて提出する必要がある。  ※オンライン上の学習で評価します。 ※ディスカッションは実名で電子掲示板へ投稿します。	臨床解剖学および臨床生理学、さらには臨床病理学の原則を理解し、年齢や状況に応じた病態の変化や治療の特性を包括的かつ迅速に判断できるよう必要な知識と技術を学修する。また、主要疾患の臨床診断・治療を学ぶ。 1. 主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論 脳血管障害／急性心筋梗塞／糖尿病／精神疾患 2. その他の主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論 循環器系／呼吸器系／消化器系／泌尿器系／内分泌・代謝系／免疫・膠原病系／血液・リンパ系／神経系／小児科／産婦人科／精神系／感染症／運動器系／感覚器系／その他 3. 救急医療の臨床診断・治療の特性と演習 4. 在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習 看護師の特定行為研修制度の対応科目のひとつであり、精錬化による時間数の減少に対応して、『臨床病態生理学特論』と『疾病・臨床病態概論』を統合し、再構築した科目である。 ※本科目は、厚労省令一部改正(2019.4.26)に伴う【新基準】に対応した「看護師の特定行為研修共通科目」の対応科目である。 そのため、 <u>看護師として指定研修機関に所属し特定行為研修を受講する者、又は、特定行為研修の受講を考えている者を履修対象とする。</u> また、上記省令一部改正前の共通科目旧基準対応科目である「臨床病態生理学特論('17)」及び「疾病・臨床病態概論('17)」(以下、「旧基準科目」という)の内容から、共通科目【新基準】として学ぶべき事項に係る内容を統合した科目となっている。 ※本科目と旧基準科目は、学修内容が重複するため、共通科目【新基準】を受講する必要の無い看護師、又は、看護師以外の学生は、本科目の元になっている旧基準科目の履修登録を推奨する。 なお、本科目の履修にあたっては、「フィジカルアセスメント特論('16)」を既に習得しているか同時に履修する必要がある、さらに「臨床推論('16)」の同時履修を必要とする。 ※看護師の特定行為研修に関連する科目の履修を考えている場合は、本学ウェブサイトの「看護師の特定行為研修」をご覧ください、確認の上で履修登録してください。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は、本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
2019年度第2学期開設科目		通信指導は行わない。		

# 生活健康科学プログラム

科目コード 科目名 主 任 講 師 名	単 位	メ デ ィ ア 放 送 時 間	単 位 認 定 試 験 日・時 限 実施方法(形式)	講 義 概 要
			平 均 点	
<b>6910114</b> <b>統合医療安全・</b> <b>特定行為実践特論（'19）</b>  <b>石井 邦子</b> （放送大学客員教授） （千葉県立保健医療大学 副学長・教授）  <b>木澤 晃代</b> （放送大学客員准教授） （日本看護協会常任理事）  <b>山本 武志</b> （放送大学客員准教授） （札幌医科大学准教授）	1	オンライン〈字〉	通信指導、単位認定試験 および再試験は行わない。  講義、演習の成績評価と 単位認定は、ディスカッショ ン、レポートを含む演習 (20%)、小テスト(40%)、 および最終テスト(40%)の 筆記試験における評価によ り行う。 なお、最終テストを受験す るには演習課題をすべて提 出する必要がある。インター ネットによる受講環境があ れば、自宅などでもテスト受 験、単位取得が可能である。  ※ディスカッションは 実名で電子掲示板へ 投稿します。	看護師が適切に特定行為を遂行するために、自らの看護実践を見直しつづ標 準化する能力を身につけることを目指す。 特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過 程（理論、演習）を学ぶ中で以下の内容を統合して学ぶ。 1. 特定行為実践に関連する医療倫理、医療管理、医療安全、ケアの質保証 (Quality Care Assurance) を学ぶ ①医療倫理 ②医療管理 ③医療安全 ④ケアの質保証 2. 特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多 職種協働実践（Inter Professional Work（IPW））を学ぶ ①チーム医療の理論 ②チーム医療の事例検討 ③コンサルテーションの方法 ④多職種協働の課題 3. 特定行為実践のための関連法規、意思決定支援を学ぶ ①特定行為関連法規 ②特定行為実践に関連する患者への説明と意思決定支援の理論と演習 4. 根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順 書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ ①手順書の位置づけ ②手順書の作成演習 ③手順書の評価と改良 ※本科目は、厚労省令一部改正（2019.4.26）に伴う【新基準】に対応した「看 護師の特定行為研修共通科目」の対応科目である。 そのため、看護師として指定研修機関に所属し特定行為研修を受講する者、 又は、特定行為研修の受講を考えている者を履修対象とする。 また、上記省令一部改正前の共通科目旧基準対応科目である「医療安全学特論 (16)」（2022 年度第 2 学期をもって閉講）及び「特定行為実践特論（17）」（以下、 「旧基準科目」という）の内容から、共通科目【新基準】として学ぶべき事項に係 る内容を統合した科目となっている。 ※本科目と旧基準科目は、学修内容が重複するため、旧基準科目を履修済みの 場合は、履修にあたっては十分に注意すること。 ※看護師の特定行為研修に関連する科目の履修を考えている場合は、本学ウェ ブサイトの「看護師の特定行為研修」をご覧ください、確認の上で履修登録 してください。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は、本学ウェ ブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
2019 年度第 2 学期開設科目		通信指導は行わない。		
<b>6910092</b> <b>生活環境情報学</b> <b>基礎演習（'18）</b>  <b>川原 靖弘</b> （放送大学准教授）  <b>ロベズ ギヨーム</b> （放送大学客員教授） （青山学院大学教授）	2	オンライン〈字〉	通信指導、単位認定試験 および再試験は行わない。  成績評価は、オンラインシ ステム上の選択問題形式 「小テスト」（60%）、「レポ ート」（40%）の提出内 容の評価により行う。 ※ディスカッションは 実名で電子掲示板へ 投稿します。	近年の生活空間における情報通信技術（ICT）の発展と、通信インフラの整備 により、生活者は、場所や時間を選ばず、日常的に電子化された情報を享受・発 信しながら生活を営んでいる。今日の生活環境で扱うこのような情報の中で、時系 列情報と地理空間情報に焦点を当て、その扱い方、表現方法、解析方法の基本的 手法を解説する。 ※パソコンの基本的な使い方を知っていて、表計算ソフトでの四則演算の経験、 高校卒業程度の数学の知識があれば履修可能です。「if/then」「for,while」 などのプログラミングの基本文法の知識があればより理解がしやすいでしょう。 ※この科目を受講するにあたっては、履修登録前に、受講に使用するパソコンを 用いて、オープンソースソフトウェア Scilab のインストールと操作、及びオンライン GIS の ArcGIS Online の Web ブラウザでの動作確認を行ってください。 これらの方法について、オンライン授業体験版 ( <a href="https://online-open.ouj.ac.jp/">https://online-open.ouj.ac.jp/</a> ) の「生活環境情報学基礎演習」のページを参照してください。ソフトウェ アのインストールと動作確認方法については、個別にサポートできない場合がありますので、オンライン授業体験版は、受講前に体験することを強くお勧めします。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェ ブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
2018年度開設科目		通信指導は行わない。		
<b>6980015</b> <b>アカデミック・</b> <b>スキルズ（'20）</b>  <b>滝浦 真人</b> （放送大学教授）  <b>三輪 眞木子</b> ※ （放送大学特任教授）  <b>各プログラム教員</b> ※ （放送大学教員）  ※は専門担当講師 2020年度開設科目	1	オンライン〈字〉	通信指導、単位認定試験 および再試験は行わない。  成績評価は、小テスト (60%)、レポート(40%)の 評価により行う。	<b>〔「臨床心理学プログラム」以外と共通〕</b>  修士全科生を対象として、修士課程において必要となるライティング／サーチン グ／リーディングの基礎力を涵養する。 ※修士全科生以外は履修できません。（臨床心理学プログラム所属の修士全科 生も履修不可。） ※修士全科生の1 年次1 学期での履修を推奨しています。 なお、新入学予定者以外の修士全科生で履修を希望する場合は、履修登録を する前に研究指導責任者に履修の要否について相談してください。 ※7、8 回については、各プログラム教員毎にグループ分けをし、文献等の講読お よびレポート等の課題を課します。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェ ブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
		テレビ・ラジオ等による 放送は行わない。 開講期間中にインター ネットを受講すること。		
		通信指導は行わない。		



# 人間発達科学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア 放送時間	単位認定 試験日・時限 実施方法(形式)	講義概要
			平均点	
<b>8920737</b> <b>教育文化の社会学(17)</b>  <b>稲垣 恭子</b> (放送大学客員教授) (京都大学理事・副学長)	2	ラジオ  〔第1学期〕 (土)22:30～23:15	[第1学期] 2023年7月15日(土) 8時限(17:55～18:45) (注1) Web受験(択一式)	現代社会においては、日常生活や行動を規制してきたさまざまな制度が後退し、個人の選択や判断が前面化するという社会の液状化と個人化が進行しつつある。そのなかで、生きかたのスタイルや価値を改めて問い直し探索しようとする文化現象も現われている。 本講義では、文化社会学・歴史社会学の視点から、家族、学校、メディア空間等のなかで維持・共有されてきた教育文化を対象として、その形成と変容の過程をたどりながら、現代日本における新たな教育文化の創造と可能性について考えていきたい。
2017年度開設科目			【平均点】 2021年度2学期(93.4点) 2022年度1学期(86.2点)	
<b>8921016</b> <b>海外の教育改革(21)</b>  <b>坂野 慎二</b> (放送大学客員教授) (玉川大学教授)	2	ラジオ  〔第1学期〕 (土)19:30～20:15	[第1学期] 2023年7月16日(日) 3時限(11:35～12:25) (注1) Web受験(択一式)	日本の教育改革は明確な方向性が見いだされていない。諸外国においては、学力保障と人材確保といった戦略が明確になってきている。学力保障のために、学校評価の導入や、教員養成・教師教育の充実等はいくつもの国に共通する。しかしアジア諸国のような競争型学校教育と北欧諸国の全員参画型教育のように、その方向性は必ずしも一様ではない。また、欧米諸国では、多文化による多様な教育、支援を要する子ども達への教育に力を入れることが、全体的な学力向上のために不可欠な施策となっている。こうした諸外国の教育改革は、教育関係者のみならず、子どもを持つ保護者や、企業関係者にも多くの興味関心を引き起こすものである。 ※海外の動向に興味を有していること。
「海外の教育改革(15)」 の単位修得者は履修不可  2021年度開設科目			【平均点】 2021年度2学期(87.3点) 2022年度1学期(82.1点)	
<b>8920788</b> <b>教育行政と学校経営(20)</b>  <b>勝野 正章</b> (放送大学客員教授) (東京大学教授)	2	ラジオ  〔第1学期〕 (金)19:30～20:15	[第1学期] 2023年7月16日(日) 4時限(13:15～14:05) (注1) Web受験(併用式)	現代の教育改革は、国から学校までのあらゆるレベルの改革が同時進行的に取り組まれていることがその特徴として挙げられる。教育行財政制度のしくみと課題を理解しておくことは、今日の教育の在り方を考えるうえで極めて重要である。本科目は教育行政と学校経営を主な対象とすることで、現代の教育を分析する視点を育てることを目的とする。既存の教育行財政制度の改編が進んでいる中で、国と地方の教育政策や教育行政の実情と課題、教育の中核的担い手である教職員の問題、学校を巡る新たな環境と学校経営の課題など、教育行政と学校経営が直面する現代の問題と政策課題を学ぶ。 ※今日の日本における教育改革を国際的動向から理解するために、「海外の教育改革(21)」を受講することが望ましい。
村上 祐介 (放送大学客員准教授) (東京大学准教授)			【平均点】 2021年度2学期(86.8点) 2022年度1学期(81.0点)	
<b>8921024</b> <b>カリキュラムの理論と実践(21)</b>  <b>田中 統治</b> (放送大学名誉教授) (東海大学特任教授)	2	ラジオ  〔第1学期〕 (日)19:30～20:15	[第1学期] 2023年7月16日(日) 8時限(17:55～18:45) (注1) Web受験(択一式)	本科目は修士課程や教職大学院で学ぶ教員層および企業等の教育担当者を対象に、教育課程を含むカリキュラムに関する理論の研究動向をキーワードを中心に概説し、これを日本の教育機関において実践するための専門的視点として習得させることを目的とする。とくに近年、日本の教育改革で注目されるカリキュラム・マネジメントに関して、これまでのカリキュラム研究の成果をもとにより深く理解するため、研究のキーワードを中心に、広く社会変化、教育思想、学校文化、学校組織、教授・学習過程、および教育評価の側面から、人間とカリキュラムの総合的な把握を目指す。 ※以下の大学院科目と関連する。共通:「教育文化の社会学(17)」 「道徳教育の理念と実践(20)」 専門系:「海外の教育改革(21)」 「教育行政と学校経営(20)」
根津 朋実 (放送大学客員教授) (早稲田大学教授)			【平均点】 2021年度2学期(83.8点) 2022年度1学期(82.2点)	
<b>8920796</b> <b>道徳教育の理念と実践(20)</b>  <b>西野 真由美</b> (放送大学客員教授) (国立教育政策研究所 総括研究官)	2	ラジオ  〔第1学期〕 (金)22:30～23:15	[第1学期] 2023年7月15日(土) 3時限(11:35～12:25) (注1) Web受験(記述式)	学校における道徳教育について、学習指導要領では、「『特別の教科である道徳』を要として学校の教育活動全体を通じて行う」と示されている。そのため、道徳教育の理念と実践について検討するには、教育課程全体を道徳教育の視点で捉えるカリキュラム論と「特別の教科である道徳(道徳科)」の授業理論という二つのアプローチが求められる。本科目では、道徳教育のカリキュラム開発と道徳科の学習指導をめぐる様々な議論や論争に注目しながら、哲学的・心理学的・歴史的・比較文化的な視点で学校における道徳教育の在り方を考え、多様な実践の可能性を検討する。 ※道徳教育に関する学部科目を履修していることが望ましい。
2020年度開設科目			【平均点】 2021年度2学期(80.1点) 2022年度1学期(79.5点)	
<b>8920770</b> <b>成人の発達と学習(19)</b>  <b>岩崎 久美子</b> (放送大学教授)	2	ラジオ  〔第1学期〕 (水)22:30～23:15	[第1学期] 2023年7月15日(土) 2時限(10:25～11:15) (注1) Web受験(択一式)	成人期の学習(成人学習)は、個人の問題意識に基づき、生活や経験に根ざして自発的に行われる。 このような成人学習の特徴、学習プロセスに影響を与える要因、成人学習理論について学際的に着目し、その研究動向を紹介する。
2019年度開設科目			【平均点】 2021年度2学期(97.2点) 2022年度1学期(91.8点)	

(注1) 2023年度第1学期単位認定試験は、自宅等でのWeb受験方式となり、試験期間中(全科目2023年7月15日(土)9:00～7月25日(火)17:00)はいつでも受験可能です。ただし、登録システムの設計上、本誌に記載の同一試験日・時限の科目を重複して登録することはできません。詳細はp.6～p.7をご確認ください。

# 人間発達科学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア 放送時間	単位認定 試験日・時限 実施方法(形式) 平均点	講義概要
8921040 教育老年学('22)  堀 薫夫 (放送大学客員教授) (大阪教育大学名誉教授)  2022年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (木)22:30～23:15	〔第1学期〕 2023年7月16日(日) 6時限(15:35～16:25) (注1) Web受験(記述式) ----- 【平均点】 2022年度1学期(77.1点)	エイジングと生涯学習の対話の学問領域である教育老年学の理念と動向、内容、課題などを概説し、社会の高齢化が進む今日における、高齢者学習支援のあり方を概観する。
8920680 現代社会心理学特論('15)  森 津太子 (放送大学教授)  「現代社会心理学特論('11)」 の単位修得者は履修不可  2015年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (日)12:45～13:30	〔第1学期〕 2023年7月15日(土) 3時限(11:35～12:25) (注1) Web受験(択一式) ----- 【平均点】 2021年度2学期(95.5点) 2022年度1学期(90.2点)	[[臨床心理学プログラム]と共通]  本科目では、社会心理学領域の様々な知見について、次の2つの現代的な視点から解説を試みる。第一に、現代の社会心理学がどのようなものなのか、その特徴や動向を紹介する。社会的影響、社会的認知、自己といった社会心理学において特に重要と思われるトピックに加え、感情、自動性など、最近になって特に注目を集めるようになったトピックもとりあげる。第二に、現代的な研究アプローチを紹介する。本科目の中心となるのは、近年、社会心理学において主要な研究アプローチとなっている社会的認知アプローチである。しかしそれに加え、より学際性を帯びた取り組みである、経済学との融合や、人間の社会的行動を環境への適応の産物ととらえる進化論的な考え方、人間の社会的行動の生物学的基盤を探ろうとする脳神経生理学的な研究など、新たな研究アプローチも紹介する。
8920761 教育心理学特論('18)  三宅 芳雄 (放送大学客員教授)  白水 始 (放送大学客員教授) (国立教育政策研究所 総括研究官)  2018 年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (日)7:30～8:15	〔第1学期〕 2023年7月16日(日) 2時限(10:25～11:15) (注1) Web受験(択一式) ----- 【平均点】 2021年度2学期(85.3点) 2022年度1学期(75.3点)	[[臨床心理学プログラム]と共通]  教育心理学の中心的な課題は人がいかに学ぶのかその仕組みを解明し、優れた教育の実現に資することである。この講義では学習を人の活動の一環として成立する、できることの範囲を広げる過程、として捉え、その仕組みを明らかにし、人の学習が効果的に成立するための環境について論じていく。特に、人の活動を広く文化、社会環境の中で相互作用として捉え、それを成立させる意識的、無意識的な認知過程の解明を基軸にして学習の仕組みを明らかにし、そこからよりよい教育環境の構築をどう実現していくのかを論じる。例えば、協調的な活動を促す学習環境である知識構成型ジグソー法がどのような活動の認知過程を導き、それがどのような学びを実現するのかを取り上げていく。 ※心理学、教育学の素養があることが講義を効果的に履修する上で役に立つが、特定の予備知識を前提としない。
8950687 学校臨床心理学特論('21)  倉光 修 (放送大学特任教授)  ※この科目は「学校臨床心理学・地域援助特論(15)」 の改訂科目です。  「学校臨床心理学・地域援助特論(15)」 の単位修得者に対する履修制限はあません。  2021年度開設科目	2	テレビ〈字〉  〔第1学期〕 (水)14:15～15:00	〔第1学期〕 2023年7月16日(日) 6時限(15:35～16:25) (注1) Web受験(択一式) ----- 【平均点】 2021年度2学期(95.1点) 2022年度1学期(83.5点)	[[臨床心理学プログラム]と共通]  今日、学校の中に臨床心理学の知識と技能を持ったカウンセラーがいて、心理的問題に苦しむ子どもたちに対するカウンセリングやプレイセラピー、保護者に対する相談や教職員に対するコンサルテーション、緊急支援や心理教育、関連分野の専門家や地域の人々との連携などに取り組んでいることがよく知られるようになってきた。このような取り組みは、1995年に、文部省(当時)によって公立中学校を中心としてスクールカウンセラーを派遣するようになって以来、飛躍的に発展してきた。本科目では、学校に関わるこうした臨床心理学的支援について幅広く論じる。 ※この科目では、プレイセラピーやカウンセリングの実例を紹介するために模倣事例を提示する。しかし、これらの事例は数多くの臨床経験に基づいて創作されたものであり、テキストや映像からクライアント(子どもや保護者)を特定しようと憶測しないでいただきたい。 ※全15回を改訂しています。
8950709 発達心理学特論('21)  荻野 美佐子 (放送大学客員教授) (上智大学名誉教授)  ※この科目は「発達心理学特論(15)」の改訂科目です。  「発達心理学特論(15)」 の単位修得者は履修不可  2021年度開設科目	2	テレビ〈字〉  〔第1学期〕 (月)14:15～15:00	〔第1学期〕 2023年7月15日(土) 7時限(16:45～17:35) (注1) Web受験(択一式) ----- 【平均点】 2021年度2学期(94.9点) 2022年度1学期(86.4点)	[[臨床心理学プログラム]と共通]  社会が複雑化し、さまざまな心理的支援を必要とする人々がいる。このような社会的状況の中で、専門職としての臨床心理士が求められている。また、専門職にある人だけでなく、私たち自身が、自らの生をどのようにとらえ、意味づけていくのか、そこにどのような社会・文化の影響を受けているのかをとらえる、理解の枠組みを持つ必要がある。人は、誕生から死に至るその生涯発達の過程で、どのように変化するか、時間軸と、自己と他者の関係性の軸を、縦糸と横糸として見ていく。発達の捉え方、重要領域での生涯発達、各時期の発達の特徴と支援について概説する。 ※本講義は、人間発達プログラムと臨床心理学プログラムの共通科目であり、日本臨床心理士資格認定協会の認定する選択必修科目群B群のうちの1科目である。 ※改訂回は第3、6、7、8、12、13、14、15回です。

(注1) 2023年度第1学期単位認定試験は、自宅等でのWeb受験方式となり、試験期間中(全科目2023年7月15日(土)9:00～7月25日(火)17:00)はいつでも受験可能です。ただし、登録システムの設計上、本誌に記載の同一試験日・時限の科目を重複して登録することはできません。詳細はp.6～p.7をご確認ください。

# 人間発達科学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア 放送時間	単位認定 試験日・時限 実施方法(形式) 平均点	講義概要
<b>8950695</b> <b>心理・教育統計法 特論('21)</b>  <b>小野寺 孝義</b> 〔放送大学客員教授〕 〔広島国際大学教授〕  ※この科目は「心理・教育統計法特論('15)」の改訂科目です。  「心理・教育統計法特論('15)」の単位修得者は履修不可  2021年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (火)7:30～8:15	〔第1学期〕 2023年7月16日(日) 7時限(16:45～17:35) (注1) Web受験(択一式)  【平均点】 2021年度2学期(84.9点) 2022年度1学期(85.7点)	〔「臨床心理学プログラム」と共通〕  心理学の代表的な研究方法として観察法、調査法、実験法が挙げられる。一方、臨床心理学では代表的な研究方法として事例研究方法がある。いずれにおいても研究結果を一般化したり、証拠として確信をもって報告するためには統計手法の理解は欠かせない。また、自らがその統計手法を利用していなくても知識がなければ他の研究者の論文内容を正しく判断することもできない。本講では、教育や発達、臨床など心理学の幅広い分野で知っておくべき統計法について概説する。また、新たな統計学の考え方や手法についても紹介していく。 ※改訂回は第1、3、4、5、8、9、10、12、13、14、15回です。
<b>6980015</b> <b>アカデミック・ スキルズ('20)</b>  <b>滝浦 真人</b> (放送大学教授)  <b>三輪 眞木子※</b> (放送大学特任教授)  <b>各プログラム教員※</b> (放送大学教員)  ※は専門担当講師 2020年度開設科目	1	オンライン〈字〉  テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。  通信指導は行わない。	通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。  成績評価は、小テスト(60%)、レポート(40%)の評価により行う。	〔「臨床心理学プログラム」以外と共通〕  修士全科生を対象として、修士課程において必要となるライティング／サーチング／リーディングの基礎力を涵養する。 ※修士全科生以外は履修できません。(臨床心理学プログラム所属の修士全科生も履修不可。) ※修士全科生の1年次1学期での履修を推奨しています。 なお、新入学予定者以外の修士全科生で履修を希望する場合は、履修登録をする前に研究指導責任者に履修の可否について相談してください。 ※7、8回については、各プログラム教員毎にグループ分けをし、文献等の講読およびレポート等の課題を課します。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。

(注1) 2023年度第1学期単位認定試験は、自宅等でのWeb受験方式となり、試験期間中(全科目2023年7月15日(土)9:00～7月25日(火)17:00)はいつでも受験可能です。ただし、登録システムの設計上、本誌に記載の同一試験日・時限の科目を重複して登録することはできません。詳細はp.6～p.7をご確認ください。



臨床心理学プログラム

科目コード 科目名 主 任 講 師 名	単 位	メ デ ィ ア 放 送 時 間	単 位 認 定 試 験 日・時 限 実施方法(形式) 平 均 点	講 義 概 要
8950733 臨床心理学特論('23)  橋本 朋広 (放送大学教授)  大山 泰宏 (放送大学教授)  2023年度開設科目	4	ラジオ  〔第1学期〕 (日)10:30～12:00	〔第1学期〕 2023年7月15日(土) 2時限(10:25～11:15) (注1) Web受験(択一式)	心理臨床の活動領域は、保健医療・教育福祉・司法犯罪・産業など幅広くかつ多様である。各活動領域では支援対象が異なるため、必要とされる知識や技法などには相違はあるが、心の専門家としての不可欠な根本的視座というものが存在する。「臨床心理学特論('23)」では、様々な領域で活動する基盤となる基本的な理論と技法を概説するとともに、臨床心理学の根本的視座、さらには隣接諸科学との関連にまで立ち回り、心理臨床活動の意味について深く考察する。 ※日本臨床心理士資格認定協会の第2種指定校となっているため、この科目は臨床心理学プログラムの修士全科生には必修科目である。
8950644 臨床心理面接特論I('19) —心理支援に関する 理論と実践—  大山 泰宏 (放送大学教授)  小林 真理子 (放送大学教授)  2019年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (金)7:30～8:15	〔第1学期〕 2023年7月15日(土) 1時限(9:15～10:05) (注1) Web受験(択一式)  【平均点】 2021年度2学期(93.5点) 2022年度1学期(84.6点)	心理療法とはどのようなものであるのだろうか？ 様々の問題を抱えたクライアントの語りに「耳を傾け」「受けとめ」ができるために、セラピストはどのようなことに留意しなければならないのだろうか？ 心理療法が営まれるための「器」の設定、「耳を傾ける」際のセラピストの心理的な姿勢、心理療法を始めるにあたっての「見立て」「アセスメント」、「初回面接」、クライアントの語りや心理療法プロセスについての「読み」、そして、クライアントに対しての「問いかけ」「語りかけ」、クライアントとセラピストの「関係性」、「多職種連携」、「家族面接」、「面接の記録」、「力動的アプローチ」と「認知行動的アプローチ」、「終結と中断」といった心理療法のもっとも基本的なテーマについて検討する。 ※従来の「臨床心理面接特論」4単位30回科目が「臨床心理面接特論I」と「臨床心理面接特論II」に分割されたものである。従来の「臨床心理面接特論」の単位取得済の場合は、改めて受講する必要はない。
8950679 臨床心理面接特論II('19) —心理療法の世界—  大山 泰宏 (放送大学教授)  佐藤 仁美 (放送大学准教授)  2019年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (土)7:30～8:15	〔第1学期〕 2023年7月15日(土) 4時限(13:15～14:05) (注1) Web受験(択一式)  【平均点】 2021年度2学期(84.2点) 2022年度1学期(83.1点)	「臨床心理面接特論I」で心理療法のもっとも基本的なことを学んだので、「臨床心理面接特論II」では、心理療法について、さらに様々の視点から学びを深めてゆく。①多岐にわたる心理臨床現場(医療機関、児童相談所、犯罪被害者支援、緩和ケア、産業心理臨床)での心理療法の実際、②「心理査定・心理療法とイメージ」、「箱庭療法」、「心理療法と夢」といったより専門的なアプローチ、③発達障害(障碍・障がい)と心理療法、若者たちと心理療法という今日的テーマ、④「スーパーヴィジョン」・「心理療法の研修」、等について検討する。 ※従来の「臨床心理面接特論」は、「臨床心理面接特論I」と「臨床心理面接特論II」に分割されている。従来の「臨床心理面接特論」の単位取得済の場合は、改めて受講する必要はない。本科目「臨床心理面接特論II」の履修にあたっては、「臨床心理面接特論I」を既に履修していることが望ましい。臨床心理学プログラム修士全科生は本講義で学んだことを、「臨床心理実習」を通して体験的に深めてゆくことになる。
8959960 臨床心理基礎実習  丸山 広人 (放送大学教授)  佐藤 仁美 (放送大学准教授)  大山 泰宏 (放送大学教授)  小林 真理子 (放送大学教授)  橋本 朋広 (放送大学教授)  倉光 修 (放送大学特任教授)  波田野 茂幸 (放送大学准教授)	2	面接授業		臨床心理学特論、臨床心理面接特論などテキストや放送授業によって学習した理論を、実践に活かす準備のために面接授業で具体的に実習する。ロールプレーを用いた心理面接実習、描画法実習、箱庭法実習、臨床機関の見学、事例検討等を行い、事例報告書の書き方についても学習する。個々の学生の実習の準備のために、3期に分けて面接授業を行う。  [[「臨床心理学プログラム」所属の修士全科生以外は履修できません。]  ※この科目は1学期に科目登録をする必要があります。

(注1) 2023年度第1学期単位認定試験は、自宅等でのWeb受験方式となり、試験期間中(全科目2023年7月15日(土)9:00～7月25日(火)17:00)はいつでも受験可能です。ただし、登録システムの設計上、本誌に記載の同一試験日・時限の科目を重複して登録することはできません。詳細はp.6～p.7をご確認ください。

臨床心理学プログラム

科目コード 科目名 主 任 講 師 名	単 位	メ デ ィ ア 放 送 時 間	単 位 認 定 試 験 日・時 限 実施方法(形式) ----- 平 均 点	講 義 概 要
8959951 臨床心理査定演習  小林 真理子 (放送大学教授)  橋本 朋広 (放送大学教授)	4	面接授業		心理アセスメントについて、以下の①と②を学習する。  ① 心理アセスメントの目的と方法について学ぶ。臨床心理学的援助における心理アセスメントの意義、心理アセスメントと心理検査を実際に進める際の手順や留意点について学習する。 ② 心理検査、特にウェクスラー式知能検査、質問紙によるパーソナリティ検査、ロールシャッハ法その他の投影法に関する実習を行い、検査の実施法と解釈法について学ぶ。  [[臨床心理学プログラム] 所属の修士全本科生以外は履修できません。]  ※この科目は1学期に科目登録をする必要があります。
8959943 臨床心理実習  大山 泰宏 (放送大学教授)  波田野 茂幸 (放送大学准教授)  小林 真理子 (放送大学教授)  橋本 朋広 (放送大学教授)  丸山 広人 (放送大学教授)  倉光 修 (放送大学特任教授)  佐藤 仁美 (放送大学准教授)	2	実習		学外機関における実習。臨床心理学プログラムが委託している全国(北海道から沖縄まで)の実習機関において、計90時間の実習が行われる。通常は週1日3ヶ月ほどにわたる。実習内容は、それぞれの機関によって、多少異なるが、心理検査実習・初回面接陪席・病棟実習・デイケアへの参加・グループ活動の陪席・スーパーヴィジョン・ケースカンファレンス参加・地域援助活動への参加その他、臨床心理業務の基礎一般を現場において学ぶ貴重な機会である。担当専任教員と各委託実習機関臨床心理士(非常勤講師)の指導のもとに行われる。  [[臨床心理学プログラム] 所属の修士全本科生以外は履修できません。]  ※この科目は1学期に科目登録をする必要があります。
8950741 臨床心理学研究法 特論('23)  石原 宏 〔放送大学客員准教授〕 鳥根大学准教授  川部 哲也 〔放送大学客員准教授〕 大阪公立大学准教授  2023年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (火)10:30~11:15	〔第1学期〕 2023年7月15日(土) 8時限(17:55~18:45) (注1) Web受験(記述式)	臨床心理士資格認定協会が定めるところの、臨床心理士養成カリキュラムのうち、A群科目(研究法に関する科目)に対応するものである。多様な研究方法をもつ臨床心理学において、研究法を体系的に学ぶとともに、臨床心理学における研究倫理、論文執筆の方法など、実際の論文執筆に直結する事項を学ぶ。 ※ 学部科目の「心理学統計法('21)」を学んでいることが望ましい。 ※ この科目の通信指導問題の解答および提出はWebのみとなります。通信指導問題冊子は送付されませんのでご注意ください。
8950695 心理・教育統計法 特論('21)  小野寺 孝義 〔放送大学客員教授〕 広島国際大学教授  ※この科目は「心理・教育統計法特論('15)」の改訂科目です。  「心理・教育統計法特論('15)」 の単位修得者は履修不可  2021年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (火)7:30~8:15	〔第1学期〕 2023年7月16日(日) 7時限(16:45~17:35) (注1) Web受験(択一式)    ----- 【平均点】 2021年度2学期(84.9点) 2022年度1学期(85.7点)	[[人間発達科学プログラム]と共通]  心理学の代表的な研究方法として観察法、調査法、実験法が挙げられる。一方、臨床心理学では代表的な研究方法として事例研究方法がある。いずれにおいても研究結果を一般化したり、証拠として確信をもって報告できるためには統計手法の理解は欠かせない。また、自らがその統計手法を利用していなくても知識がなければ他の研究者の論文内容を正しく判断することもできない。本講では、教育や発達、臨床など心理学の幅広い分野で知っておくべき統計法について概説する。また、新たな統計学の考え方や手法についても紹介していく。 ※改訂回は第1、3、4、5、8、9、10、12、13、14、15回です。

(注1) 2023年度第1学期単位認定試験は、自宅等でのWeb受験方式となり、試験期間中(全科目2023年7月15日(土)9:00~7月25日(火)17:00)はいつでも受験可能です。ただし、登録システムの設計上、本誌に記載の同一試験日・時限の科目を重複して登録することはできません。詳細はp.6~p.7をご確認ください。

臨床心理学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア 放送時間	単位認定 試験日・時限 実施方法(形式) 平均点	講義概要
8950709 発達心理学特論('21)  荻野 美佐子 〔放送大学客員教授〕 〔上智大学名誉教授〕  ※この科目は「発達心理学特論('15)」の改訂科目です。  「発達心理学特論('15)」の単位修得者は履修不可  2021年度開設科目	2	テレビ〈字〉  〔第1学期〕 (月)14:15～15:00	〔第1学期〕 2023年7月15日(土) 7時限(16:45～17:35) (注1) Web受験(択一式)  ----- 【平均点】 2021年度2学期(94.9点) 2022年度1学期(86.4点)	〔「人間発達科学プログラム」と共通〕  社会が複雑化し、さまざまな心理的支援を必要とする人々がいる。このような社会的状況の中で、専門職としての臨床心理士が求められている。また、専門職にある人だけでなく、私たち自身が、自らの生をどのようにとらえ、意味づけていくのか、そこにどのような社会・文化の影響を受けているのかをとらえる、理解の枠組みを持つ必要がある。人は、誕生から死に至るその生涯発達の過程で、どのように変化するのか、時間軸と、自己と他者の関係性の軸を、縦糸と横糸として見ていく。発達の捉え方、重要領域での生涯発達、各時期の発達の特徴と支援について概説する。 ※本講義は、人間発達プログラムと臨床心理学プログラムの共通科目であり、日本臨床心理士資格認定協会の認定する選択必修科目群B群のうちの1科目である。 ※改訂回は第3、6、7、8、12、13、14、15回です。
8920761 教育心理学特論('18)  三宅 芳雄 (放送大学客員教授)  白水 始 〔放送大学客員教授〕 〔国立教育政策研究所 総括研究官〕  2018 年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (日)7:30～8:15	〔第1学期〕 2023年7月16日(日) 2時限(10:25～11:15) (注1) Web受験(択一式)  ----- 【平均点】 2021年度2学期(85.3点) 2022年度1学期(75.3点)	〔「人間発達科学プログラム」と共通〕  教育心理学の中心的な課題は人がいかに学ぶのかその仕組みを解明し、優れた教育の実現に資することである。この講義では学習を人の活動の一環として成立する、できることの範囲を広げる過程、として捉え、その仕組みを明らかにし、人の学習が効果的に成立するための環境について論じていく。特に、人の活動を広く文化、社会環境の中で相互作用として捉え、それを成立させる意識的、無意識的な認知過程の解明を基軸にして学習の仕組みを明らかにし、そこからよりよい教育環境の構築をどう実現していくのかを論じる。例えば、協調的な活動を促す学習環境である知識構成型ジグソー法がどのような活動の認知過程を導き、それがどのような学びを実現するのかを取り上げていく。 ※心理学、教育学の素養があることが講義を効果的に履修する上で役に立つが、特定の予備知識を前提としない。
8920680 現代社会心理学特論('15)  森 津太子 (放送大学教授)  「現代社会心理学特論('11)」の単位修得者は履修不可  2015年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (日)12:45～13:30	〔第1学期〕 2023年7月15日(土) 3時限(11:35～12:25) (注1) Web受験(択一式)  ----- 【平均点】 2021年度2学期(95.5点) 2022年度1学期(90.2点)	〔「人間発達科学プログラム」と共通〕  本科目では、社会心理学領域の様々な知見について、次の2つの現代的な視点から解説を試みる。第一に、現代の社会心理学がどのようなものなのか、その特徴や動向を紹介する。社会的影響、社会的認知、自己といった社会心理学において特に重要と思われるトピックに加え、感情、自動性など、最近になって特に注目を集めるようになったトピックもとりあげる。第二に、現代的な研究アプローチを紹介する。本科目の中心となるのは、近年、社会心理学において主要な研究アプローチとなっている社会的認知アプローチである。しかしそれに加え、より学際性を帯びた取り組みである、経済学との融合や、人間の社会的行動を環境への適応の産物ととらえる進化論的な考え方、人間の社会的行動の生物学的基盤を探ろうとする脳神経生理学的な研究など、新たな研究アプローチも紹介する。
8950660 司法矯正・ 犯罪心理学特論('20) 一司法・犯罪分野に関する 理論と支援の展開―  橋本 和明 〔放送大学客員教授〕 〔国際医療福祉大学大学院教授〕  2020年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (火)12:45～13:30	〔第1学期〕 2023年7月16日(日) 4時限(13:15～14:05) (注1) Web受験(択一式)  ----- 【平均点】 2021年度2学期(92.4点) 2022年度1学期(91.9点)	少年法などの法的な知識を習得し、警察署、検察庁、家庭裁判所、地方裁判所、少年鑑別所、少年院、刑務所、保護観察所、児童自立支援施設等の機能と役割、犯罪、非行、犯罪被害についての基本的事項を理解する。また、離婚や親権者、面会交流などの家庭紛争についての問題解決方法、支援のあり方など家事事件についての基本的事項を概説できるようにする。さらに、司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理に関する支援について説明でき、司法矯正・犯罪領域における臨床心理学的アプローチを概説できるようにする。臨床心理士・公認心理師受験希望者だけでなく、司法矯正・犯罪分野における臨床心理学的実践と研究に関心を持つ人々をターゲットとする。
8911045 精神医学特論('22)  石丸 昌彦 (放送大学教授)  2022 年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (金)0:00～0:45	〔第1学期〕 2023年7月16日(日) 3時限(11:35～12:25) (注1) Web受験(択一式)  ----- 【平均点】 2022年度1学期(89.6点)	〔「生活健康科学プログラム」と共通〕  精神医学は、精神疾患の診断や治療のあり方を検討する深く広い学問である。本科目では精神医学の基本的な考え方を紹介したうえで、今日見られる代表的な疾患を事例とともにとりあげ、診断と治療の基本的な流れを解説する。個人の病理と社会のあり方との関わりにも随時言及する。 ※本科目と関連の深いものとして学部科目「精神疾患とその治療」がある。本科目のいわば基礎編にあたるもので、あらかじめ履修することを条件とはしないが、同科目程度の内容を学習してから本科目に進むと効率的である。あわせて日頃から健康や医学の問題に関心を持ち、心身の健康について広く学ぶことが望ましい。

(注1) 2023年度第1学期単位認定試験は、自宅等でのWeb受験方式となり、試験期間中(全科目2023年7月15日(土)9:00～7月25日(火)17:00)はいつでも受験可能です。ただし、登録システムの設計上、本誌に記載の同一試験日・時限の科目を重複して登録することはできません。詳細はp.6～p.7をご確認ください。



## 臨床心理学プログラム

科目コード 科目名 主 任 講 師 名	単 位	メ デ ィ ア 放 送 時 間	単 位 認 定 試 験 日・時 限 実施方法(形式) 平 均 点	講 義 概 要
<b>8950725</b> <b>保健医療心理学特論('22)</b> <b>—保健医療分野に関する</b> <b>理論と支援の展開—</b>  <b>小林 真理子</b> (放送大学教授)  2022 年度開設科目	2	テレビ〈字〉  [第1学期] (火)14:15～15:00	[第1学期] 2023年7月16日(日) 8時限(17:55～18:45) (注1) Web受験(択一式)  【平均点】 2022年度1学期(73.7点)	医療の進歩に伴って、精神科医療のみならず身体科医療や地域保健などさまざまな領域での心理的支援のニーズが高まってきている。本科目では、保健医療分野での業務の特徴や職域の紹介、さまざまな実践現場での心理支援や課題について解説する。多職種と連携し、チーム医療を実践していく中で臨床心理士・公認心理師に求められる役割について考える。 ※学部科目「今日のメンタルヘルス」、大学院科目「臨床心理学特論」、「臨床心理面接特論I」、「臨床心理面接特論II」を履修することをお勧めする。
<b>8950652</b> <b>障害児・障害者心理学</b> <b>特論('19)</b> <b>—福祉分野に関する</b> <b>理論と支援の展開—</b>  <b>大六 一志</b> (放送大学客員教授 NPO 法人 LD・ Dyslexia センター顧問)  <b>山中 克夫</b> (放送大学客員准教授 筑波大学准教授)  2019年度開設科目	2	ラジオ  [第1学期] (月)7:30～8:15	[第1学期] 2023年7月16日(日) 1時限(9:15～10:05) (注1) Web受験(択一式)  【平均点】 2021年度2学期(93.6点) 2022年度1学期(90.9点)	障害のある人に臨床心理学的援助を提供するにあたって必要な基本的知識を講義する。まず概論として、臨床心理士の役割、障害や発達のとらえ方について述べる。次に、検査や観察、面接によるアセスメントの考え方について説明する。さらに、発達障害、高次脳機能障害、認知症などを中心として、その概念(状態像)や支援方法について解説する。障害のある本人だけでなく、周囲の人々や環境についてのアセスメントと理解、支援についても述べる。
<b>8950687</b> <b>学校臨床心理学特論('21)</b>  <b>倉光 修</b> (放送大学特任教授)  ※この科目は「学校臨床心理学・地域援助特論('15)」の改訂科目です。  「学校臨床心理学・地域援助特論('15)」の単位修得者に対する履修制限はありません。  2021年度開設科目	2	テレビ〈字〉  [第1学期] (水)14:15～15:00	[第1学期] 2023年7月16日(日) 6時限(15:35～16:25) (注1) Web受験(択一式)  【平均点】 2021年度2学期(95.1点) 2022年度1学期(83.5点)	「[人間発達科学プログラム]と共通」  今日、学校の中に臨床心理学の知識と技能を持ったカウンセラーがいて、心理的問題に苦しむ子どもたちに対するカウンセリングやプレイセラピー、保護者に対する相談や教職員に対するコンサルテーション、緊急支援や心理教育、関連分野の専門家や地域の人々との連携などに取り組んでいることがよく知られるようになってきた。このような取り組みは、1995年に、文部省(当時)によって公立中学校を中心としてスクールカウンセラーを派遣するようになって以来、飛躍的に発展してきた。本科目では、学校に関わるこうした臨床心理学的支援について幅広く論じる。 ※この科目では、プレイセラピーやカウンセリングの実際を紹介するために模擬事例を提示する。しかし、これらの事例は数多くの臨床経験に基づいて創作されたものであり、テキストや映像からクライアント(子どもや保護者)を特定しようと憶測しないでいただきたい。 ※全15回を改訂しています。
<b>8950717</b> <b>臨床心理地域援助</b> <b>特論('21)</b>  <b>伊藤 亜矢子</b> (放送大学客員教授 聖学院大学教授)  2021 年度開設科目	2	ラジオ  [第1学期] (木)7:30～8:15	[第1学期] 2023年7月15日(土) 6時限(15:35～16:25) (注1) Web受験(択一式)  【平均点】 2021年度2学期(92.4点) 2022年度1学期(89.0点)	臨床心理地域援助の考え方やその基礎にあるコミュニティ心理学の理論について学ぶ。また、それらに基づいて支援を行うために必要な技法としてコンサルテーションやコラボレーション等について学び、教育・福祉・医療等の現場における実際について学ぶ。 ※この科目では、実践の実際を紹介するために模擬事例を提示する。しかし、これらの事例は数多くの臨床経験に基づいて創作されたものであり、テキストや映像からクライアントを特定しようと憶測しないでいただきたい。

(注1) 2023年度第1学期単位認定試験は、自宅等でのWeb受験方式となり、試験期間中(全科目2023年7月15日(土)9:00～7月25日(火)17:00)はいつでも受験可能です。ただし、登録システムの設計上、本誌に記載の同一試験日・時限の科目を重複して登録することはできません。詳細はp.6～p.7をご確認ください。

社会経営科学プログラム

科目コード 科目名 担任講師名	単位	メディア 放送時間	単位認定 試験日・時間 実施方法(形式) 平均点	講義概要
8931011 経済政策('22)  松原 隆一郎 (放送大学教授)  ※この科目は「経済政策 ( '17)」の改訂科目です。  「経済政策 ( '17)」 の単位修得者は履修不可  2022年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (日)21:45～22:30	〔第1学期〕 2023年7月16日(日) 3時限(11:35～12:25) (注1) Web受験(択一式)  【平均点】 2022年度1学期(67.6点)	経済学では、経済政策はもっぱら市場では行いえないことがらを補完するとされている。また政策を設計する際の目標は、合理的な個人が効率的に幸福を追求することとされている。つまり市場も政策も、ともに個人の幸福追求の道具とみなされている。しかし自然環境や人間関係、文化伝統といった市場が前提とせざるをえない事柄は、いずれも道具や設計の対象にはなりえない。また不確実性が強いと、効率性の追求は幸福を引き下げかねない。それらをも考察の視野におさめるならば、経済政策はどのようなものになるだろうか。全15回で考察してみたい。 ※全15回を改訂しています。  ※この科目の通信指導問題の解答および提出はWebのみとなります。 通信指導問題冊子は送付されませんのでご注意ください。
8970165 知財制度論('20)  児玉 晴男 (放送大学特任教授)  2020 年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (水)21:45～22:30	〔第1学期〕 2023年7月16日(日) 1時限(9:15～10:05) (注1) Web受験(択一式)  【平均点】 2021年度2学期(75.5点) 2022年度1学期(70.5点)	〔「情報学プログラム」と共通〕  本講義は、知的財産の創造、保護、活用に関する法制度を取り上げます。知的創造活動が知財制度で保護される前後を含め、知財制度の三つの法体系の著作権制度と産業財産権制度および農水知財制度と適宜に不正競争防止法等を比較対照しながら、知的創造サイクルの中における権利(人格権と財産権)のライフサイクルの関係から解説します。本講は、知的財産権法の個別法を逐条解説する手法をとらずに、広義の知的創造サイクルの法システムを鳥瞰します。 ※この科目の内容は、情報学の領域だけでなく、法学、経済経営学、自然科学、そして人文学などに直接、間接に関連するものであり、各プログラムの履修者も対象としています。
8931038 公共政策('22)  砂原 庸介 〔放送大学客員教授〕 神戸大学教授〕  手塚 洋輔 〔放送大学客員教授〕 大阪公立大学教授〕  2022年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (木)21:45～22:30	〔第1学期〕 2023年7月15日(土) 7時限(16:45～17:35) (注1) Web受験(記述式)  【平均点】 2022年度1学期(73.1点)	公共政策が社会の中でどのように形成され、社会に対してどのような影響を与えているかを描き出す。公共政策は、政府だけがその担い手になるのではなく、社会における様々なアクターとの協力関係を前提に構築されている。その全体像を次のように理解していく。すなわち、(1) 情報・金銭・人間・法的権限という資源の観点から公共政策と社会との接点について説明し、(2) 政府のみならず中間団体や市場を通じて公共政策がどのように実現しているかを検討し、(3) そのような公共政策がどのように形成され変化しうのかを論じる。
6930093 都市社会構造論('23)  北川 由紀彦 (放送大学教授)  「都市社会構造論 ( '18)」 の単位修得者は履修不可  2023年度開設科目	2	オンライン〈字〉  テレビ・ラジオ等による 放送は行わない。 開講期間中にインター ネットを受講すること。	通信指導、単位認定試験 および再試験は行わない。  成績評価は、小テスト (70%)、最終レポート(30%) の評価により行う。	都市社会学の研究手法、学説史、研究の最近の動向等について論じる。併せて、都市・地域社会に関する具体的なトピックをいくつか採り上げて、そのトピックに関する最新の研究成果についても論じる。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6930026 環境工学('19)  迫田 章義 (放送大学教授)  2019年度開設科目	2	オンライン〈字〉  テレビ・ラジオ等による 放送は行わない。 開講期間中にインター ネットを受講すること。	通信指導、単位認定試験 および再試験は行わない。  毎回の講義中に出題される 課題について講義後に 自習し、ミニレポートを提出 する。それらの提出状況お よび内容等で成績評価を 行う。	〔「自然環境科学プログラム」と共通〕  地球環境問題、再生可能資源・エネルギー、大気環境、環境材料、リサイクル、循環型社会など、持続可能な社会を実現するために必要な分野におけるこれまでの経緯と最近の最先端の研究を、それぞれの専門家が紹介・解説し、環境問題と環境工学を俯瞰的に考える。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。

(注1) 2023年度第1学期単位認定試験は、自宅等でのWeb受験方式となり、試験期間中(全科目2023年7月15日(土)9:00～7月25日(火)17:00)はいつでも受験可能です。ただし、登録システムの設計上、本誌に記載の同一試験日・時限の科目を重複して登録することはできません。詳細はp.6～p.7をご確認ください。

# 社会経営科学プログラム

科目コード 科目名 主 任 講 師 名	単 位	メ デ ィ ア 放 送 時 間	単 位 認 定 試 験 日・ 時 限 実施方法(形式) 平 均 点	講 義 概 要
<b>8930791</b> <b>社会的協力論(20)</b> <b>ーいかに近代的協力の</b> <b>限界を超えるかー</b>  <b>坂井 素思</b> (放送大学特任教授)  ※この科目は「社会的協力論 (14)」の改訂科目です。  「社会的協力論 (14)」 の単位修得者は履修不可	2	ラジオ  [第1学期] (土)21:45～22:30	[第1学期] 2023年7月15日(土) 6時限(15:35～16:25) (注1) Web受験(記述式)    【平均点】 2021年度2学期(81.5点) 2022年度1学期(71.7点)	この科目は、社会における人びとの「社会的協力」とは何かについての原理的思考、現実における近代的協力の限界という現実を認識し、近代的協力を乗り越える方法を考察することを目指している。近代になって、社会的協力の在り方が大転換したといわれている。それは、第1に市場モデルや政府モデルなどの近代的協力の在り方について、これだけ広範囲にわたり、かつ深く浸透した理由が存在するからであり、また同時に、第2にこれらの社会的な協力の在り方が、近代になってしばしば限界を見せるようになりつつあるからである。なぜ今日の社会的協力が大規模に生成し、そして限界を見せるようになったのか、そしていかに近代的協力の限界を乗り越えるのかについて、この講義のなかで、具体的な事例を見ながら理解を深めていく。 (1) この科目は、「社会的協力論 (14)」の改訂科目である。現代の課題に適合させるために、その後の理論と事例を加えて、大幅な修正を行なっている。この中核とするところを重点的に観てほしい。 (2) 現代の協力組織の持っている問題点を解明し、問題となっている事例や理論的論点などにも新たな説明を行なう必要があった。これらの現代的な問題点の理解を進めていただきたい。 (3) 近代社会が陥った組織形成上の隘路について、社会的協力という新たな視点から考察を加えた。わたしたちの生きている現代社会の問題点について、協力という点から、理解を深めていただきたい。 ※改訂回は第1、4、5、11、13、15回です。
<b>6930034</b> <b>実践的都市景観</b> <b>形成論(19)</b>  <b>宮城 俊作</b> [放送大学客員教授] [東京大学大学院教授]	2	オンライン〈字〉  テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。	通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。  成績評価は、各回の授業において課す小テスト(45%)と最終課題に関するレポート(55%)の評価により行う。	都市景観の形成によるまちづくりをリードするためのより実践的な視点から、 ①都市景観形成の契機となる事業や制度のしくみと留意点 ②都市景観を形成する様々な空間の立地類型にもとづく空間構成のありかた ③都市景観を形成する様々な物理的な要素の意匠を評価する視点 ④都市景観形成の担い手と社会的なしくみ、について国内外の多様な実例をあげながら講述する。 ※受講期間中は、身近な都市景観等について日常的に意識して観察し、必要に応じて写真撮影などをしておくこと。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
<b>8930783</b> <b>地域産業の発展と</b> <b>主体形成(20)</b>  <b>北川 太一</b> [放送大学客員教授] [摂南大学教授]	2	ラジオ  [第1学期] (月)21:45～22:30	[第1学期] 2023年7月16日(日) 4時限(13:15～14:05) (注1) Web受験(記述式)    【平均点】 2021年度2学期(78.8点) 2022年度1学期(71.3点)	本講義では「地域産業」を、農業、食料産業、6次産業や農工商連携も含めた食農に関わる関連産業(アグリビジネス)を中心に想定し、地域のさまざまなステークホルダー(自治体行政、地元企業、協同組合やNPOなどの非営利協同組織、起業・活動グループ、地域住民や交流者など)による主体形成と地域経営(地域マネジメント)のあり方について、理論と実践(ケース)の両面からアプローチする。
<b>6930042</b> <b>統合イノベーション</b> <b>制度研究(21)</b>  <b>児玉 晴男</b> (放送大学特任教授)	1	オンライン〈字〉  テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。	通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。  成績評価は、小テスト(60%)、レポート(40%)の評価により行う。	高度科学技術社会においてイノベーション概念とプロセスの劇的変化が起こっている。その中で、科学技術イノベーション政策の各領域の統合化がすすめられている。本科目は、各イノベーション戦略と基本法について解説し、科学研究をすすめるうえの関連法と倫理および管理に関して解説する。そして、科学研究の現状と課題を明らかにしながら、オープンイノベーション、科学研究の知財問題、科学研究の不正問題、科学研究のデュアルユース問題について説明を加える。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
<b>6930069</b> <b>『貨幣・勤労・代理人』</b> <b>文献講読(21)</b> <b>ー近代経済社会の文明的・</b> <b>反文明的特性を読むー</b>  <b>坂井 素思</b> (放送大学特任教授)	1	オンライン〈字〉  テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。	通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。  成績評価は、小テスト(50%)、最終レポート(50%)の評価により行う。	この科目は、『貨幣・勤労・代理人ー経済文明論』を読みながら行う、大学院の文献講読の授業です。受講生には経済の文明的要素としての「代理性(エージェンシー)」という、この文献の中核的な内容を探りながら、同時に、文献研究の手法を学び、演習に励んでもらいたいと考えています。 ※この科目の受講生には、とくに「先行研究」をまとめている方、あるいは「文献研究」を行っている方で、放送大学大学院修士全科目・修士選科生・修士科目生に在籍中の方を想定いたしております。 ※印刷教材の配布はありません。次の教科書をご自身で用意する必要があります。(大学より受講生の方へお送りすることは致しません。) 『貨幣・勤労・代理人ー経済文明論』(放送大学叢書) 坂井素思 著、左右社、2017 ¥2,035(税込) ISBN 978-4-86528-181-1 ( <a href="http://sayusha.com/books/-/isbn9784865281811">http://sayusha.com/books/-/isbn9784865281811</a> ) このURLから、紙版あるいは電子書籍版の購入が可能です。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。

(注1) 2023年度第1学期単位認定試験は、自宅等でのWeb受験方式となり、試験期間中(全科目2023年7月15日(土)9:00～7月25日(火)17:00)はいつでも受験可能です。ただし、登録システムの設計上、本誌に記載の同一試験日・時限の科目を重複して登録することはできません。詳細はp.6～p.7をご確認ください。



## 社会経営科学プログラム

科目コード 科目名 主 任 講 師 名	単 位	メ デ ィ ア 放 送 時 間	単 位 認 定 試 験 日・時 限 実施方法(形式)	講 義 概 要
			平 均 点	
6930077 法学文献講読('21)  李 鳴 (放送大学教授)	1	オンライン〈字〉          テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。	通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。  成績評価は、小テスト(50%)、レポート(50%)の総評により行う。	本科目は、主として法学系科目を履修し学位論文を執筆する大学院生(修士)を念頭に、法学文献の講読を通して、法学系の研究活動に共通して必要な文献の読み方、ポイントの捉え方、研究手法など法学文献講読の方法論を身につけることを目的とします。加えて、自分の研究分野からより広く他の研究分野へ視野を広げることも図ります。 本科目の前半では法律学学術論文の文献、後半では判例研究の文献を使って指導します。 ※次の文献をご自身で用意する必要があります。大学より受講生の方へお送りすることはいたしません。 指定教材Ⅰ: 李鳴「保険法における告知義務および告知義務違反による解除の法的構成」『放送大学研究年報』第35号(2018) pp.37-60 指定教材Ⅱ: 李鳴「遺言による共済金受取人の変更に伴う諸問題」『法学研究』第92巻12号(2019) pp.103-126 ※参考文献 ①弥永真生『法律学習マニュアル〔第4版〕』(有斐閣・2016) ②長野秀幸『法令読解の基礎知識』(学陽書房・2009) ③柳原正治(編)『法学入門』(放送大学教材)(放送大学教育振興会・2018) ④貝瀬幸雄『比較法学入門』(日本評論社・2019) ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
2021年度開設科目		通信指導は行わない。		
8931020 現実と向き合う 政治理論('22)  山岡 龍一 (放送大学教授)  大澤 津 〔放送大学客員准教授〕 〔北九州市立大学准教授〕	2	ラジオ  〔第1学期〕 (火)21:45~22:30	〔第1学期〕 2023年7月15日(土) 1時限(9:15~10:05) (注1) Web受験(記述式)	分析的政治理論を中心に、現代の政治理論の概要を提供する。理論の説明に関して、現実の諸問題を取り上げ、実際に理論が適用されている事例から、政治理論の営みを理解できるようにする。その上で、理論と現実が連結される方法を意識しながら、政治理論の方法的問題を検討する。こうして、理論と実践のあいだの往復関係を意識しながら、現代における政治理論の展開を概説する。
2022年度開設科目			【平均点】 2022年度1学期(62.3点)	
8931046 人的資源管理('22)  原田 順子 (放送大学教授)  平野 光俊 〔放送大学客員教授〕 〔大手前大学学長〕	2	ラジオ  〔第1学期〕 (金)21:45~22:30	〔第1学期〕 2023年7月16日(日) 5時限(14:25~15:15) (注1) Web受験(択一式)	人的資源管理とは、継続事業体(going concern、Betrieb(ドイツ語))において、人を対象とした管理の仕組みを総称した概念である。市場において営利を目的として事業を営む企業の経営においては、この人的資源管理がいち早く発達し、経営学の中でも多くの知識が蓄積されてきた。人的資源管理の変遷、役割等について、企業経営の基本的概念とともに説明していく。また、関連する現代のトピックも取り上げて多面的に学習する。 ※人的資源管理に対する真摯な関心と基礎的知識を有する方に履修を薦めたい。放送教材からも多くを学んでいただきたい。また、印刷教材の各章末に参考文献を示したので、それらを手掛かりにさらに学習を深めることが望ましい。 なお、いくつかの章／回において「人的資源管理(14)」「人的資源管理(18)」と同内容の部分があります。
2022年度開設科目			【平均点】 2022年度1学期(90.0点)	
6930050 保険法('22)  李 鳴 (放送大学教授)	2	オンライン〈字〉          テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。	通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。  成績評価は、選択式小テスト(50%)、レポート(50%)の総評により行う。	保険法は、保険契約に関する一般的なルールを定めた法律であり、さらには約款によって多くの事柄が規定されるという実務に密着した特殊な法領域である。したがって、この授業の目的は、保険契約を中心に保険法の基本的知識の修得およびそれを前提とした問題解決のための応用能力の育成である。 各回においては、講義のねらい、キーワード、まとめ(理解するポイント)が提示される。履修者は、オンラインでの講義映像を視聴しながら学修する。終わりに理解度を確認するために選択式練習問題を行った上で、選択式小テストを実施する。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要となる。詳細は本学ウェブサイトを参照のこと。 ※印刷教材はありません。
2022年度開設科目		通信指導は行わない。		

(注1) 2023年度第1学期単位認定試験は、自宅等でのWeb受験方式となり、試験期間中(全科目2023年7月15日(土)9:00~7月25日(火)17:00)はいつでも受験可能です。ただし、登録システムの設計上、本誌に記載の同一試験日・時限の科目を重複して登録することはできません。詳細はp.6~p.7をご確認ください。

## 社会経営科学プログラム

科目コード 科目名 主 任 講 師 名	単 位	メ デ ィ ア 放 送 時 間	単 位 認 定 試 験 日・時 限 実 施 方 法 (形 式)	講 義 概 要
			平 均 点	
<b>6980015</b> <b>アカデミック・</b> <b>スキルズ ('20)</b>  <b>滝浦 真人</b> (放送大学教授)  <b>三輪 眞木子※</b> (放送大学特任教授)  <b>各プログラム教員※</b> (放送大学教員)  ※は専門担当講師 2020年度開設科目	1	オンライン〈字〉          テレビ・ラジオ等による 放送は行わない。 開講期間中にインター ネットで受講すること。	通信指導、単位認定試験 および再試験は行わない。  成績評価は、小テスト (60%)、レポート(40%)の 評価により行う。	<b>〔「臨床心理学プログラム」以外と共通〕</b>  修士全科生を対象として、修士課程において必要となるライティング／サーチング／リーディングの基礎力を涵養する。 ※修士全科生以外は履修できません。(臨床心理学プログラム所属の修士全科生も履修不可。) ※修士全科生の1年次1学期での履修を推奨しています。 なお、新入学予定者以外の修士全科生で履修を希望する場合は、履修登録をする前に研究指導責任者に履修の可否について相談してください。 ※7、8回については、各プログラム教員毎にグループ分けをし、文献等の講読およびレポート等の課題を課します。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
		通信指導は行わない。		

# 人文学プログラム

科目コード 科目名 主 任 講 師 名	単 位	メ デ ィ ア 放 送 時 間	単 位 認 定 試 験 日・時 限 実施方法(形式) 平 均 点	講 義 概 要
8981060 日本文化と思想の展開 一内と外と('22)  魚住 孝至 (放送大学特任教授)  2022年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (水)12:45～13:30	〔第1学期〕 2023年7月16日(日) 7時限(16:45～17:35) (注1) Web受験(併用式)  【平均点】 2022年度1学期(74.2点)	原始から現代までの日本文化と思想の展開の概要を捉えてみたい。日本思想は、仏教や儒教を、近代からは西洋思想を取り入れてきたが、それぞれの受容の仕方が独特であり、日本化していった様相が見られる。文学・芸術・武道などの具体的な文化が形成される際にも、それらの思想や概念が重要な働きをしている。日本の風土的・歴史的条件を考えた上で、それぞれの時代の新しい文化や思想を担った代表的人物や作品に焦点を当てて、日本の文化と思想の流れから捉えようと、今日的な意味を考え直してみたい。 ※日本文化の具体的な内容や作品に関しては、学部テレビ科目「文学・芸術・武道にみる日本文化('19)」を参考にして下さい。
8980063 美学・芸術学研究('19)  青山 昌文 (放送大学特任教授)  「美学・芸術学研究('13)」 の単位修得者は履修不可  2019年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (金)12:45～13:30	〔第1学期〕 2023年7月16日(日) 2時限(10:25～11:15) (注1) Web受験(択一式)  【平均点】 2021年度2学期(77.5点) 2022年度1学期(80.3点)	美学は、美とは何か、を考える学であり、芸術学は、芸術とは何か、を考える学である。美は、芸術に限らず、自然にも存在している。本講義は、自然美にも言及するが、考察の主体を芸術美におき、芸術が、文化の総体と深く豊かに関わっていることを、具体的芸術作品に即しながら、詳しく考察する。前半においては、全体に亘る体系的な考察を行い、後半においては、世界史上初の本格的美術批評家であったデイドロの美学・芸術学の深く豊かな意義を明らかにしてゆきたい。 ※放送大学では、学部の講義として、「西洋芸術の歴史と理論('16)」と「舞台芸術の魅力('17)」が開講されている。これらは、学部の講義ではあるが、本講義と密接に関連しているため、是非、これらの講義も、学んでいただきたい。なお、本講義は、1997年より開講された学部講義「芸術の古典と現代」と、前半において、重複している部分があるが、この講義は、大学院が設置されていなかった時代に開講された講義であり、内容的には、大学院に相当するレベルのものを多く含んでいた講義であった。もちろん、本講義は、この学部講義と異なるものを多く含んでおり、また、重複部分においても、多くの改訂・増補がなされている。かつての「芸術の古典と現代」を受講された方は、この点に留意されて本講義を受講していただきたい。また、本講義は、テレビ講義であった「美学・芸術学研究('13)」の、ラジオ講義としての改訂版であるので、「美学・芸術学研究('13)」を単位取得された方は、この「美学・芸術学研究('19)」を履修できないこととなっており、この点にも留意されたい。
8981027 日本史史料を読む('21)  近藤 成一 (放送大学教授)  杉森 哲也 (放送大学教授)  2021年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (金)23:15～24:00	〔第1学期〕 2023年7月16日(日) 5時限(14:25～15:15) (注1) Web受験(択一式)  【平均点】 2021年度2学期(75.7点) 2022年度1学期(67.8点)	本科目は大学院では唯一の日本史科目であり、古代から近代に至る歴史を対象とする。日本史の学習・研究において、歴史研究の素材である史料を正確に読解し理解することは、最も基本的な作業である。本科目では、古代から近代に至る様々な史料を取り上げ、それらを読み解く基礎について学習する。 ※本科目とあわせて、「朝鮮の歴史と社会―近世近代('20)」 「西洋中世史('21)」などの歴史学関連科目を履修することが望ましい。また「日本の近世('20)」 「日本近現代史('21)」 「古代中世の日本('23)」などの学部の日本史関連科目も、可能であればあわせて履修することを勧める。
8980071 朝鮮の歴史と社会―近世近代('20)  須川 英徳 (放送大学教授)  三ツ井 崇 〔放送大学客員教授〕 東京大学教授  2020年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (火)0:00～0:45	〔第1学期〕 2023年7月16日(日) 6時限(15:35～16:25) (注1) Web受験(択一式)  【平均点】 2021年度2学期(74.3点) 2022年度1学期(58.5点)	本講義は大学院科目であるので、学部科目の「韓国朝鮮の歴史と文化('21)」などの歴史科目を履修してあることを前提とする。そのうえで、韓国・朝鮮の歴史にたいする理解を深めることをめざす。具体的には、概説的・網羅的に扱うのではなく、現在の研究水準を分かりやすく紹介するとともに、論点となっているさまざまな事柄について、それがなぜ議論になっているのかを明らかにする。また、取り上げる主題についても、それを理解することが朝鮮についてだけでなく、日本を含めた東アジアの歴史と社会にたいする理解を深めることを意図する。 ※大学院科目なので、本学で学部科目として開講されている歴史科目、なかでもアジア地域にかんする科目を複数履修していることが望ましい。
8981019 西洋中世史('21)  河原 温 (放送大学教授)  堀越 宏一 〔放送大学客員教授〕 早稲田大学教授  2021年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (水)0:00～0:45	〔第1学期〕 2023年7月15日(土) 2時限(10:25～11:15) (注1) Web受験(記述式)  【平均点】 2021年度2学期(77.8点) 2022年度1学期(69.3点)	中世ヨーロッパ社会の発展を、近年の中世史研究の成果に基づきながら時代をおって考察し、近代に先立つヨーロッパ文明の特質を学ぶ。 ※関連する科目として、学部科目「都市から見るヨーロッパ史('21)」がある。

(注1) 2023年度第1学期単位認定試験は、自宅等でのWeb受験方式となり、試験期間中(全科目2023年7月15日(土)9:00～7月25日(火)17:00)はいつでも受験可能です。ただし、登録システムの設計上、本誌に記載の同一試験日・時限の科目を重複して登録することはできません。詳細はp.6～p.7をご確認ください。



# 人文学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア 放送時間	単位認定 試験日・時限 実施方法(形式) 平均点	講義概要
8981035 日本文学の研究史(‘21)  島内 裕子 (放送大学教授)  2021年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (土)23:15～24:00	〔第1学期〕 2023年7月15日(土) 4時限(13:15～14:05) (注1) Web受験(択一式)  【平均点】 2021年度2学期(85.8点) 2022年度1学期(76.1点)	本科目は、日本文学を研究しようとする学生を、主たる対象として、ある作品がどのように研究されてきたかを通史的に解説する。文学研究の始発は、国文学の場合、まず、平安時代の『古今和歌集』『伊勢物語』『源氏物語』を中心とする注釈研究であった。これらの作品よりも成立が早かった『古事記』や『万葉集』の研究は、ようやく江戸時代になって本格化した。したがって、研究史を学ぶことは、まず注釈研究史を学ぶことであり、本科目の構成も、その点に注意を喚起するように組み立ててある。作品により、研究の視点や力点がさまざまに異なるので、文学研究の多様性に触れてほしい。 ※関連する科目としては、「モダニズムの文学と文化(‘21)」「日本史史料を読む(‘21)」「西洋中世史(‘21)」などがある。
8981043 モダニズムの 文学と文化(‘21)  宮本 陽一郎 (放送大学教授)  2021年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (土)12:45～13:30	〔第1学期〕 2023年7月15日(土) 5時限(14:25～15:15) (注1) Web受験(記述式)  【平均点】 2021年度2学期(82.3点) 2022年度1学期(73.4点)	20世紀前半の文化の諸相を、文学・音楽・映画・建築・美術・写真などの諸領域を横断しながら、モダニズムを論じる。アメリカ合衆国の文学・芸術が分析の核となるが、しかしこれを文化のグローバル・ネットワークの一環として捉え直すことを主眼とする。 ※印刷教材と放送教材のみによって、履修と単位取得は可能であるが、インターネットを活用した発展的学習を推奨する。 ※この科目の通信指導問題の解答および提出はWebのみとなります。 通信指導問題冊子は送付されませんのでご注意ください。
8981051 異文化との出会い(‘22)  滝浦 真人 (放送大学教授)  野崎 歓 (放送大学教授)  ※この科目は「異言語との 出会い(‘17)」の改訂科目です。  2022年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (水)7:30～8:15	〔第1学期〕 2023年7月16日(日) 1時限(9:15～10:05) (注1) Web受験(記述式)  【平均点】 2022年度1学期(75.9点)	言語と文化に関わる営みは、しばしば異文化の存在を意識したり異文化の介在するものとなる。学問研究においても、異文化を通じてもたらされる“他なるもの”が促進剤となることはしばしばであり、異文化との相互参照を手法としたり、時に対象そのものとする領域や方法論が発展し成果が蓄積されてきた。本講義では、そうした異文化との出会いを諸領域に見ながら、事象の捉え方の一断面を浮かび上がらせたい。 ※全15回を改訂しています。
6980023 文化人類学の最前線(‘21)  大村 敬一 (放送大学教授)  2021年度開設科目	2	オンライン〈字〉  テレビ・ラジオ等による 放送は行わない。 開講期間中にインター ネットを受講すること。  通信指導は行わない。	通信指導、単位認定試験 および再試験は行わない。  成績評価は、小テスト (50%)、レポート(50%)の 評価により行う。	大学院科目として、文化人類学の探究の最前線について、博士後期課程での研究の導入にも耐える学問的深度と先進性をそなえたかたちで紹介する。その紹介に際しては、「人新世」という概念のもとで人類の活動と地球の活動が不可分にもつれ合っていることが認識され、「自然／人間(社会・文化)」の二元論に基づく近代の考え方や生き方に再考が迫られている今日の時代状況に即したテーマを取り上げる。具体的には、「自然／人間」の二元論に基づいて建設されるグローバル・ネットワークの隙間に遍在する人間と非人間の他者たちの潜在的な可能性に注目し、そうした近代の枠組みに収まりきれない他者たちの実践を検討することを通して、新たな思考や生き方の枠組みを探究する文化人類学の多様な挑戦を紹介する。 ※学部のコア科目としての「「人新世」時代の文化人類学(‘20)」(テレビ)、学部の基礎科目としての「総合人類学としてのヒト学(‘18)」(ラジオ)、「フィールドワークと民族誌(‘17)」(オンライン)が開講されているので、あらかじめ履修しているか、併せて履修することが望ましい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6980015 アカデミック・ スキルズ(‘20)  滝浦 真人 (放送大学教授)  三輪 眞木子※ (放送大学特任教授)  各プログラム教員※ (放送大学教員)  ※は専門担当講師 2020年度開設科目	1	オンライン〈字〉  テレビ・ラジオ等による 放送は行わない。 開講期間中にインター ネットを受講すること。  通信指導は行わない。	通信指導、単位認定試験 および再試験は行わない。  成績評価は、小テスト (60%)、レポート(40%)の 評価により行う。	〔「臨床心理学プログラム」以外と共通〕  修士全科生を対象として、修士課程において必要となるライティング／サーチング／リーディングの基礎力を涵養する。 ※修士全科生以外は履修できません。(臨床心理学プログラム所属の修士全科生も履修不可。) ※修士全科生の1年次1学期での履修を推奨しています。 なお、新入学予定者以外の修士全科生で履修を希望する場合は、履修登録をする前に研究指導責任者に履修の可否について相談してください。 ※7、8回については、各プログラム教員毎にグループ分けをし、文献等の講読およびレポート等の課題を課します。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。

(注1) 2023年度第1学期単位認定試験は、自宅等でのWeb受験方式となり、試験期間中(全科目2023年7月15日(土)9:00～7月25日(火)17:00)はいつでも受験可能です。ただし、登録システムの設計上、本誌に記載の同一試験日・時限の科目を重複して登録することはできません。詳細はp.6～p.7をご確認ください。

情報学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア 放送時間	単位認定 試験日・時間 実施方法(形式) 平均点	講義概要
6970044 知能システム論(18)  大西 仁 (放送大学教授)  2018年度開設科目	2	オンライン〈字〉  テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。	通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。  成績評価は、小テスト(45%)、レポート(55%)の評価により行う。	知的情報処理のメカニズムについて、いわゆる人工知能を中心に論じる。計算機にヒトのように知的な情報処理を行わせる研究は、パラダイムシフトを繰り返し、現在ではビジネス、科学、産業、医療等の強力な方法として注目を集めている。技術の歴史の変遷、認知科学、生物学等隣接領域と関連づけて解説し、知的情報処理技術の体系的理解を図る。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
8971021 音楽・情報・脳(23)  仁科 エミ (放送大学教授)  河合 徳枝 (放送大学客員教授 〔国際科学振興財団上級研究員〕)  「音楽・情報・脳(17)」 の単位修得者は履修不可  2023年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (金)8:15～9:00	〔第1学期〕 2023年7月15日(土) 5時限(14:25～15:15) Web受験(記述式) (注1)	情報学の進展は、音楽をはじめとする文化的事象を、科学的な研究の対象とすることを可能にした。とくに脳科学と連携したその成果は大きく、「音楽とは何か」といった本質的な問題を考察する新しい材料が多出している。そこで、この講義では、最先端の情報学と脳科学を応用して、音楽に対する情報学ならではのアプローチの成果を学ぶ。主任講師らがこれまで蓄積してきた音響映像資料を多用し、体験性情報を重視した講義とする。
8970149 ソフトウェア工学(19)  中谷 多哉子 (放送大学教授)  中島 震 (放送大学客員教授 〔国立情報学研究所名誉教授〕)  2019年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (月)18:45～19:30	〔第1学期〕 2023年7月15日(土) 6時限(15:35～16:25) Web受験(択一式) (注1)  【平均点】 2021年度2学期(89.6点) 2022年度1学期(75.3点)	「ソフトウェア工学(13)」の後継科目である。ソフトウェア開発を工学的に行うためのプロセス、手法、品質、生産性、管理と制御、進化に関する技術を学ぶ。本科目では、ソフトウェア開発に関わる様々な課題を技術によって解決することに着目して学習項目を構成する。授業の中では、社会変化に柔軟に対応するソフトウェアを開発するための新しい技術についても紹介する。 ※以下の学部科目の内容を理解していること。 「データ構造とプログラミング」 「問題解決の数理」 「コンピュータとソフトウェア」 「アルゴリズムとプログラミング」 「ヒューマンインタフェース(23)」  ※この科目の通信指導問題の解答および提出はWebのみとなります。 通信指導問題冊子は送付されませんのでご注意ください。
6970079 研究のためのICT活用(21)  高橋 秀明 (放送大学教授)  ※この科目は「研究のためのICT活用(17)」の改訂科目です。  「研究のためのICT活用(13)」 「研究のためのICT活用(17)」 の単位修得者は履修不可  2021年度開設科目	2	オンライン〈字〉  テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。	通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。  成績評価は、小テスト(60%)、中間レポート(15%)、最終レポート(25%)の評価により行う。	大学(院)の研究において、インターネット等の情報通信技術を活用することは必須の時代になっている。本科目では、情報学分野を中心に、研究の方法論を講ずる中で、研究のプロセスのさまざまな場面で役立つ通信情報技術を紹介する。単なるツールの紹介ではなく、研究とは何か? 研究方法論とは何か? ということを超えず意識しながら、各種の技術やツールの意味について考察を加えたい。 ※学部科目の「ユーザ調査法(20)」「デジタル情報の処理と認識(22)」を履修しておくことが望ましい。 ※「研究のためのICT活用(13)」 「研究のためのICT活用(17)」既修者は履修することができない。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※改訂回は第3、4、5、6、7、8、9回です。
8970130 情報学の技術(18)  中谷 多哉子 (放送大学教授)  辰己 丈夫 (放送大学教授)  2018年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (木)0:00～0:45  ※通信指導の提出はWebのみ 冊子での問題送付はありません	〔第1学期〕 2023年7月15日(土) 4時限(13:15～14:05) Web受験(択一式) (注1)  【平均点】 2021年度2学期(84.0点) 2022年度1学期(82.9点)	コンピュータ上で稼働する情報システムは、我々の生活を支え、様々な利便性を提供してくれている。このような情報システムを作るためには、様々な分析技術と設計技術が必要となる。本講義では、高度なネットワーク環境上でコンピュータを活用するための情報技術、人と人の相互理解に使われる情報技術、情報システムを開発する技術といった多様な技術を学びながら、それらが我々の社会生活を支えるために果たしている役割を理解する。 ※学部科目「情報学へのとびら」「自然言語処理(23)」「情報セキュリティ概論(22)」、大学院科目「ソフトウェア工学(19)」「コンピューティング(19)」などが強く関連する科目である。そのため、これらの科目を共に履修していることが望まれる。  ※この科目の通信指導問題の解答および提出はWebのみとなります。 通信指導問題冊子は送付されませんのでご注意ください。

(注1) 2023年度第1学期単位認定試験は、自宅等でのWeb受験方式となり、試験期間中(全科目2023年7月15日(土)9:00～7月25日(火)17:00)はいつでも受験可能です。ただし、登録システムの設計上、本誌に記載の同一試験日・時間の科目を重複して登録することはできません。詳細はp.6～p.7をご確認ください。

## 情報学プログラム

科目コード 科目名 主 任 講 師 名	単 位	メ デ ィ ア 放 送 時 間	単 位 認 定 試 験 日・時 限 実施方法(形式) 平 均 点	講 義 概 要
<b>6970087</b> <b>eラーニングの</b> <b>理論と実践('20)</b>  <b>青木 久美子</b> (放送大学教授)  <b>高橋 秀明</b> ※ (放送大学教授)  <b>加藤 浩</b> ※ (放送大学教授)  <b>辻 靖彦</b> ※ (放送大学准教授)  <b>山田 恒夫</b> ※ (放送大学教授)  ※この科目は「eラーニング の理論と実践('16)」の 改訂科目です。  「eラーニングの理論と実践 ( '16)」 の単位修得者は履修不可  ※は専門担当講師 2020年度開設科目	2	オンライン〈字〉          テレビ・ラジオ等による 放送は行わない。 開講期間中にインター ネットを受講すること。	通信指導、単位認定試験 および再試験は行わない。  成績評価は、小テスト (40%)、レポート(30%)、 ディスカッション(30%)の 評価により行う。  ※ディスカッションは実名で 電子掲示板へ投稿しま す。	インターネット等の情報コミュニケーション技術( ICT)を活用した遠隔学習の 方法として国内外で普及しているeラーニングの様々な形態、その背景にある 学習理論や遠隔教育理論、eラーニングの実施に関わる専門家の役割や理 論、eラーニングに必要な技術的知識、学習成果の評価方法、等の知識と理 論的枠組み・考え方を紹介し、eラーニングの現状を把握するとともに、今後 のeラーニングの方向性を展望する。 ※ディスカッションは実名で電子掲示板に投稿します。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学 ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※改訂回は第12、13、14、15回です。
<b>8970157</b> <b>コンピューティング('19)</b> <b>ー原理とその展開ー</b>  <b>萩谷 昌己</b> 〔放送大学客員教授〕 〔東京大学特命教授〕  「コンピューティング('15)」 の単位修得者は履修不可  2019年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (水)17:15～18:00	〔第1学期〕 2023年7月15日(土) 2時限(10:25～11:15) (注1) Web受験(併用式)  ----- 【平均点】 2021年度2学期(77.0点) 2022年度1学期(72.2点)	〔「自然環境科学プログラム」と共通〕  情報に関する学問は極めて幅広いが、その基本的な部分は計算(コン ピューティング)という概念で把握することができる。本科目では、計算を定式 化し記述するための計算モデルに関して、数理的な性質等の基礎的な部分 から計算機械(コンピュータ)による実現までを扱う。また、今後のコンピュー ティングの中核となる人工知能技術について概観し、その実現において重要とな る計算モデルについても紹介する。最後に、自然現象を活用する計算モデル について触れる。 ※「計算論('16)」、学部科目「情報学へのとびら」「計算の科学と手引き ( '19)」などが強く関連する科目である。 ※この科目の通信指導問題の解答および提出はWebのみとなります。 通信指導問題冊子は送付されませんのでご注意ください。
<b>6970028</b> <b>データの科学('17)</b>  <b>浅井 紀久夫</b> (放送大学教授)  <b>辰己 丈夫</b> (放送大学教授)	2	オンライン〈字〉          テレビ・ラジオ等による 放送は行わない。 開講期間中にインター ネットを受講すること。	通信指導、単位認定試験 および再試験は行わない。  成績評価は、小テスト (75%)、レポート(25%)の評 価により行います。	情報通信技術の進展により、膨大な量のデータが交換されるようになりまし た。データは人間活動に伴う様々なものから日々生産され、インターネットの普 及によって瞬間に世界中に拡散し、互いの関係が極めて複雑になっていま す。その関係を抽出して有用な知識を得ようと、様々な取り組みが行われるよう になりました。本科目では、データ分析処理に必要な基盤技術と基本的な手法 について平易に解説します。また、データ科学活用の現状と課題、可能性を示 し、データが溢れる時代の暮らしや仕事について考えます。 ※レポートではデータ分析に関する課題がありますので、統計解析ツールRも しくは同等のデータ分析環境が必要です。Rの使用環境を構築する方法お よびRの基本的な使い方についてオンライン授業「データの科学」のページ に簡単な説明が掲載されています。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。また、パソコ ンの基本的な操作(インターネット利用を含む)や文書作成などは可能であ ることを前提にします。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。

(注1) 2023年度第1学期単位認定試験は、自宅等でのWeb受験方式となり、試験期間中(全科目2023年7月15日(土)9:00～7月25日(火)17:00)はいつでも受験可能です。ただし、登録システムの設計上、本誌に記載の同一試験日・時限の科目を重複して登録することはできません。詳細はp.6～p.7をご確認ください。



情報学プログラム

科目コード 科目名 担任講師名	単位	メディア 放送時間	単位認定 試験日・時間 実施方法(形式) 平均点	講義概要
6970095 サイバー ボランティア論('22) ーボランティア活動における ICT活用ー  山田 恒夫 (放送大学教授)  ※この科目は「情報化社会 とボランティア活動('18)」 の改訂科目です。  「情報化社会とボランティア 活動('18)」 の単位修得者は履修不可  2022年度開設科目	2	オンライン〈字〉   テレビ・ラジオ等による 放送は行わない。 開講期間中にインター ネットを受講すること。	通信指導、単位認定試験 および再試験は行わない。  成績評価は、小テスト (50%)、ディスカッション及 びレポートを含む演習 (50%) の評価により行う。  ※ディスカッションは実名で 電子掲示板へ投稿しま す。	情報通信技術 (ICT) によってサイバー空間がもたらされ、人間の営みが仮 想的に拡大している。現実空間において認知されたボランティア活動は、仮想 空間においても一定の役割を果たすことが期待される。一方、パンデミックや 新たな社会規範の浸透により、現実空間におけるボランティア活動は大きな影 響を受けるが、ICTは新たな解決策をもたらした。本科目の前半(1-8回)で は基礎理論やサイバーボランティア活動の事例を解説する。後半(9-15回) は、オンライングループ学習の形式をとり、課題解決型の遠隔実習を実施する。 ※後半の実践編はグループ学習であり、グループとして課題に取り組み、デ ィスカッションを通して成果を1つにまとめることになる。定期的に(1週間単位 で)課題をこなす必要があるので、毎週学習活動に参加できる方に限る。ま た、本科目はオンライン科目であり、オンライン学習に必要な基本的スキルに くわえ、オンラインでの意見交換(電子掲示板やビデオ会議を使用できるこ と)、発表用スキル(パワーポイントなどのプレゼンテーションソフトでスライド作 成ができること)も必要である。本科目ではこうしたスキルに関する補講はし ないので、必ず登録前に習得しておくこと。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学 ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。 ※全15回を改訂しています。
6970109 情報と コミュニケーション('23)  青木 久美子 (放送大学教授)  高橋 秀明※ (放送大学教授)  「情報とコミュニケーション ( '19)」 の単位修得者は履修不可  ※は専門担当講師  2023年度開設科目	2	オンライン〈字〉   テレビ・ラジオ等による 放送は行わない。 開講期間中にインター ネットを受講すること。	通信指導、単位認定試験 および再試験は行わない。  成績評価は、各回小テスト (30%)、レポート(70%) の 評価により行う。  ※ディスカッションは実名で 電子掲示板へ投稿しま す。	本科目では、日々進化する情報やコミュニケーションのデジタル化が我々の日 常生活や社会の様々な側面に影響を及ぼしていることについて考察する。特 にポストコロナ時代において、どのような情報コミュニケーション技術が日常生 活や社会基盤を支えているのか、また、どのような背景で現在の状況に至って いるのかを理解するとともに、情報コミュニケーション技術が、我々個人の行動、 アイデンティティ、コミュニティ形成、政治経済、ビジネス、教育等にどのような 影響を及ぼしているのかを考察する。 ※課題の提出期限を順守すること。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学 ウェブサイトをご参照ください。 ※本科目は、各回において、対応する放送授業科目「日常生活のデジタルメ ディア」(学部科目)の講義映像の視聴を学習活動の一部としています。 ※印刷教材はありません。
8970165 知財制度論('20)  児玉 晴男 (放送大学特任教授)  2020年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (水)21:45~22:30	〔第1学期〕 2023年7月16日(日) 1時限(9:15~10:05) (注1) Web受験(択一式)  ----- 【平均点】 2021年度2学期(75.5点) 2022年度1学期(70.5点)	〔「社会経営科学プログラム」と共通〕  本講義は、知的財産の創造、保護、活用に関する法制度を取り上げます。 知的創造活動が知財制度で保護される前後を含め、知財制度の三つの法体 系の著作権制度と産業財産権制度および農水知財制度と適宜に不正競争 防止法等を比較対照しながら、知的創造サイクルの中における権利(人格権 と財産権)のライフサイクルの関係から解説します。本講は、知的財産権法の 個別法を逐条解説する手法をとらずに、広義の知的創造サイクルの法システ ムを鳥瞰します。 ※この科目の内容は、情報学の領域だけでなく、法学、経済経営学、自然科 学、そして人文学などに直接、間接に関連するものであり、各プログラムの 履修者も対象としています。
8970173 マルチメディア 情報処理('20)  柳沼 良知 (放送大学教授)  2020年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (火)17:15~18:00	〔第1学期〕 2023年7月15日(土) 3時限(11:35~12:25) (注1) Web受験(択一式)  ----- 【平均点】 2021年度2学期(91.5点) 2022年度1学期(96.7点)	テキスト・音声・画像・映像といった多様な形態の情報が、インターネット等 のネットワークを通じて広く流通し、利用されている。こうしたマルチメディア情 報を効率的・効果的に活用するために必要となる知識と技術について概説す る。また、大学院等での研究においても、多様な情報の処理技術を活用する ことは不可欠な時代になりつつあり、マルチメディア情報処理技術を実際の研 究でどのように活用できるか、実例を交えながら紹介する。  ※この科目の通信指導問題の解答および提出はWebのみとなります。 通信指導問題冊子は送付されませんのでご注意ください。

(注1) 2023年度第1学期単位認定試験は、自宅等でのWeb受験方式となり、試験期間中(全科目2023年7月15日(土)9:00~7月25日(火)17:00)はいつでも受験可能です。ただし、登録システムの設計上、本誌に記載の同一試験日・時間の科目を重複して登録することはできません。詳細はp.6~p.7をご確認ください。

# 情報学プログラム

科目コード 科目名 主 任 講 師 名	単 位	メ デ ィ ア 放 送 時 間	単 位 認 定 試 験 日・時 限 実施方法(形式) 平 均 点	講 義 概 要
<b>8971013</b> <b>情報デザイン特論('22)</b>  <b>伏見 清香</b> (放送大学教授)  <b>須永 剛司</b> 〔放送大学客員教授 、東京藝術大学名誉教授〕	2	テレビ※  テレビ・ラジオによる放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。	〔第1学期〕 2023年7月15日(土) 8時限(17:55～18:45) (注1)  Web受験(記述式)   【平均点】 2022年度1学期(86.4点)	21世紀、コンピュータ、インターネット、スマートフォンなど多様な情報コミュニケーション環境が私たちの社会を動かす基盤となった。それら環境を構成するウェブ・サービスやソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)は、科学技術のみならず芸術や人文社会などの専門分野がその研究開発に参加することで、私たちが利用したくなる道具(ツール)として実現されている。この講義ではその実現に貢献する「情報デザイン」を学び、そこから芸術と科学、技術と人文社会を横断するデザインの学の可能性を展望する。 ※この授業は放送と印刷、2つの教材で学ぶ。あわせてもうひとつの学びが必要だ。それは、授業で見たこと聴いたこと考えたことと並行して、みなさんの生活や仕事や学びのなかに行っている「つくり出すこと」をデザインと捉え直すこと、そしてそれをさらに創造的な体験にすることである。その体験とこの授業履修が結びつくことで「創造してみたい」という思いと「デザインしてみる」行為が生まれるはずだ。 ※本科目は放送授業ですが、テレビによる放送は行わず、インターネット配信限定で視聴する科目です。そのため、受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。受講環境についての詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。  ※この科目の通信指導問題の解答および提出はWebのみとなります。通信指導問題冊子は送付されませんのでご注意ください。
<b>6970117</b> <b>教育情報システム設計('23)</b> <b>一学習教育データとデジタルエコシステムー</b>  <b>山田 恒夫</b> (放送大学教授)  <b>常盤 祐司</b> ※ 〔放送大学客員教授 法政大学情報メディア 教育研究センター客員所員〕  <b>緒方 広明</b> ※ 〔放送大学客員教授〕 京都大学教授  ※は専門担当講師  2023年度開設科目	1	オンライン〈字〉          テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。	通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。   各回の確認テスト(40%)、オンラインハンズオン(WEB上での実習)の出力結果(3回、40%)、最終レポート(20%)を総合的に判断して評価する。  オンラインハンズオン結果の提出方法など詳細は、開講後に指示する。	生涯学習を見据えた次世代学習情報基盤という観点から、学習システムやツールの構成と連携、デジタルエコシステムとしての要件とその相互運用性を保証する国際技術標準、システムのログデータの収集と利用方法(学習解析)について学ぶ。今後、大学等教育機関や企業の研修部門では、学習ログデータを活用する教育情報システムの導入が図られるが、その原理や機能を知ることがよりよい活用につながる。教育分野にとどまらず、システムエンジニアやデジタルコンテンツ開発者を志望する方にも知っておいていただきたい知識をまとめる。 ※オンライン授業科目であるので、オンライン学習環境は本科目受講の前提であるが、本科目の学習には、映像による説明に加えハンズオン(実習)が含まれる。その際、ウェブ上のアプリケーションを使用するため、動画を視聴できる程度的高速インターネット接続を使用できることがのぞましい。開講に先立ち開発環境の構築等は不要である。ハンズオンについては各回の指示にしたがうこと。 ※授業内容から、Python および JSON、JSON-LDの基礎知識をもっていることがのぞましいが、その習得を本科目履修の前提条件とはしない。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
<b>6980015</b> <b>アカデミック・スキルズ('20)</b>  <b>滝浦 真人</b> (放送大学教授)  <b>三輪 眞木子</b> ※ (放送大学特任教授)  <b>各プログラム教員</b> ※ (放送大学教員)  ※は専門担当講師 2020年度開設科目	1	オンライン〈字〉          テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。	通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。  成績評価は、小テスト(60%)、レポート(40%)の評価により行う。	〔「臨床心理学プログラム」以外と共通〕  修士全科生を対象として、修士課程において必要となるライティング／サーチング／リーディングの基礎力を涵養する。 ※修士全科生以外は履修できません。(臨床心理学プログラム所属の修士全科生も履修不可。) ※修士全科生の1年次1学期での履修を推奨しています。 なお、新入学予定者以外の修士全科生で履修を希望する場合は、履修登録をする前に研究指導責任者に履修の要否について相談してください。 ※7、8回については、各プログラム教員毎にグループ分けをし、文献等の講読およびレポート等の課題を課します。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。

(注1) 2023年度第1学期単位認定試験は、自宅等でのWeb受験方式となり、試験期間中(全科目2023年7月15日(土)9:00～7月25日(火)17:00)はいつでも受験可能です。ただし、登録システムの設計上、本誌に記載の同一試験日・時限の科目を重複して登録することはできません。詳細はp.6～p.7をご確認ください。

# 自然環境科学プログラム

科 目 コー ド 主 任 講 師 名	単 位	メ デ ィ ア 放 送 時 間	単 位 認 定 試 験 日・ 時 限 実施方法 (形式) ----- 平 均 点	講 義 概 要
<b>6960030</b> <b>現代生物科学 ('18)</b>  <b>加藤 和弘</b> (放送大学教授)  <b>二河 成男</b> (放送大学教授)  「現代生物科学('14)」 の単位修得者は履修不可	2	オンライン〈字〉          テレビ・ラジオ等による 放送は行わない。 開講期間中にインター ネットを受講すること。	通信指導、単位認定試験 および再試験は行わない。  成績評価は、小テスト (50%)、レポート (50%) の 評価により行う。	現代における生物学の進展を踏まえ、生物とそれに関わる諸現象の理解のために重要な事項を講義する。生物に特徴的な現象として、遺伝情報の伝達、エネルギー代謝、物質収支の動的平衡、そして自然選択による進化などがある。分子、細胞、器官、個体、個体群、群集といった生物界の主要な階層に着目しつつ、これらについて論じる。また、現代の生物学と人間生活との関連について、特に生物多様性の観点から説明する。 ※学部における科目の「初歩からの生物学」「生物環境の科学」「生命分子と細胞の科学」「生物の進化と多様化の科学」「植物の科学」「感覚と応答の生物学」などを履修しておくことが望ましい。 ※次の本を自身で用意する必要があります。大学より受講生の方へお送りすることはいたしません。 松本忠夫、二河成男著『現代生物科学－生物多様性の理解－』 (放送大学教育振興会、2014年、ISBN978-4-595-14029-7) ¥3,300 (税込) ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
2018年度開設科目		通信指導は行わない。		
<b>6960014</b> <b>生物の種組成データの  分析法 ('16)</b>  <b>加藤 和弘</b> (放送大学教授)	2	オンライン〈字〉          テレビ・ラジオ等による 放送は行わない。 開講期間中にインター ネットを受講すること。	通信指導、単位認定試験 および再試験は行わない。  各回について、小テストを行 うか、またはミニレポートの 提出を求める。全講義が終 了した後にレポートの提出 を求める。配点は小テストお よびミニレポート各回が4% (15回計60%)、最終レポー トが40%とする。	ある場所においてみられる生物の種組成を分析して生息場所としての現状を評価し、さらにその結果を別に計測された環境条件と対応させることにより、生物生息場所としての機能に関係する要因を推測することは、生物生息場所の保全や評価、再生に関する研究や実務において、重要な役割を果たす。本科目は、このような作業を行うにあたって必要な考え方と、データ処理手法について学習する。 ※パソコンの操作が円滑に行えること(特にフリーソフトウェアのダウンロードとインストールが自力で行えること)、Excel (または同様の表計算用ソフトウェア) 上で四則計算と簡単な関数計算、データや計算式のコピーとペーストなど基礎的な操作が問題なく行えること、分析により出力されたグラフや表を貼り付けたミニレポートや最終レポートを、Excelまたは適当な表計算ソフトウェアまたはワードプロセッサソフトウェアで作成できること。以上の条件を満たしていない場合、学習や課題提出が円滑に行えないことが予想される。 詳細は放送大学ウェブサイトに掲載しているオンライン授業体験版 ( <a href="https://online-open.ouj.ac.jp/">https://online-open.ouj.ac.jp/</a> ) の「生物の種組成データの分析法」を必ず確認すること。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
2016年度開設科目		通信指導は行わない。		
<b>6960065</b> <b>野外生物調査法 ('19)</b>  <b>加藤 和弘</b> (放送大学教授)	2	オンライン〈字〉          テレビ・ラジオ等による 放送は行わない。 開講期間中にインター ネットを受講すること。	通信指導、単位認定試験 および再試験は行わない。  成績評価は、小テスト (50%)、レポート (50%) の 評価により行う。	野外生物の調査法について、調査の立案から実施、データの整理までの方法を、植生と鳥類群集の調査を主な対象として具体的に紹介し、野外調査を手段とする研究を志す学生や、環境評価、環境コンサルタント等の業務に携わり知識と技術の向上を目指す学生に有益な情報を提供する。加えて、野外での調査研究を事故なく遂行する上で不可欠な安全管理についてのあり方についても説明する。 ※野外調査を通じて得られる生物の種組成データの分析方法については、別に開設されている「生物の種組成データの分析法」で学んでいただきたい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
2019年度開設科目		通信指導は行わない。		
<b>6960081</b> <b>生態学における  情報リテラシー ('23)</b>  <b>加藤 和弘</b> (放送大学教授)	2	オンライン〈字〉          テレビ・ラジオ等による 放送は行わない。 開講期間中にインター ネットを受講すること。	通信指導、単位認定試験 および再試験は行わない。  成績評価は、小テスト (50%)、レポート (50%) の 評価により行う。	生態学に関する論文や資料を正しく理解するためには、記述のもとになっているデータ、あるいは観察・実験の記録、といった情報を正しく読み解くことが必要である。自ら行った観察や実験の結果を解釈するためにも、情報の適切な処理が不可欠である。生態学における情報処理というと、統計(数値)解析をはじめとする様々な分析手法が思い浮かぶが、そうした手法を成り立たせている基本的な原理原則の理解や、結果の効果的な表現の方法も学んでおくべきである。この授業では、生態学における情報を扱う原理原則から出発し、基本的な分析方法、結果表現の方法を、学術論文の読解や修士論文執筆を意識しつつ学ぶ。 ※本科目では、Microsoft Excelまたは同等の表計算ソフトを使用する。従って、基本的なパソコンのスキル及び当該ソフトの使用スキルがあることが履修の条件となる。 ※特定の授業科目の履修を前提としない。生態学の分野で取り扱うデータについて基礎的な見方、扱い方を教授する内容である。データの取得の手順については、「野外生物調査法('19)」で、高度な分析手法については「生物の種組成データの分析法('16)」で、それぞれ学んでいただきたい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
2023年度開設科目		通信指導は行わない。		



## 自然環境科学プログラム

科目コード 科目名 主 任 講 師 名	単 位	メ デ ィ ア 放 送 時 間	単 位 認 定 試 験 日・ 時 限 実施方法 (形式) ----- 平 均 点	講 義 概 要
8960640 現代物理の展望 (‘19)  岸根 順一郎 (放送大学教授)  松井 哲男 (放送大学特任教授)  2019年度開設科目	2	ラジオ  〔第1学期〕 (金)13:30～14:15	〔第1学期〕 2023年7月15日(土) 5時限(14:25～15:15) (注1) Web受験(択一式)  ----- 【平均点】 2021年度2学期(76.1点) 2022年度1学期(72.7点)	20世紀前半に確立した量子力学と相対性理論は、古典物理学に基づく自然観を根本から変革した。本科目では、素粒子世界から宇宙の広がりに至る様々な階層で起きる物理現象が基本的な物理法則によって普遍的に記述される様子を解説し、現代の自然観へ誘う。現代物理学はまた、量子力学と統計力学の結びつきを経て新しい物質観を生み出した。その成果は産業技術と直結し、今日の電子技術、エネルギー技術の基盤となった。こうした点を包括的に扱い、特に先端的な内容については各研究分野の第一人者を分担協力講師として科目を構成する。 ※学部専門科目「力と運動の物理」「場と時間空間の物理」「量子物理学(‘21)」程度の内容に親しんでいることが望ましい。
6960022 先端技術のための 現代物理学 (‘18)  岸根 順一郎 (放送大学教授)  2018年度開設科目	2	オンライン〈字〉  テレビ・ラジオ等による 放送は行わない。 開講期間中にインター ネットを受講すること。  ----- 通信指導は行わない。	通信指導、単位認定試験 および再試験は行わない。  成績評価は、小テスト (30%)、中間レポート (20%)、期末レポート(50%) の評価により行う。	先端技術の最前線は常に変化し続けているが、それを支える物理学の基礎理論は不易である。この科目では、電子技術(エレクトロニクス)、光技術(フォトリソ)、磁気技術(マグネティクス)、スピントロニクスなど先端技術諸分野を学ぶ上での共通基盤となる電磁気学、量子力学、統計力学、固体量子論の基礎理論から一般性のあるテーマを選んで解説する。特に、大学院レベルの数理解析リテラシーを習得することを重視する。 ※学部レベルの力学、電磁気学、量子力学、統計力学を習得していること。 具体的には、放送大学学部専門科目のうち「場と時間空間の物理」(1～8章(回))、「量子物理学」(1～8章(回))の内容を、先端技術の視点で見直すプロセスが本科目の内容に対応する。扱う範囲は広いが理論手法は基礎的なレベルに押さえ、物理の基礎が分かっていることが望ましい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6960057 計算で紐解く 物質科学・環境科学 (‘18)  橋本 健朗 (放送大学教授)  安池 智一 (放送大学教授)  2018年度開設科目	2	オンライン〈字〉  テレビ・ラジオ等による 放送は行わない。 開講期間中にインター ネットを受講すること。  ----- 通信指導は行わない。	通信指導、単位認定試験 および再試験は行わない。  成績評価は、各回ごとの 小テスト(40%)および計 算実習の結果をまとめたレ ポート(2回×30%)の評価 により行う。	近年、物質環境科学においてその存在感を大きく増しているのが計算機シミュレーションである。本講義では、もっとも微視的な観点から物質環境科学に資する分子の電子状態シミュレーションについて学び、大気化学などで重要な分光学的知見との橋渡しを行う。実際の計算実習を交えることで実践的な知識・技法を習得し、現代的な正しい分子像に基づくものごとの見方を得る。 ※計算機実習を含むため、コンピュータの操作に慣れていることが望ましい。レポートの提出はオンライン上で電子ファイルの形で行う。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6960049 宇宙、地球、 そして人類 (‘18)  谷口 義明 (放送大学教授)  大森 聡一 (放送大学教授)  2018年度開設科目	2	オンライン〈字〉  テレビ・ラジオ等による 放送は行わない。 開講期間中にインター ネットを受講すること。  ----- 通信指導は行わない。	通信指導、単位認定試験 および再試験は行わない。  成績評価は、15回の講義 を受講した後に提出するレ ポートの評価により行う。	地球、生命や人類は、膨張する宇宙の進化の中から誕生したものである。これらの創生をもたらした物質やエネルギーの源は何か、また、その転化・変遷・循環のしくみはどのようなものかを本科目で講義する。また、本科目では、宇宙の中の惑星の一つとしての地球、宇宙と地球環境および人類文明の関わりについて、トピックを紹介しながら、学際的な仮説について論理を積み上げて検証する方法を学ぶ。 ※地球、太陽系、宇宙に関する基本的な知識をある程度身に付けてから、本科目を履修してほしい。関連する学部の科目としては「初歩からの宇宙の科学(‘17)」「太陽と太陽系の科学(‘18)」「宇宙の誕生と進化(‘19)」「はじめての気象学(‘21)」「ダイナミックな地球(‘21)」 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
6960073 地球を読み解く (‘19)  大森 聡一 (放送大学教授)  谷口 義明 (放送大学教授)  2019年度開設科目	2	オンライン〈字〉  テレビ・ラジオ等による 放送は行わない。 開講期間中にインター ネットを受講すること。  ----- 通信指導は行わない。	通信指導、単位認定試験 および再試験は行わない。  各回の最後には、小テスト または小レポートを実施し、 各自の学習の確認とする。 中間、および最終レポート を2回提出しその評価で 成績を決める。	おもに地球の歴史に関わる宇宙地球科学のテーマをとりあげ、分野横断的な視点とそれを研究し解明する過程を含めて講義する。 ※天文学・地球科学の基礎的事項については、放送大学・学部科目の該当項目を参照して自習を求める場合がある。自然環境科学プログラム(宇宙地球領域)の学生は、大学院科目「宇宙、地球、そして人類(‘18)」を先に履修していることが望ましい。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。

(注1) 2023年度第1学期単位認定試験は、自宅等でのWeb受験方式となり、試験期間中(全科目2023年7月15日(土)9:00～7月25日(火)17:00)はいつでも受験可能です。ただし、登録システムの設計上、本誌に記載の同一試験日・時限の科目を重複して登録することはできません。詳細はp.6～p.7をご確認ください。

# 自然環境科学プログラム

科目コード 科目名 主任講師名	単位	メディア 放送時間	単位認定 試験日・時限 実施方法(形式) 平均点	講義概要
<b>8961018</b> <b>数理科学('21)</b> <b>―離散数理モデル―</b>  <b>石崎 克也</b> (放送大学教授)  <b>諸澤 俊介</b> (放送大学客員教授 高知大学教授)  <b>「数理科学('15)」</b> <b>の単位修得者は履修不可</b>	2	テレビ※〈字〉  テレビ・ラジオによる放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。	[第1学期] 2023年7月16日(日) 7時限(16:45～17:35) (注1) Web受験(択一式)  【平均点】 2021年度2学期(79.7点) 2022年度1学期(67.1点)	数理科学現象を理解するために、構造や生成過程を数学的手法を拠り所としてモデル化することは近年盛んに行われてきた。本講義では、離散方程式に注目し、数理モデルのなかで数学的発想がどのように生かされているかを考察する。数学的理論の理解のために、応用例を多く取り入れたり、定理の可視化に数式処理ソフト Mathematica などを利用したグラフィックスを組み込みながら、それぞれの数理モデルや数学的理論を解説する。離散方程式の高度な知識を仮定せずとも取り組めるように、微分方程式との比較をしながら議論を進める。 ※本講義では、かなり基本的な数学的内容にも言及する。数学に不慣れな受講者も自ら手を動かして、理論と理論の間の計算を補うよう心がけていただきたい。同時に、考え方を図式化してみることも推奨する。また、フラクタル図形など基本的な操作の反復合成で記述されるものは、ノートの上やPC上で可視化していただきたい。この講義をきっかけに興味の対象となった数学的内容は学部の講義科目のなかにもあるはずである。受講者が希求力を高めて、改めて学部の内容を復習することも期待している。 ※本科目は放送授業ですが、テレビによる放送は行わず、インターネット配信限定で視聴する科目です。そのため、受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。 受講環境についての詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。
<b>8960631</b> <b>計算論('16)</b>  <b>隈部 正博</b> (放送大学副学長)  <b>「計算論('10)」</b> <b>の単位修得者は履修不可</b>	2	ラジオ  [第1学期] (土)13:30～14:15 (注1)	[第1学期] 2023年7月15日(土) 7時限(16:45～17:35) (注1) Web(択一式)  【平均点】 2021年度2学期(87.0点) 2022年度1学期(78.3点)	最初に、言語、文法とは何かを考える。次に現代言語学の父といわれるチョムスキーの定義した様々な形の文法を学び、それによってどんな言語が生成されるかをみる。次に計算という概念について考える。言語を構成(計算)するための機械であるオートマトンを定義し、様々な種類のオートマトンの形を学ぶ。その後、計算機科学の父といわれるチューリングの定義したチューリング機械を理解し、多くの計算がチューリング機械をつかって表現できることをみる。最後にアルゴリズムとは何かを考える。 ※予備知識は仮定しない。計算や言語、文法という概念について、論理的立場から解説するが、数学のみならず、コンピューターや言語に興味のある学生向けの授業でもある。
<b>8970157</b> <b>コンピューティング('19)</b> <b>―原理とその展開―</b>  <b>萩谷 昌己</b> (放送大学客員教授 東京大学特命教授)  <b>「コンピューティング('15)」</b> <b>の単位修得者は履修不可</b>	2	ラジオ  [第1学期] (水)17:15～18:00 (注1)	[第1学期] 2023年7月15日(土) 2時限(10:25～11:15) (注1) Web受験(併用式)  【平均点】 2021年度2学期(77.0点) 2022年度1学期(72.2点)	<b>「情報学プログラム」と共通]</b>  情報に関する学問は極めて幅広いが、その基本的な部分は計算(コンピューティング)という概念で把握することができる。本科目では、計算を定式化し記述するための計算モデルに関して、数理的な性質等の基礎的な部分から計算機械(コンピュータ)による実現までを扱う。また、今後のコンピューティングの中核となる人工知能技術について概観し、その実現において重要となる計算モデルについても紹介する。最後に、自然現象を活用する計算モデルについて触れる。 ※「計算論('16)」、学部科目「情報学へのとびら」「計算の科学と手引き('19)」などが強く関連する科目である。  ※この科目の通信指導問題の解答および提出はWebのみとなります。 <b>通信指導問題冊子は送付されませんのでご注意ください。</b>
<b>6910106</b> <b>食健康科学('21)</b>  <b>佐藤 隆一郎</b> (放送大学客員教授 東京大学大学院特任教授)  <b>三浦 豊※</b> (放送大学客員教授 東京農工大学大学院教授)  <b>下条 直樹※</b> (放送大学客員教授 千葉大学予防医学センター特任教授)  ※は専門担当講師 2021 年度開設科目	1	オンライン〈字〉  テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。  通信指導は行わない。	通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。  成績評価は、小テスト(50%)、レポート(50%)(第8回のみ)の評価により行う。	<b>「生活健康科学プログラム」と共通]</b>  学部科目「食と健康」と対をなす大学院講義。「食と健康」で学んだ、糖質、タンパク質、脂質、ビタミン、ミネラル、微量非栄養素、食と各種疾患などについて、それらをさらに掘り下げて、詳細に解説する。 ※高校卒業程度の化学の知識を有していることを前提とする。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。
<b>6930026</b> <b>環境工学('19)</b>  <b>迫田 章義</b> (放送大学教授)	2	オンライン〈字〉  テレビ・ラジオ等による放送は行わない。 開講期間中にインターネットで受講すること。  通信指導は行わない。	通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。  毎回の講義中に出題される課題について講義後に自習し、ミニレポートを提出する。それらの提出状況および内容等で成績評価を行う。	<b>「社会経営科学プログラム」と共通]</b>  地球環境問題、再生可能資源・エネルギー、大気環境、環境材料、リサイクル、循環型社会など、持続可能な社会を実現するために必要な分野におけるこれまでの経緯と最近の最先端の研究を、それぞれの専門家が紹介・解説し、環境問題と環境工学を俯瞰的に考える。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。

(注1) 2023年度第1学期単位認定試験は、自宅等でのWeb受験方式となり、試験期間中(全科目2023年7月15日(土)9:00～7月25日(火)17:00)はいつでも受験可能です。ただし、登録システムの設計上、本誌に記載の同一試験日・時限の科目を重複して登録することはできません。詳細はp.6～p.7をご確認ください。

科目コード 科目名 主 任 講 師 名	単 位	メ デ ィ ア 放 送 時 間	単 位 認 定 試 験 日・ 時 限 実 施 方 法 ( 形 式 ) 平 均 点	講 義 概 要
<b>6980015</b> <b>アカデミック・</b> <b>スキルズ ('20)</b>  <b>滝浦 真人</b> (放送大学教授)  <b>三輪 眞木子※</b> (放送大学特任教授)  <b>各プログラム教員※</b> (放送大学教員)  ※は専門担当講師 2020年度開設科目	1	オンライン〈字〉       テレビ・ラジオ等による 放送は行わない。 開講期間中にインター ネットを受講すること。 ----- 通信指導は行わない。	通信指導、単位認定試験 および再試験は行わない。  成績評価は、小テスト (60%)、レポート(40%)の 評価により行う。	<b>[[臨床心理学プログラム] 以外と共通]</b>  修士全科生を対象として、修士課程において必要となるライティング／サーチング／リーディングの基礎力を涵養する。 ※修士全科生以外は履修できません。(臨床心理学プログラム所属の修士全科生も履修不可。) ※修士全科生の1年次1学期での履修を推奨しています。 なお、新入学予定者以外の修士全科生で履修を希望する場合は、履修登録をする前に研究指導責任者に履修の可否について相談してください。 ※7、8回については、各プログラム教員毎にグループ分けをし、文献等の講読およびレポート等の課題を課します。 ※本科目の受講には、インターネットなどの受講環境が必要です。詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。 ※印刷教材はありません。

## 研究指導（修士全科生のみ）

科目名	単位	所属プログラム	科目コード	概 要
研究指導	8	生活健康科学	8911002	<p>○研究指導は2年間にわたり実施されます。</p> <p>○第1年次においては、研究レポートの添削指導のほか修士論文の研究テーマおよび研究計画具体化のための指導を行います。第2年次においては、修士論文の作成の指導を行います。</p> <p>○研究指導の方法は、対面による直接指導、電子メール、Webカメラ、電話、FAX、郵送（質問票）等により行います。</p> <p>○この科目は、1学期に科目登録をする必要があります。</p>
		人間発達科学	8921008	
		臨床心理学	8951004	
		社会経営科学	8931003	
		人文学	8981000	
		情報学	8971005	
		自然環境科学	8961000	

# 2023年度第1学期 大学院修士課程単位認定試験時間割・実施方法(形式)一覧

2023年度第1学期単位認定試験は、自宅等でのWeb受験方式となり、試験期間中（全科目2023年7月15日（土）9：00～7月25日（火）17：00）はいつでも受験可能です。ただし、登録システムの設計上、本誌に記載の同一試験日・時限の科目を重複して登録することはできません。詳細はp.6～p.7をご確認ください。



2023年度第1学期大学院  
修士課程単位認定試験時間割・  
実施方法(形式)一覧

(注) 2023年度第1学期単位認定試験は、自宅等でのWeb受験方式となり、試験期間中(全科目2023年7月15日(土)9:00～7月25日(火)17:00)はいつでも受験可能です。ただし、登録システムの設計上、下表に記載の同一試験日・時限の科目を重複して登録することはできません。詳細はp.6～p.7をご確認ください。

曜日 時限	7月15日(土)			
	科目コード	科目名	実施方法 (形式)	ページ
1  9:15 ┆ 10:05	8950644	臨床心理面接特論Ⅰ('19)	Web(択一)	30
	8931020	現実と向き合う政治理論('22)	Web(記述)	36
		〔成人発達心理学('17)〕	Web(記述)	
2  10:25 ┆ 11:15	8970157	コンピューティング('19)	Web(併用)	41, 46
	8920770	成人の発達と学習('19)	Web(択一)	27
	8981019	西洋中世史('21)	Web(記述)	38
3  11:35 ┆ 12:25	8950733	臨床心理学特論('23)	Web(択一)	30
		〔臨床心理学特論('17)〕	Web(択一)	
4  13:15 ┆ 14:05	8920680	現代社会心理学特論('15)	Web(択一)	28, 32
	8920796	道德教育の理念と実践('20)	Web(記述)	27
	8970173	マルチメディア情報処理('20)	Web(択一)	42
5  14:25 ┆ 15:15	8910731	生活変動と社会福祉('18)	Web(択一)	22
	8970130	情報学の技術('18)	Web(択一)	40
	8950679	臨床心理面接特論Ⅱ('19)	Web(択一)	30
6  15:35 ┆ 16:25	8981035	日本文学の研究史('21)	Web(択一)	39
7  16:45 ┆ 17:35	8960640	現代物理の展望('19)	Web(択一)	45
	8981043	モダニズムの文学と文化('21)	Web(記述)	39
	8911053	福祉政策と人権('22)	Web(記述)	21
8  17:55 ┆ 18:45	8971021	音楽・情報・脳('23)	Web(記述)	40
		〔音楽・情報・脳('17)〕	Web(記述)	
9  19:05 ┆ 19:55	8910766	スポーツ・健康医科学('19)	Web(択一)	21
	8970149	ソフトウェア工学('19)	Web(択一)	40
	8930791	社会的協力論('20)	Web(記述)	35
10  20:15 ┆ 21:05	8950717	臨床心理地域援助特論('21)	Web(択一)	33
11  21:25 ┆ 22:15	8960631	計算論('16)	Web(択一)	46
	8910715	生活リスクマネジメント('17)	Web(択一)	20
	8950709	発達心理学特論('21)	Web(択一)	28, 32
12  22:35 ┆ 23:25	8931038	公共政策('22)	Web(記述)	34
13  23:45 ┆ 00:35	8920737	教育文化の社会学('17)	Web(択一)	27
	8971013	情報デザイン特論('22)	Web(記述)	43
	8950741	臨床心理学研究法特論('23)	Web(記述)	31
14  00:55 ┆ 01:45		〔臨床心理学研究法特論('18)〕	Web(択一)	

曜日 時限	7月16日(日)			
	科目コード	科目名	実施方法 (形式)	ページ
1  9:15 ┆ 10:05	8950652	障害児・障害者心理学特論('19)	Web(択一)	33
	8970165	知財制度論('20)	Web(択一)	34, 42
	8911037	リスク社会における市民参加('21)	Web(択一)	20
2  10:25 ┆ 11:15	8981051	異文化との出会い('22)	Web(記述)	39
3  11:35 ┆ 12:25	8920761	教育心理学特論('18)	Web(択一)	28, 32
	8980063	美学・芸術学研究('19)	Web(択一)	38
	8911010	家族政策研究('21)	Web(記述)	20
4  13:15 ┆ 14:05				
5  14:25 ┆ 15:15	8921016	海外の教育改革('21)	Web(択一)	27
	8911045	精神医学特論('22)	Web(択一)	21, 32
	8931011	経済政策('22)	Web(択一)	34
6  15:35 ┆ 16:25				
7  16:45 ┆ 17:35	8920788	教育行政と学校経営('20)	Web(併用)	27
	8930783	地域産業の発展と主体形成('20)	Web(記述)	35
	8950660	司法矯正・犯罪心理学特論('20)	Web(択一)	32
8  17:55 ┆ 18:45				
9  19:05 ┆ 19:55	8910758	ヘルスリサーチの方法論('19)	Web(択一)	21
	8981027	日本史史料を読む('21)	Web(択一)	38
	8931046	人的資源管理('22)	Web(択一)	36
10  20:15 ┆ 21:05				
11  21:25 ┆ 22:15	8980071	朝鮮の歴史と社会-近世近代('20)	Web(択一)	38
	8911029	健康・スポーツ科学研究('21)	Web(択一)	21
	8950687	学校臨床心理学特論('21)	Web(択一)	28, 33
12  22:35 ┆ 23:25	8921040	教育老年学('22)	Web(記述)	28
13  23:45 ┆ 00:35	8950695	心理・教育統計法特論('21)	Web(択一)	29, 31
	8961018	数理科学('21)	Web(択一)	46
	8981060	日本文化と思想の展開-内と外と('22)	Web(併用)	38
14  00:55 ┆ 01:45				
15  02:05 ┆ 02:55	8910774	コミュニティヘルスケア研究('19)	Web(記述)	20
	8921024	カリキュラムの理論と実践('21)	Web(択一)	27
	8950725	保健医療心理学特論('22)	Web(択一)	33
16  03:15 ┆ 04:05		〔都市社会構造論('18)〕	Web(択一)	

※〔 〕は前年度閉講科目の再試験です。

# 2023年度第1学期 大学院修士課程放送授業番組時間割

この「2023年度第1学期大学院修士課程放送授業番組時間割」は、BS テレビ、BS ラジオによって放送授業番組を視聴する場合の時間割です。

## 放送授業番組時間割の利用について

### 1 学期区分

学期	区分	期間	期間日数等
第1学期	授業期間	2023年4月1日(土)～ 2023年7月14日(金)	15週間
	夏期学習期間	2023年7月15日(土)～ 2023年9月30日(土)	78日間

### 2 授業期間の放送番組

授業番組を原則として毎週1回、全15回放送します。  
このほか、告知番組や生涯学習支援番組などを放送します。

### 3 夏期学習期間の放送番組

司書教諭資格取得に資する科目の放送とともに、復習や次学期の科目選びの参考となるよう、一部の科目を再放送します。

### 4 各種番組案内

通常の授業番組のほかに、次のような番組を放送します。

#### [告知番組]

放送大学から各種お知らせや学習に役立つ情報などを提供する番組です。

#### [生涯学習支援番組]

従来の大学教育の枠組みから離れて、社会人の多様な学びなおしや生涯学習のニーズに応える番組です。

#### [特別講義]

さまざまな分野で活躍する講師が、それぞれの専門について、自由に講義する番組です。

生涯学習支援番組、特別講義および夏期学習期間の放送番組などについては、入学後送付される「放送大学番組ガイド」または放送大学ウェブサイトをご覧ください。

テレビ 2023年度第1学期 授業期間 (BS 231ch)

時 分	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	
6 00 45	学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目	
7 30					
8 15					
9 00 45	生 涯 学 習 支 援 番 組				
10 30	学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目	
11 15					
12 00 45	告 知 番 組 な ど				
13 30	生 涯 学 習 支 援 番 組	学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目	
14 15		発達心理学特論（'21）〈字〉	保健医療心理学特論（'22）〈字〉	学校臨床心理学特論（'21）〈字〉	
15 00 45					
16 30		学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目	
17 15					
18 00 45					
19 30		告 知 番 組 な ど			
20 15		生 涯 学 習 支 援 番 組			
21 00 45					
22 30	学 部 科 目				
23 15					
翌0 00 15 45	放送大学イメージソング・学歌				
翌1 30		学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目	
翌2 15					
翌3 00 45					
翌4 30					
翌5 15					
時 分	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	

(注) 各科目の詳細については、巻末の索引から該当科目の大学院修士課程授業科目講義概要をご覧ください。

(注) 〈字〉がついている科目には字幕が付与されています。

●2023年4月1日(土)～2023年7月14日(金)

時	分	木曜日	金曜日	土曜日	分	時
6	00 45				00 45	6
7	30	学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目	30	7
8	15				15	8
9	00 45	生 涯 学 習 支 援 番 組			00 45	9
10	30	学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目	30	10
11	15				15	11
12	00 45	告 知 番 組 な ど			00 45	12
13	30				30	13
14	15				15	14
15	00 45	学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目	00 45	15
16	30				30	16
17	15				15	17
18	00 45				00 45	18
19	30	告 知 番 組 な ど			30	19
20	15	生 涯 学 習 支 援 番 組			15	20
21	00 45				00 45	21
22	30			生涯学習支援番組	30	22
23	15				15	23
翌0	00 15 45				00 15 45	翌0
翌1	30	学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目	30	翌1
翌2	15				15	翌2
翌3	00 45				00 45	翌3
翌4	30				30	翌4
翌5	15				15	翌5
時	分	木曜日	金曜日	土曜日	分	時



ラジオ		〔2023年度第 1 学期 授業期間〕		(BS 531ch)				
時 分	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日				
6 00	学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目				
6 45								
7 30	教育心理学特論('18)	障害児・障害者心理学特論('19)	心理・教育統計法特論('21)	異文化との出会い('22)				
8 15	学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目				
9 00								
9 45								
10 30	臨床心理学特論('23)	学 部 科 目	臨床心理学研究法特論('23)	学 部 科 目				
11 15			学 部 科 目					
12 00	学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目				
12 45	現代社会心理学特論('15)					ヘルスリサーチの方法論('19)	司法矯正・犯罪心理学特論('20)	日本文化と思想の展開―内と外と('22)
13 30	学 部 科 目					学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目
14 15								
15 00								
15 45								
16 30	告知番組など	ソフトウェア工学('19)	学 部 科 目	学 部 科 目				
17 15						マルチメディア情報処理('20)	コンピューティング('19)	
18 00	カリキュラムの理論と実践('21)	リスク社会における市民参加('21)	健康・スポーツ科学研究('21)	生活変動と社会福祉('18)				
18 45								
19 30	学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目				
20 15	経済政策('22)	地域産業の発展と主体形成('20)	現実と向き合う政治理論('22)	知財制度論('20)				
21 00	コミュニティヘルスケア研究('19)	スポーツ・健康医科学('19)	福祉政策と人権('22)	成人の発達と学習('19)				
21 45	学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目				
22 30	放送大学イメージソング・学歌	朝鮮の歴史と社会―近世近代('20)	西洋中世史('21)	情報学の技術('18)				
23 15								
翌0 45								
翌1 30								
翌2 15								
時 分	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日				

(注) 各科目の詳細については、巻末の索引から該当科目の大学院修士課程授業科目講義概要をご覧ください。

●2023年4月1日(土)～2023年7月14日(金)

時 分	木曜日	金曜日	土曜日	分	時
6 00				00	6
6 45	学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目	45	6
7 30	臨床心理地域援助特論('21)	臨床心理面接特論I('19)	臨床心理面接特論II('19)	30	7
8 15		音楽・情報・脳('23)		15	8
9 00				00	9
9 45				45	9
10 30	学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目	30	10
11 15				15	11
12 00				00	12
12 45	家族政策研究('21)	美学・芸術学研究('19)	モダニズムの文学と文化('21)	45	12
13 30		現代物理の展望('19)	計算論('16)	30	13
14 15				15	14
15 00				00	15
15 45				45	15
16 30	学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目	30	16
17 15				15	17
18 00				00	18
18 45				45	18
19 30	生活リスクマネジメント('17)	教育行政と学校経営('20)	海外の教育改革('21)	30	19
20 15				15	20
21 00	学 部 科 目	学 部 科 目	学 部 科 目	00	21
21 45				45	21
22 30	公共政策('22)	人的資源管理('22)	社会的協力論('20)	30	22
23 15	教育老年学('22)	道德教育の理念と実践('20)	教育文化の社会学('17)	15	23
23 00	学 部 科 目	日本史史料を読む('21)	日本文学の研究史('21)	00	23
翌0 15	精神医学特論('22)			15	翌0
翌0 45				45	翌0
翌1 30				30	翌1
翌2 15				15	翌2
時 分	木曜日	金曜日	土曜日	分	時

# 2023年度第1学期大学院修士課程授業科目五十音順索引

<b>あ行</b>		ソフトウェア工学（'19）…………… 40	
アカデミック・スキルズ（'20）…	26・29・37 39・43・47	<b>た行</b>	
eラーニングの理論と実践（'20）……………	41	地域産業の発展と主体形成（'20）……………	35
異文化との出会い（'22）……………	39	地球を読み解く（'19）……………	45
宇宙、地球、そして人類（'18）……………	45	知財制度論（'20）……………	34・42
音楽・情報・脳（'23）……………	40	知能システム論（'18）……………	40
<b>か行</b>		朝鮮の歴史と社会—近世近代（'20）……………	38
海外の教育改革（'21）……………	27	データの科学（'17）……………	41
家族政策研究（'21）……………	20	統合イノベーション制度研究（'21）……………	35
学校臨床心理学特論（'21）……………	28・33	統合医療安全・特定行為実践特論（'19）…	26
『貨幣・勤労・代理人』文献講読（'21）……	35	統合臨床病態生理学・疾病概論（'19）……	25
カリキュラムの理論と実践（'21）……………	27	道德教育の理念と実践（'20）……………	27
環境工学（'19）……………	34・46	特定行為共通科目統合演習（'17）……………	25
教育行政と学校経営（'20）……………	27	特定行為実践特論（'17）……………	24
教育情報システム設計（'23）……………	43	都市社会構造論（'23）……………	34
教育心理学特論（'18）……………	28・32	<b>な行</b>	
教育文化の社会学（'17）……………	27	日本史史料を読む（'21）……………	38
教育老年学（'22）……………	28	日本文学の研究史（'21）……………	39
経済政策（'22）……………	34	日本文化と思想の展開—内と外と（'22）…	38
計算で紐解く物質科学・環境科学（'18）…	45	<b>は行</b>	
計算論（'16）……………	46	発達心理学特論（'21）……………	28・32
研究のためのICT活用（'21）……………	40	美学・芸術学研究（'19）……………	38
健康・スポーツ科学研究（'21）……………	21	フィジカルアセスメント特論（'16）……………	22
現実と向き合う政治理論（'22）……………	36	福祉政策と人権（'22）……………	21
現代社会心理学特論（'15）……………	28・32	文化人類学の最前線（'21）……………	39
現代生物科学（'18）……………	44	ヘルスリサーチの方法論（'19）……………	21
現代物理の展望（'19）……………	45	法律学文献講読（'21）……………	36
公共政策（'22）……………	34	保健医療心理学特論（'22）……………	33
コミュニティヘルスケア研究（'19）……………	20	保険法（'22）……………	36
コンピューティング（'19）……………	41・46	<b>ま行</b>	
<b>さ行</b>		マルチメディア情報処理（'20）……………	42
サイバーボランティア論（'22）……………	42	モダニズムの文学と文化（'21）……………	39
実践的都市景観形成論（'19）……………	35	<b>や行</b>	
疾病・臨床病態概論（'17）……………	23	野外生物調査法（'19）……………	44
司法矯正・犯罪心理学特論（'20）……………	32	<b>ら行</b>	
社会的協力論（'20）……………	35	リスク社会における市民参加（'21）……………	20
障害児・障害者心理学特論（'19）……………	33	臨床心理学研究法特論（'23）……………	31
情報学の技術（'18）……………	40	臨床心理学特論（'23）……………	30
情報デザイン特論（'22）……………	43	臨床心理基礎実習※……………	30
情報とコミュニケーション（'23）……………	42	臨床心理査定演習※……………	31
食健康科学（'21）……………	20・46	臨床心理実習※……………	31
人的資源管理（'22）……………	36	臨床心理地域援助特論（'21）……………	33
心理・教育統計法特論（'21）……………	29・31	臨床心理面接特論Ⅰ（'19）……………	30
数理科学（'21）……………	46	臨床心理面接特論Ⅱ（'19）……………	30
スポーツ・健康医科学（'19）……………	21	臨床推論（'16）……………	22
生活環境情報学基礎演習（'18）……………	26	臨床病態生理学特論（'17）……………	23
生活変動と社会福祉（'18）……………	22	臨床薬理学特論（'17）……………	24
生活リスクマネジメント（'17）……………	20	※印の科目は臨床心理学プログラム所属の修士全 科生以外の方は履修できません。	
精神医学特論（'22）……………	21・32		
成人の発達と学習（'19）……………	27		
生態学における情報リテラシー（'23）……	44		
生物の種組成データの分析法（'16）……………	44		
西洋中世史（'21）……………	38		
先端技術のための現代物理学（'18）……………	45		







〒261-8586 千葉県美浜区若葉 2-11  
TEL. 043-276-5111 (総合受付)